

Xerox FreeFlow Core 8.1.0 リリースガイド

(2026/03 作成)

このドキュメントでは、Xerox FreeFlow Core について、次の項目を説明します。

- (1) 最小システム要件
- (2) 新規インストールする際における注意事項
- (3) アップグレードする際における注意事項
- (4) Microsoft Office変換機能を使用する際における注意事項
- (5) FreeFlow Core 8.1.0までに解除された注意・制限事項
- (6) FreeFlow Core 8.1.0における注意・制限事項
- (7) 補足情報

1. 最小システム要件

パフォーマンスに関するガイドライン

Xerox FreeFlow Core には、重要なリソースを自動的に監視し、メモリ、ディスク容量、および／またはデータベースのテーブル領域が不足した際に、電子メールによる通知とユーザーインターフェース上の警告の両方を提供する機能があります(Xerox FreeFlow Core 7.0以降)。これらの警告は単なる情報提供にとどまらず、システムの安定した稼働を妨げる状態を特定するものです。これらのエラーが発生した場合は、システムメモリやハードディスク容量などのリソースを追加して、Xerox FreeFlow Core サーバーをアップグレードしてください。最適なパフォーマンスを実現するには、以下のパフォーマンスに関するベストプラクティスを理解しておく必要があります。

1. Xerox FreeFlow Core以外のジョブ処理用にCPU処理コアを確保してください。
 - (ア) Xerox FreeFlow Coreは、1～12の同時ジョブをサポートしています。
 - ① 各同時ジョブには、専用のCPU処理コアが必要です。
 - (イ) 他の処理タスク(System Defender、ウイルス対策ソフトウェア、Xerox FreeFlow Coreのジョブ登録、GUIコマンドなど)用に、2つ以上のCPUコアを空けておく必要があります。
 - (ウ) Xerox FreeFlow Coreが使用するサーバーに存在するCPUプロセッシングコアの数を特定してください。
 - (エ) FreeFlow Core Configureで、[Customer Override]タブを選択してください。
 - ① キーmaxSimulJobsを、利用可能なCPUコア数から2(またはそれ以上)を引いた値に変更してください。
 - ② キーoverrideJobCountをTrueに設定してください。

③ 例えば、8コアが利用可能な場合は、maxSimulJobsを4または6に設定してください。CPU コアが 14 個以上ある場合、maxSimulJobs は最大 12 に設定できます。

2. Xerox FreeFlow Core システムを VM(仮想マシン)で実行する場合、通常、特定のホスト CPU コアを割り当てることはできません。ホスト上のすべてのアプリケーションで使用される仮想 CPU コア(vCPU)の数が、利用可能なホストの物理 CPU コアの総数より少ないことを確認する必要があります。たとえば、使用する物理マシンに 32 コアがあり、ホスト上で 40 コアを使用しようとする 4 つの VM が実行されている場合、どのアプリケーションにもコアを排他的に割り当てることはできません。
3. VM を作成する際、vCPU は複数のコアを持つ単一の CPU として割り当てる必要があります(複数のシングルコア CPU としてではなく)。
 - (ア) これは、VM の [Windows タスク マネージャー] > [パフォーマンス] > [ソケット]:1 および [仮想プロセッサ]:8、10、16 などを確認できます。
 - (イ) [ソケット] の値が 1 より大きい場合、構成は正しくありません。
4. Xerox FreeFlow Core では、NUMA メモリ処理を有効にする必要があります。
 - (ア) NUMA 処理により、すべてのメモリが構成されたホスト CPU に確実に割り当てられます。
 - (イ) NUMA 処理を有効にするには、VM のセットアップ時に「メモリスパンを無効にする」を選択する必要があります。

*基本構成は、基本的なワークフロー操作のみを実行する場合、またはソフトウェアを評価する場合に適しています。最高のパフォーマンスを得るには、Xerox FreeFlow Core をスタンドアロンの PC またはサーバーにインストールする必要があります。その他のすべての環境については、推奨仕様を満たす、またはそれを上回るシステムを用意する必要があります。

最小システム構成:

	基本構成	推奨構成
プロセッサ	Intel Core i7 プロセッサ(またはAMD製同等品)、3.3 GHz以上(4コア以上)	Intel Xeon E5 プロセッサ(またはAMD製同等品)、2.5 GHz以上(8コア以上)
システムメモリ	16GB	32GB
ハードドライブ 常に25%以上の空き容量が必要です。最大4 TBのWindowsディスクボリュームで動作確認済みです。容量がこれより大きい場合は、結果が異なる場合があります。	500 GB SATAハードディスクドライブ(HDD、単一パーティション)	500 GB SATAソリッドステートドライブ(SSD)、3 Gbps (RAID 5)。RAID以外の構成を使用する場合は、システムの完全バックアップが必要です。
周辺機器	解像度が 1280 x 1024 以上、1900 x 1200(推奨)で、32 ビットカラーに対応したモニターおよびビデオコントローラ。 キーボードおよびマウス	
ネットワーク	固定(静的)IPアドレスによる常時接続	
イントラネット	100 Mbps	1 Gbps
オペレーティングシステム Microsoft オペレーティングシステムの Windows Core、Home、	Microsoft Windows 11 Windowsは常に最新のサポート対象ソフトウェアレベルに維持してください。	Microsoft Windows Server 2025 Microsoft Windows Server 2022 Microsoft Windows Server 2019 Microsoft Windows Server 2016

IoT、Mobile、Starter、およびプレビュー版や評価版はサポート対象外です。最適なパフォーマンスを得るには、コントロールパネルの「電源オプション」から「高性能」の電源プランを選択してください。		
インフラストラクチャ	<p>Microsoft .NET Framework 4.8.0 サーバーには静的 IP アドレスを設定してください。DHCP の使用は推奨されません。</p> <p>Xerox FreeFlow Core は、お客様の Active Directory アカウントからのシングルサインオン (SSO) のみをサポートします。Facebook、Google、Apple などのサードパーティ製アカウントからのフェデレーションログインはサポートされていません。</p> <p>サーバーまたは SQL Server には、Windows Live、Microsoft、Outlook、Microsoft 365 (旧 Office 365)、Office 365 Unattended、Office 360 などのクラウドベースまたはフェデレーションログインアカウントを使用しないでください。サーバーでは、Windows ローカルアカウントまたは Active Directory アカウントのいずれかを使用する必要があります。</p>	
ウェブブラウザ	<p>Apple®、Google®、Microsoft®、Mozilla®が提供する最新のブラウザをサポートします。Microsoft Internet Explorerおよび旧バージョンのMicrosoft Edgeはサポート対象外です。Microsoft Chromium Edgeのみがサポート対象となります。リリースから1年以上経過したブラウザはサポート対象外です。互換性の問題を避けるため、常に最新バージョンのブラウザをご利用ください。必ずデスクトップPCのブラウザをご利用ください。モバイル端末のブラウザでは表示上の問題が生じる可能性があります。</p>	
オプションのソフトウェア	<p>Microsoft Office 2021 (64ビット) または Office 365 (64ビット) (ネイティブ形式のファイルをPDFに変換する必要がある場合)</p> <p>Adobe Acrobat Reader (ブラウザウィンドウ内でPDFファイルを開いて表示するため)</p> <p>Adobe Acrobat Pro DC または Callas pdfToolbox バージョン15.1 (カスタムプリフライトプロファイルを作成するため)</p>	

仮想環境のサポート:

仮想環境にソフトウェアをインストールする場合、仮想環境および仮想環境ソフトウェア自体のサポートはお客様の責任となります。また、お客様は、必要に応じてXeroxサポートへのアクセスおよびサポートを含む、完全に構成済みの仮想環境を用意する必要があります。仮想環境は、記載された物理ハードウェア要件を満たすか、それを上回るよう明示的に構成されている必要があります。サポートの対象となるのは、標準的なFreeFlow製品構成で再現可能な問題に限られます。

2. 新規インストールする際における注意事項

実施における注意事項

インストールにあたっては、事前にインストールガイドの「システムインストール準備」をよくお読みください。

- **最適なパフォーマンスを実現するための同時ジョブ処理数の設定**

Xerox FreeFlow Core で最適なパフォーマンスを実現するためには、同時ジョブ処理数を適切な値に設定する必要があります。

前提条件:

- Xerox FreeFlow Core では 1~12 の同時ジョブ処理数をサポートする。
- 他の処理タスク(ウイルス対策ソフトウェアや Xerox FreeFlow Core のジョブ登録、GUI コマンド等)のために、2 つ以上の CPU コアを確保する必要がある。

上記を踏まえ、Xerox FreeFlow Core がインストールされているサーバーの CPU 処理コア数を確認して最適な同時ジョブ処理数を算出してください。

例1) CPU 処理コア数が「8」: 同時ジョブ処理数は「4」または「6」

例2) CPU 処理コア数が「14」以上: 同時ジョブ処理数は「12」以下

その後、FreeFlow Core Configure を起動して、[カスタムキー設定]タブよりキー「maxSimulJobs」に、算出した値を設定し、キー「overrideJobCount」に「true」を設定してください。

3. アップグレードする際における注意事項

バックアップの取得

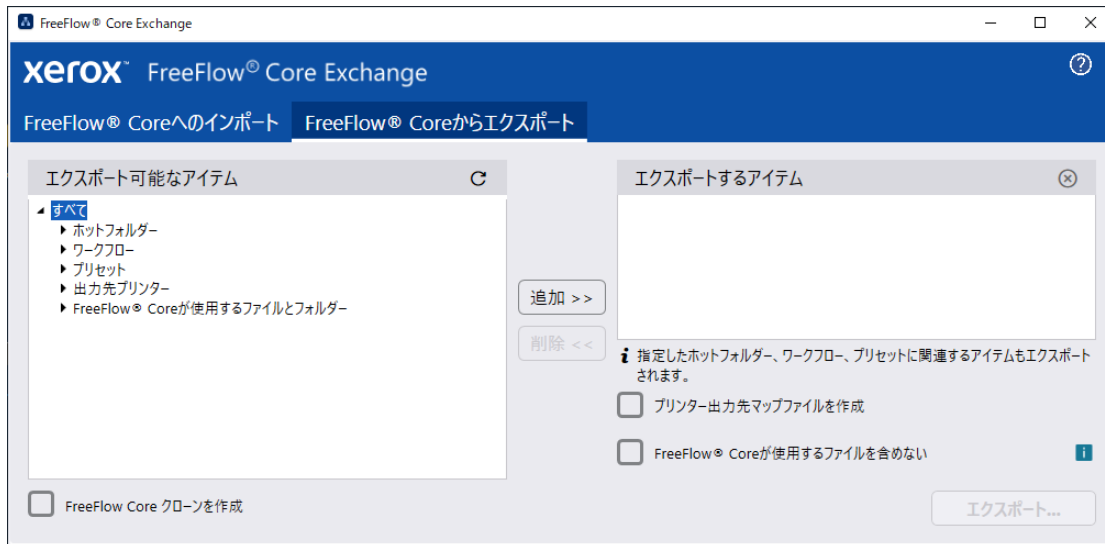
アップグレードの前に、以下の手順で設定のバックアップを取得します。

注記1) Xerox FreeFlow Core 7.0.11以前のバージョンでエクスポートした設定ファイルは、下位バージョン環境でインポートすることはできません。

注記2) Xerox FreeFlow Core 8.0.0以降のバージョンでエクスポートした設定ファイルは、Core 8.xのバージョン間に限り、下位バージョン環境でインポートできるようになりました。

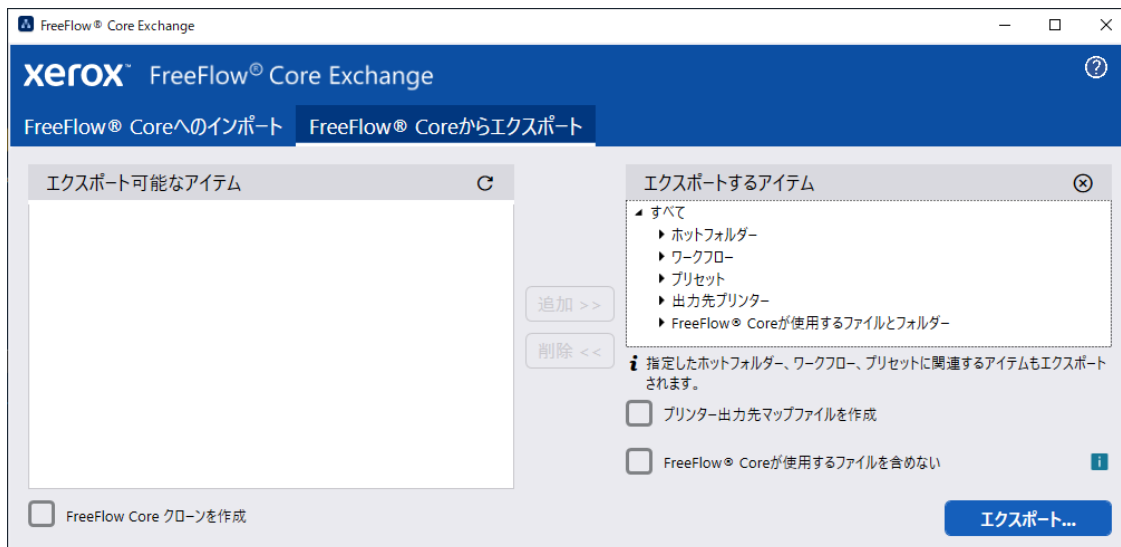
設定のバックアップ手順

1. コンピューターの管理者(Administrator)の権限で、PC にログオンします。
2. Core Exchange を起動します。
3. "FreeFlow Coreからエクスポート" タブをクリックします。
4. “エクスポート可能なアイテム”で”すべて”を選択し、“追加 >>”をクリックします。



必要に応じて[プリンター出力先マップファイルを作成]オプションをチェックします。

5. “エクスポート...”ボタンをクリックします。



6. 任意の名前でバックアップファイルを保存します。
7. Core Exchange を終了します。

同一環境でアップグレードする手順

Xerox FreeFlow Core 8.1.0へのアップグレードは、FreeFlow Core 6.0.0以降がインストールされていることが必要です。

FreeFlow Core 6.0.0以降の環境をお使いの場合は、インストールガイドに従ってアップグレードインストールをお願いします。

それ以前の環境をお使いの場合は、以下のアップグレード手順に従い、一旦FreeFlow Core 6.0.0へアップグレードする必要があります。

FreeFlow Core 4.0.3.4 以前からのアップグレード手順

FreeFlow Core 4.0.3.4以前から FreeFlow Core 6.0.0へアップグレードする際には、あらかじめFreeFlow Core 5.1へのアップデートインストールが必要です。

詳細は、FreeFlow Core 5.1に同梱しているFreeFlow Coreインストールガイドの5章「FreeFlow Coreのアップデート」に記載の手順を参照してください。

FreeFlow Core 5.4.5 以前からのアップグレード手順

FreeFlow Core 5.4.5以前から FreeFlow Core 6.0以降へアップグレードする際には、あらかじめFreeFlow Core 6.0.0へのアップデートインストールが必要です。

詳細は、FreeFlow Core 6.0.0に同梱しているFreeFlow Coreインストールガイドの5章「FreeFlow Coreのアップデート」に記載の手順を参照してください。

異なる環境でアップグレードする手順

Xerox FreeFlow Core 8.1.0のCore Exchangeは、Xerox FreeFlow Core 6.xおよび7.xからのFreeFlow Coreのバックアップファイルのインポートに対応しています。FreeFlow Core 5.4.5以前からのアップグレードを行う場合は、前記のアップグレード手順に従い、同一環境でXerox FreeFlow Core 6.xへのアップグレードを行うか、FreeFlow Core 5.4.5以前からのFreeFlow Coreのバックアップファイルを、Xerox FreeFlow Core 6.xにインポートすることで、Xerox FreeFlow Core 8.1.0へのアップグレードを行える環境を用意してください。

移行前の筐体(Coreバージョン)	移行後の筐体(Coreバージョン)	移行方法
FreeFlow Core 6.0.0以降	Xerox FreeFlow 8.1.0	【ケース1】 (1) 移行前の筐体でCore Exchange を起動し設定のバックアップを行い、バックアップファイルを保存する。 (2) 移行後の筐体にCore 8.1.0を新規インストールする。 (3) 移行前の筐体で保存したバックアップファイルを、移行後の筐体に複製し、バックアップファイルのリストアを行う。
FreeFlow Core 5.4.5以前	Xerox FreeFlow 8.1.0	【ケース2】 (1) 移行前の筐体をCore 5.4.5以前からCore 6.0.0にアップグレードインストールする。 (2) Core 6.0.0でCore Exchange を起動し設定のバックアップを行い、バックアップファイルを保存する。 (3) 【ケース1】の手順(2)以降を行う。 【ケース3】 (1) 移行前の筐体でCore Exchange を起動し設定のバックアップを行い、バックアップファイルを保存する。 (2) 移行後の筐体にCore 6.xを新規インストールする。 (3) 移行前の筐体で保存したバックアップファイルを、移行後の筐体に複製し、バックアップファイルのリストアを行う。 (4) 移行後の筐体でCore 6.xからCore 8.1.0にアップグレードインストールする。

FreeFlow Core 4.0.3.4以前	Xerox FreeFlow 8.1.0	<p>【ケース4】</p> <p>(1) 移行前の筐体をCore 4.0.3.4以前からCore 5.1にアップグレードインストールする。</p> <p>(2) 移行前の筐体でCore 5.4.5以前からCore 6.0.0にアップグレードインストールする。</p> <p>(3) 【ケース2】の手順(2)以降を行う。</p> <p>【ケース5】</p> <p>(1) 移行前の筐体をCore 4.0.3.4以前からCore 5.1にアップグレードインストールする。</p> <p>(2) 移行前の筐体でCore Exchange を起動し設定のバックアップを行い、バックアップファイルを保存する。</p> <p>(3) 【ケース3】の手順(2)以降を行う。</p>
-------------------------	----------------------	---

注記1) FreeFlow Core 5.4.5以前のCore Exchangeで取得したバックアップは、FreeFlow Core 6.xにインポート可能です。Xerox FreeFlow Core 7.0以降にはインポートできません。

注記2) FreeFlow Core 6.x以降のCore Exchangeで取得したバックアップは、Xerox FreeFlow Core 7.0以降にインポート可能です。

実施における注意事項

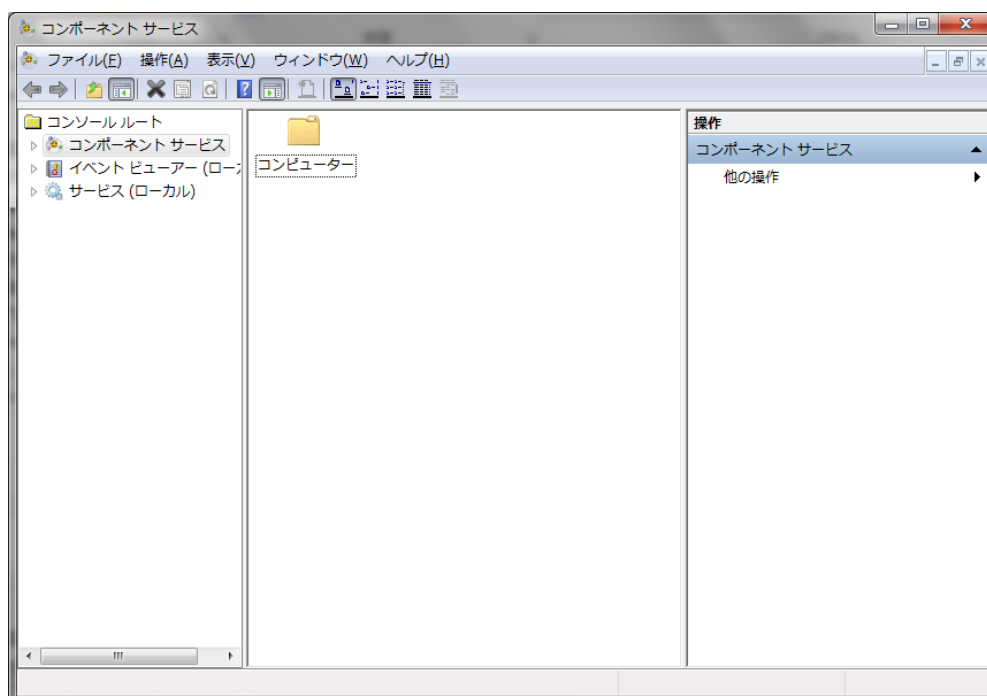
インストールにあたっては、事前にインストールガイドの「システムインストール準備」をよくお読みください。

4. Microsoft Office 変換機能を使用する際における注意事項

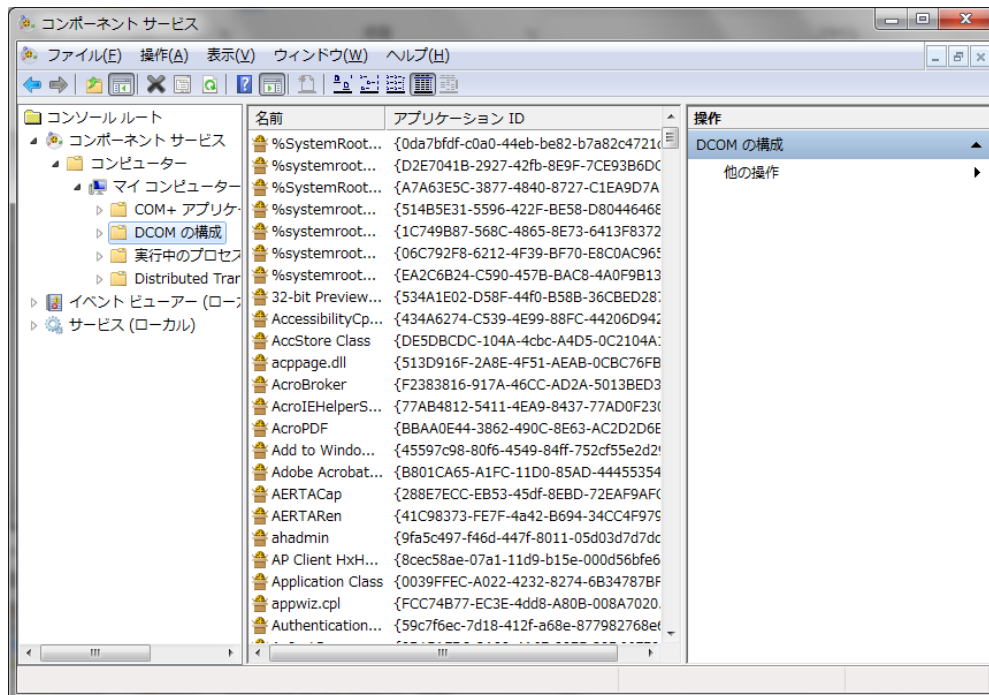
実施における注意事項

FreeFlow Coreを設置後に、Microsoft Officeドキュメント(Word、Excel、PowerPoint)のジョブ処理がすべて失敗することがあります。その場合は、以下の確認を行なってください。

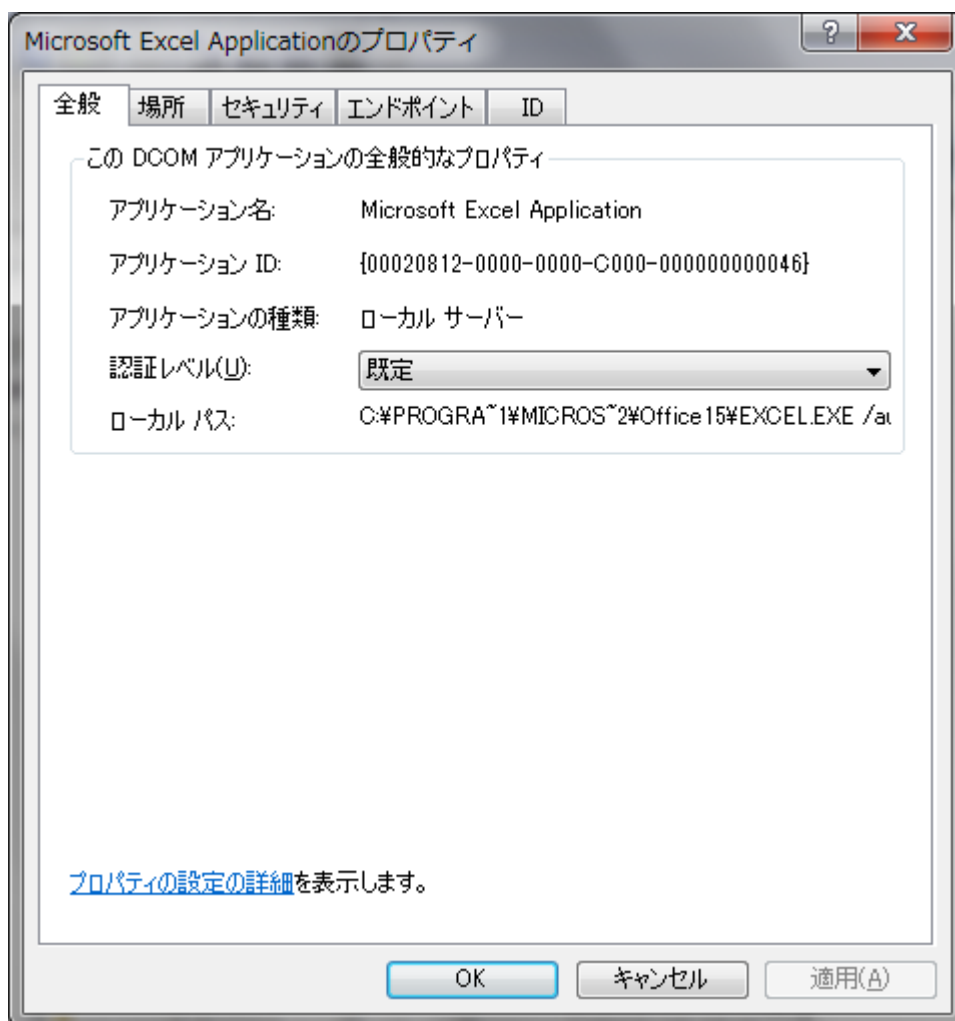
- Microsoft Office変換設定
FreeFlow Coreインストールガイドの3章「必要に応じて行う設定」の「Windows共有フォルダーおよびMicrosoft Office変換設定」に沿って適切に設定されているか確認してください。
- アクティベーションおよび使用許諾契約の完了
Officeアプリケーションのアクティベーションおよび使用許諾契約が完了しているか確認してください。
- DCOM設定
FreeFlow CoreとOfficeアプリケーションとの通信を行なうDCOMが適切に設定されているか、次の手順で確認してください。
 1. FreeFlow Coreを設置した管理者ユーザーで、FreeFlow Coreサーバーへログオンします。
 2. [スタート]メニューから「ファイル名を指定して実行」を選択し、ダイアログに次のコマンドを入力して[OK]ボタンを押下します。
“DCOMCNFG” または “mmc comexp.msc /32”
⇒コンポーネントサービスが起動します。



3. 左ペインのメニューから、[コンポーネント サービス] > [コンピューター] > [マイ コンピューター] > [DCOM の構成]を開きます



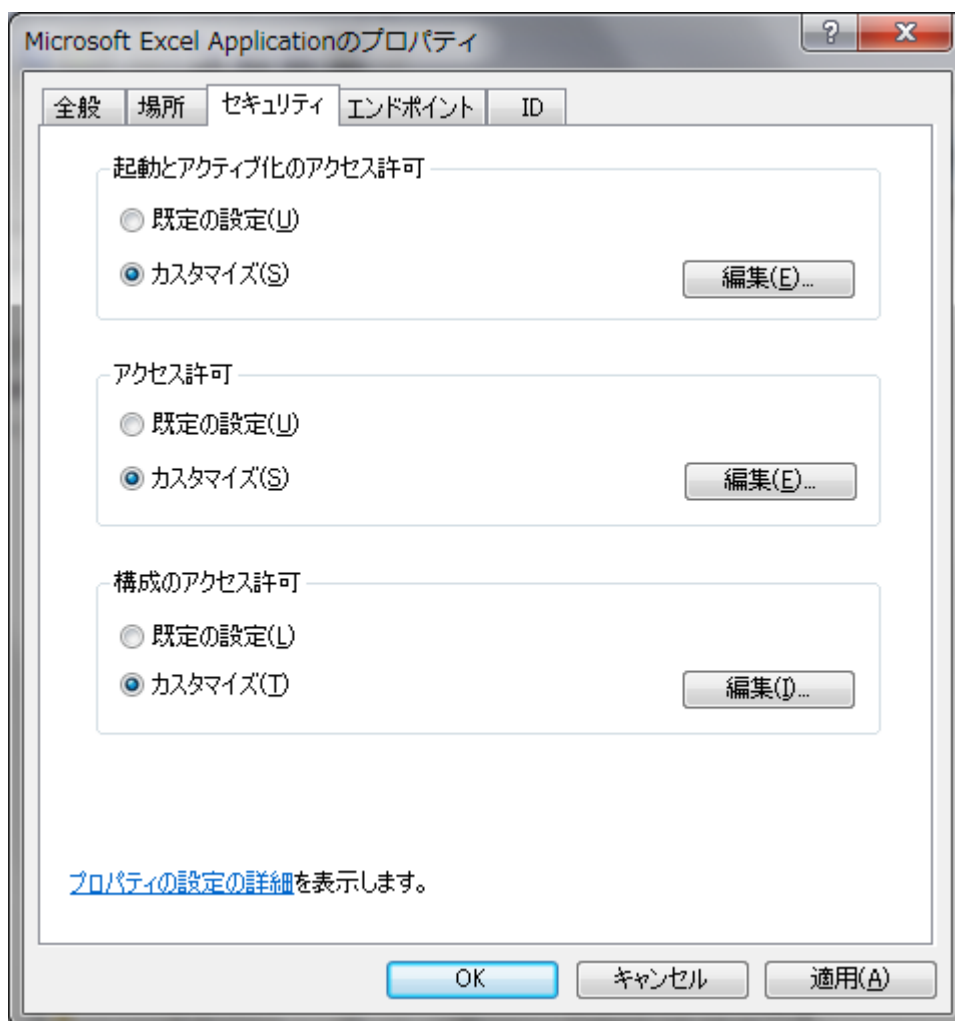
4. Microsoft Excelに対応するDCOM名「Microsoft Excel Application」を左ペインから探して、該当するDCOMのコンテキストメニューから[プロパティ]を選択します。「Microsoft Excel Application」が見つからない場合はアプリケーションID [00020812-0000-0000-C000-000000000046]を選択してください。
⇒[DCOMのプロパティ]ダイアログが開きます。



5. [セキュリティ]タブを開き、設定が次のとおりであることを確認します。設定が異なる場合は、設定を変更してください。

起動とアクティブ化のアクセス許可: カスタマイズ

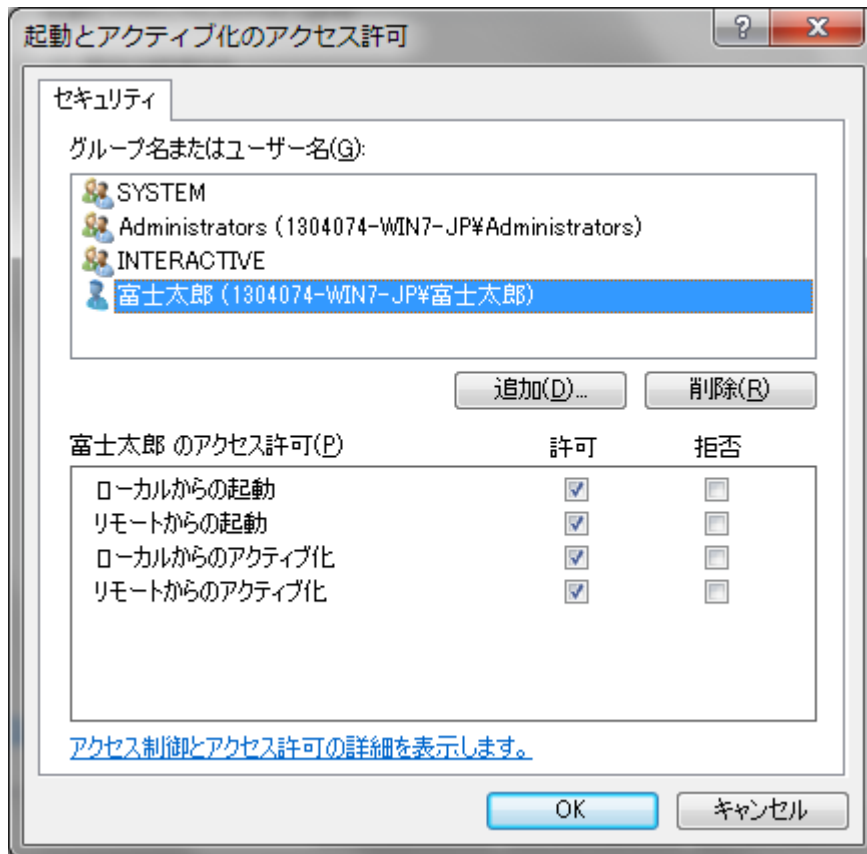
アクセス許可: カスタマイズ



6. [起動とアクティブ化のアクセス許可]の[編集]ボタンを押下して、[起動とアクティブ化のアクセス許可]ダイアログを開き、設定が次のとおりであることを確認します。設定が異なる場合は、設定を変更してください。

グループ名またはユーザー名： FreeFlow Coreサービス起動ユーザー

アクセス許可： すべて[許可]にチェック

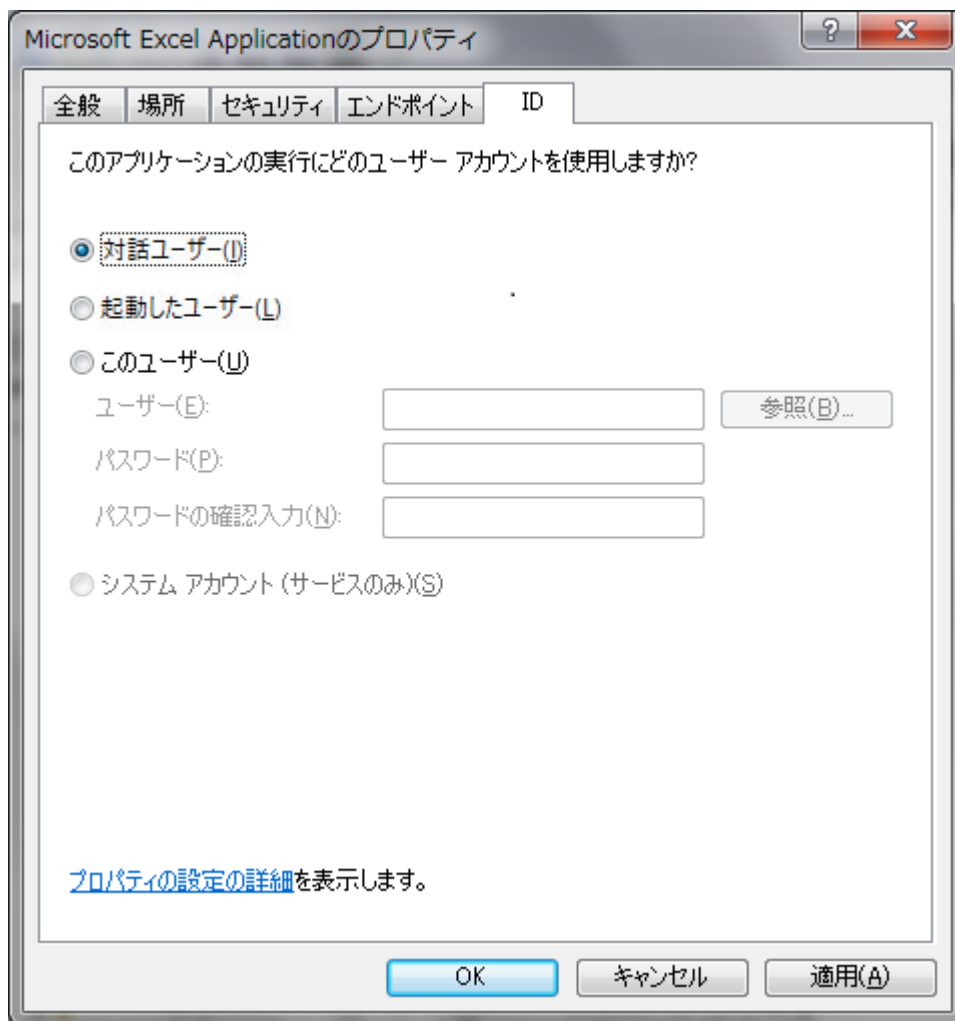


- [起動とアクティブ化のアクセス許可]ダイアログを閉じます。
- [アクセス許可]の[編集]ボタンを押下して、[アクセス許可]ダイアログを開き、設定が次の通りであることを確認します。設定が異なる場合は、設定を変更してください。

グループ名またはユーザー名: **FreeFlow Coreサービス起動ユーザー**
 アクセス許可: **すべて[許可]にチェック**

- [アクセス許可]ダイアログを閉じます。
- [ID]タブを開き、設定が次のとおりであることを確認します。設定が異なる場合は、設定を変更してください。

どのユーザーアカウントを使用しますか: **対話ユーザー**



11. [DCOMのプロパティ]ダイアログを閉じます。

- システムフォルダーの確認

Microsoft Excelアプリケーションが使用する以下のフォルダーが存在することを確認してください。ない場合は作成してください。

32ビット(x86)アプリケーション:

C:\¥Windows¥System32¥config¥systemprofile¥Desktop

64ビット(x64)アプリケーション:

C:\¥Windows¥SysWOW64¥config¥systemprofile¥Desktop

※ 64ビットアプリケーションをご使用の場合は32ビットのフォルダーも同様に設定してください。

- デフォルトプリンターの設定

権限が制限されているユーザーで操作している場合は、以下の手順でXPSを通常使うプリンターに設定してください。管理者権限を持つアカウントの場合は必要ありません。

1. [スタート]メニューから[設定]をクリック、Windowsの設定で[デバイス]をクリックします。
2. 左ペインで[プリンターとスキャナー]をクリックし、右ペインより「Microsoft XPS Document Writer」をクリックして[管理]ボタンをクリックします。

3. デバイスの管理で[既定として設定する]をクリックします。
4. 右上の[×]をクリックしてウィンドウを閉じます。

5. 解除された注意・制限事項

4.1. Xerox FreeFlow Core 8.1.0 で解除された注意・制限事項

[Core 8.0.5 から発生]

- **大きいサイズのジョブを分割プリセットで処理しているとエラーになることがある**

分割プリセットで大きいサイズのジョブを処理していると「FreeFlow Core サービスに接続できませんでした。」メッセージが表示されることがありましたが、修正されました。

[Core 8.0.6 から発生]

- **ページ削除プリセットで PDF/VT ジョブが正しく処理されない**

ページ削除プリセットで PDF/VT ジョブが正しく処理されないことがありましたが、修正されました。

- **面付け処理後のファイルサイズが前バージョンと異なる**

FFC 8.0 で面付け処理を行った後のファイルサイズが前バージョンと大きく異なることがありましたが、修正されました。

- **分割プリセットで、JDF 文書の後のジョブは処理に時間がかかる**

分割プリセットで JDF 文書を処理した後にジョブを送信すると処理に時間がかかりましたが、修正されました。

- **バーコード PDF417 の不具合**

バーコード PDF417 で[クワイエットゾーン(たて)]に 1 インチを指定してジョブを処理すると内部エラーで失敗していましたが、修正されました。

- **ページ挿入、ウォーターマーク、バーコード、縮小／拡大のプリセットがあるワークフローでジョブを処理すると「内部エラー」でジョブが失敗する**

ページ挿入、ウォーターマーク、バーコード、縮小／拡大のプリセットがあるワークフローでジョブを処理すると「内部エラー」でジョブが失敗していましたが、修正されました。

- **FFC 8.0 でカスタムキー「DisableJoinPDFX4AsPDFVT」が有効なときの不具合**

カスタムキー「DisableJoinPDFX4AsPDFVT」が有効なとき、ページ挿入、ウォーターマーク、バーコード、縮小／拡大プリセットがあるワークフローでジョブを処理すると、処理後のPDFが FFC 7.xと比べて小さくなっていましたが、修正されました。

[Core 8.0.7 から発生]

- **標準フィールドを変数で指定するときは英語名を使用する必要がある**
Xerox FreeFlow Core 8.0.5 以降では、MAX の標準フィールドの変数は英語名を用いる必要がありましたが、修正されました。
- **Core Report にレポートがある状態でアップグレードするとレポートが消える**
Core Report にレポートがある状態で Xerox FreeFlow Core をアップグレードすると、レポートが消えてしまいましたが、修正されました。
- **ジョブ送信画面でジョブチケット設定を上書きするとき、フィニッシングタブの「給紙方向」のドロップダウンリストが表示されない**
ジョブ送信画面でジョブチケット設定を上書きするとき、フィニッシングタブの「給紙方向」のドロップダウンリストが表示されませんでしたでしたが、修正されました。
- **[地域]を「ミリ」に変更してもジョブオプションファイル の初期値が「High Quality Print_A4.joboptions」にならない**
[地域]を「ミリ」に変更してもワークフロー編集画面>オプション>ジョブオプションファイル の初期値が「High Quality Print.joboptions」のまま、「High Quality Print_A4.joboptions」になりませんでしたでしたが、修正されました。
- **カスタムキー 'gcConcurrent' を変更できない**
Core Configure でカスタムキー 'gcConcurrent' を変更しても反映されませんでしたでしたが、修正されました。
- **コピー後のバーコードが空欄になることがある**
バーコードプリセットで、登録されているバーコードを編集した後コピーし、それを編集するとバーコードデータが空欄になっていましたが、修正されました。

4.2. Xerox FreeFlow Core 8.0.7 で解除された注意・制限事項

[Core 8.0.0 から発生]

- **マウスホイールはサポートしていません**
ホイールによるスクロールはサポートしていませんでしたが、修正されました。
- **大きいサイズの文書の処理が完了しない**
Xerox FreeFlow Core 8.0.0 以降では大きいサイズの文書は処理中のまま処理されませんでしたでしたが、修正されました。

[Core 8.0.3 から発生]

- **ルーティングプリセットを含むワークフローをインポートした場合の注意事項**

ルーティングプリセットを含むワークフローをインポートするとジョブ処理条件に機能しない条件が追加されましたが、修正されました。

[Core 8.0.4 から発生]

- **ウォーターマークプリセットのプレビューに前の設定が残ることがある**

ウォーターマークプリセットのプレビュー画面に、変更前の設定値が残ることがありましたが修正されました。

- **カスタムサイズの内紙が設定されている面付けプリセットをインポートするときの注意点**

カスタムサイズの内紙が設定されている面付けプリセットをインポートするとき、[インポート時に重複するアイテムを上書き]オプションが有効だとサイズがデフォルト値になり、オプションが無効だと同じ名前の内紙が複数表示されることがありましたが、いずれも修正されました。

- **フィニッシャープリセットで「すべてのジョブを指定の出力先フィニッシャーに送信」を選んでも「出力先フィニッシャー」一覧が表示される**

フィニッシャープリセットで「すべてのジョブを指定の出力先フィニッシャーに送信」を選んでも「出力先フィニッシャー」一覧が表示されていましたが、修正されました。

[Core 8.0.5 から発生]

- **バーコードでフォント「Times Bold Italic」を使用したジョブやプレビューが失敗する**

バーコードでフォント「Times Bold Italic」を指定してもプレビューに反映されず、またジョブは失敗していましたが、修正されました。

- **カスタムキー「RemovePhotoshopAncestryMetadata」を有効にしたときの不具合**

Xerox FreeFlow Core 8.0 から追加された、Photoshop のメタデータの処理が Xerox FreeFlow Core 7.0 に比べて遅いことに対応するためのカスタムキー「RemovePhotoshopAncestryMetadata」を有効にしたとき、ジョブのステータスがずっと「処理中」になっていましたが、修正されました。

- **ウォーターマークで文字揃えの幅が小さすぎるとジョブが失敗する**

ウォーターマークでテキストを使用する際、文字揃えの幅は表示できる幅で設定しないとジョブが失敗していましたが、修正されました。

- **ページ挿入プリセットの処理遅延**

ページ挿入プリセットで種類が「ジョブページ」、[印刷部数に応じて自動設定]オプションが有効なとき、部数が増えるにしたがって処理時間が指数関数的に遅くなっていましたが、修正されました。

[Core 8.0.6 から発生]

- **「マイジョブ」タブでページが複数あるとき、ページ操作を繰り返していると表示が崩れることがある**

ジョブステータス画面のマイジョブタブでページ操作を繰り返していると表示が崩れることがありましたが、修正されました。

- **ジョブがワークフローに残っていてもプリセット名が編集できてしまう**

ワークフローにジョブがある状態でプリセット名を変更しようとする警告が出るが、ダイアログを閉じると名称変更できてしまいましたが、修正されました。

- **ジョブ処理条件「その他すべてのジョブ」で削除ボタンが表示されることがある**

フィニッシャープリセットのジョブ処理条件の「その他すべてのジョブ」に対し、削除ボタンが有効になることがありましたが、修正されました。

- **ホットフォルダーの名前を入力していないのに保存ボタンが有効になることがある**

ホットフォルダーの名前を入力していないのに保存ボタンが有効になることがありましたが、修正されました。

- **ジョブオプションファイルの不具合**

ワークフローオプション画面のジョブオプションファイルで、リストの初期値のファイル名を変更後、再度ワークフロージョブオプション画面を表示すると変更後の名前では表示されず、リスト内にはそのファイルがありませんでしたが、修正されました。

- **両面・片面を変更しても、バーコードプリセットのプレビューが更新されない**

バーコードプリセットで両面・片面を変更しても、プレビューが更新されませんでした。修正されました。

- **ページ挿入プリセットのページ選択に「ページ間隔」が表示される**

ページ挿入プリセットで種類「ジョブページ」場所「連続するページセットの前/後」を選択時、ページ選択に「ページ間隔」が表示されていましたが、修正されました。

- **キューが有効なときのジョブ送信ダイアログの不具合**

キューが有効なとき、ジョブ送信ダイアログでキューを指定して送信した後再度ジョブ送信ダイアログを開くと、キューのドロップダウンリストが無効になっていることがありましたが、修正されました。

- **プリンターの連続追加時の不具合**

出力先プリンターの追加画面でプリンターを連続追加していると、IP アドレスを入力していないのに保存ボタンが有効になることがありましたが、修正されました。

- **Core Reports のフィールド管理での不具合**

Core Reports のフィールド管理で「すべて選択」のチェックを外し「ジョブ ID」だけにして保存後、再度開くと「すべて選択」にチェックが入っていましたが、修正されました。

- **キューリストが空のときの不具合**

ホットフォルダー編集画面でキューリストが空にもかかわらず、保存ボタンが有効になることがありましたが、

修正されました。

- **ホットフォルダー一覧で複数のホットフォルダーを選択中に編集、コピーボタンが有効になる**
ホットフォルダー一覧画面で、複数のホットフォルダーを選択しているときに編集やコピーボタンが有効になることがありましたが、修正されました。
- **「マイジョブ」で、前のページの最後のジョブが次のページの先頭に重複して表示される**
ジョブステータス画面の「マイジョブ」で、各ページの最後のジョブが次のページの先頭に重複して表示されましたが、修正されました。

4.3. Xerox FreeFlow Core 8.0.6 で解除された注意・制限事項

[Core 7.0.3 から発生]

- **面付け、ウォーターマーク後にハイライトの形状・位置が変わる**
Acrobat でハイライトを施した PDF ファイルを面付け、またはウォーターマークコンポーネントで処理すると、ハイライトの形状や位置が変わりましたが、修正されました。

4.4. Xerox FreeFlow Core 8.0.4 で解除された注意・制限事項

[Core 8.0.0 から発生]

- **アクティブなジョブがある状態でライセンスを変更しない**
アクティブなジョブがある状態でライセンスを変更すると、FreeFlow Core が起動しなくなっていました。修正されました。
ライセンスのダウングレードで影響を受けるワークフローに処理中のジョブがある場合、このワークフローは無効化されません。また、ワークフロー一覧には表示されますが、無効なコンポーネントをキャンバス上に表示できないため、ユーザーはこのワークフローに変更を加えることはできません。処理中のジョブがクリアされると、次のサーバー再起動後にワークフローは無効化されます。
- **計算式にはかっこを付ける必要がある**
入力値で計算式を使用する場合はかっこを付きでなければ正しく動作しないことがありましたが修正されました。
- **ライセンス情報が正しくないことがある**
試用期間中に正規ライセンスを適用すると選択していなくても Variable Data オプションが表示されていましたが、修正されました。
- **ドブの単位がインチ**
Xerox FreeFlow Core 8.0.0 の面付けプリセット編集画面の「ドブ」は、System Options > 地域 で「ミリ」を選択していても、表示単位は「インチ」でしたが、修正されました。

4.5. Xerox FreeFlow Core 8.0.2 で解除された注意・制限事項

[Core 8.0.0 から発生]

- **Xerox FreeFlow Core 8.0.0 で処理するとファイルサイズが大きくなることがある**
Xerox FreeFlow Core 8.0.0 で処理するとファイルサイズが大きくなることもありましたが、修正されました。
- **ページ選択[以下のページに適用]の「用紙サイズ」「等しい」が機能しない**
Xerox FreeFlow Core 8.0.0 ではページ選択[以下のページに適用]の「用紙サイズ」「等しい」が機能していませんでしたが、修正されました。
- **クラスターリングが「オン」のとき、プレビュー画面でページサイズが表示されない**
Xerox FreeFlow Core 8.0.0 の面付けプリセット編集画面で、クラスターリングが「オン」のとき、プレビューのページサイズが表示されませんでした。修正されました。

4.6. Xerox FreeFlow Core 8.0.0 で解除された注意・制限事項

[Core 4.0.0 から発生]

- **Core Exchange では上位バージョンから下位バージョンへのインポートはできない**
Core Exchange では、FreeFlow Core 4.0.0 以降、上位バージョンから下位バージョンへのインポートはできませんでしたが、Xerox FreeFlow Core バージョン 8.x 以降、Core Exchange では上位バージョンへのインポートと下位バージョンへのインポートの両方が可能になりました。したがって、Xerox FreeFlow Core バージョン 8.0.4 から 8.0.1 へのインポートも可能です。ただし、新しいバージョンで導入された新機能は、古いバージョンには引き継がれません。

[Core 6.0.0 から発生]

- **最適化コンポーネントの[トンボから仕上がりサイズを設定]オプションを有効にして処理をすると、FFCore 6.0 以降とそれ以前では、仕上がりサイズ、裁ち落としサイズの位置が異なる場合がある**
最適化コンポーネントの[トンボから仕上がりサイズを設定]オプションを有効にして処理をすると、FFCore 6.0 以降とそれ以前では、二本線のトンボに対する 3rd Party モジュールの挙動が変わったため、仕上がりサイズ、裁ち落としサイズの位置が異なる場合がありましたが、修正されました。

[Core 7.0.11 から発生]

- **Xerox FreeFlow Core 7.0.11 で、ジョブ処理条件の値が保存されず空になる**
Xerox FreeFlow Core 7.0.11 で、ジョブ処理条件の値が保存されず空になってしまう現象が発生していましたが、修正されました。

4.7. Xerox FreeFlow Core 7.0.11 で解除された注意・制限事項

[Core 7.0.7 から発生]

- **登録済みの出力先プリンターを編集するとき、リストから別のプリンターを選択しても名前やIPアドレスなどが変更されない**

Xerox FreeFlow Core 6.2.3から7.0.7で登録済みの出力先プリンターを編集する際、[プリンター]のドロップダウンリストから他のプリンターを選択しても、[プリンター名]や[DNS 名または IP アドレス(必須)]、[キュー名]は変更されませんでしたでしたが、修正されました。

[Core 7.0.0 から発生]

- **脆弱性(CVE-2024-47555～47559)に対応しました**

Xerox FreeFlow Core において、脆弱性(CVE-2024-47555～47559)*1 が存在することが判明しましたが、修正されました。

*1: NIST(米国国立標準技術研究所)が公開している脆弱性情報

4.8. Xerox FreeFlow Core 7.0.7 で解除された注意・制限事項

[Core 7.0.0 から発生]

- **カスタムフィールドの MAX 変数をホットフォルダーのジョブ名に使用していると正しく設定されない**

カスタムフィールドの MAX 変数をホットフォルダーの MAX 設定の[ジョブ名]に使用しているとジョブ名が異常になりましたが、修正されました。

4.9. Xerox FreeFlow Core 7.0.4 で解除された注意・制限事項

[Core 7.0.0 から発生]

- **Xerox FreeFlow Core 7.0 以降、ウォーターマークとして使用するファイルを MAX 変数で指定して新規作成、または編集して保存すると、このウォーターマークプリセットの処理でエラーが発生し、ジョブがエラー終了する**

Xerox FreeFlow Core 7.0 以降で、ウォーターマークとして使用するファイルを MAX 変数で指定して新規作成、または編集して保存すると、このウォーターマークプリセットの処理でエラーが発生し、ジョブがエラー終了していましたが、修正されました。

4.10.Xerox FreeFlow Core 7.0.3 で解除された注意・制限事項

[Core 7.0.0 から発生]

- **Xerox FreeFlow Core 7.0 で同梱の EasyStarts がインストールできない**

Xerox FreeFlow Core 7.0 では、同梱の EasyStarts がインストールできませんでしたが、修正されました。

本パッチに同梱している FFCoreJ_70_EasyStarts_Rev_2.zip をご利用ください。

[Core 7.0.1 から発生]

- **グループジョブ名が異常になる**

ジョブ送信画面でジョブ名を指定し、[集約]-[連結]-[保存]のワークフローに対してジョブを送信すると、ジョブ管理画面での表示は問題ないが保存ジョブ名が異常になる現象がありましたが、修正されました。

[Core 7.0.2 から発生]

- **面付けコンポーネントで [可能な場合 90° 回転させた行または列を追加する]オプションが有効なときに期待通りの結果にならないことがある**

面付けコンポーネントの[行数、列数]で「行数、列数を自動選択」を選択したときに指定できる[可能な場合 90° 回転させた行または列を追加する]オプションを有効にしたとき、期待通りの結果にならないことがありましたが、修正されました。

- **Mac OS + Safari の環境で、集約の編集画面で[曜日]の各曜日にチェックを入れても、チェックを入れた GUI にならない**

Mac OS + Safari の環境で、集約の編集画面で[曜日]の各曜日にチェックを入れても、チェックを入れた GUI になりませんでした。修正されました。

4.11.Xerox FreeFlow Core 7.0.2 で解除された注意・制限事項

[Core 7.0.0 から発生]

- **バーコードの[追加の値を選択]リストの値が省略されて見えない**

バーコード編集画面でデータタブの[追加の値を選択]のリストを開くと、値の後ろが省略されて見えませんでした。修正されました。

- **バーコード編集画面で、ページ範囲を入力しても[テーブルに追加]ボタンが有効にならず追加できない**

Xerox FreeFlow Core 7.0.1 のバーコード編集画面で、[配置]タブで[ページ選択]に「ページ範囲」を選択した後、[ページ範囲]欄に値を入力しても[テーブルに追加]ボタンが有効にならず、バーコードを追加できないことがありましたが修正されました。

[Core 7.0.1 から発生]

- **MAX 設定で[標準フィールド]と同じ名前の[カスタムフィールド]が作成できてしまう**
Xerox FreeFlow Core 7.0.1 ではホットフォルダーの MAX 設定で[標準フィールド]と同じ名前の[カスタムフィールド]が作成できてしまいましたが、修正されました。

4.12.Xerox FreeFlow Core 7.0.1 で解除された注意・制限事項

[Core 6.0.0 から発生]

- **676 字以上を含む Aztec バーコードが、バーコードリーダーで読み取れない**
Aztec バーコードで 676 字以上を入力すると、出力されたバーコードはバーコードリーダーで読み取れませんが、修正されました。

[Core 7.0.0 から発生]

- **キュー管理が無効の状態でもジョブのプロパティ画面に[カラーコンテンツ]欄が表示される**
本来はキュー管理が有効の状態でのみ表示されるはずの[カラーコンテンツ]欄が、キュー管理が無効の状態でも空欄で表示されていましたが、修正されました。

4.13.Xerox FreeFlow Core 7.0.0 で解除された注意・制限事項

[Core 6.2.4 から発生]

- **異なる言語の OS からのインポートはサポート外**
FreeFlow Core では、異なる言語の OS からのインポートはサポートしていませんでしたが、修正されました。

[Core 6.2.6 から発生]

- **Xerox FreeFlow 6.2 でマニフェストファイルに定義したファイルが見つからないことがある**
Xerox FreeFlow Core 6.2 では、マニフェストファイルに定義した「ファイル名」および「フォルダー名」をパーセントエンコーディングするため、ファイル名やフォルダー名が 2 バイト文字を含む場合にファイルが見つからないとしてエラーになることがありましたが、修正されました。

4.14.Xerox FreeFlow Core 6.2.6 で解除された注意・制限事項

[Core 6.1.5 から発生]

- **FreeFlow Core 6.1.5 以降、Xerox FreeFlow Core 6.2.2 から 6.2.5 までのウォーターマークプリセットで、ウォーターマークとして使用するファイルを MAX 変数で指定すると正しく動作しない**

FreeFlow Core 6.1.5 以降、Xerox FreeFlow Core 6.2.2 から 6.2.5 までのウォーターマークプリセットで、ウォーターマークとして使用するファイルを MAX 変数で指定すると正しく動作しませんでした。Xerox FreeFlow Core 6.2.6 で修正されました。

本現象が発生していた環境では、Xerox FreeFlow Core 6.2.6 以降へアップデートしたのち、以下のいずれかの操作を行い、修正を反映してください。

- a) 現象の発生しているウォーターマークプリセットを開き保存しなおす。
- b) 現象の発生しているウォーターマークプリセットをエクスポートし、インポートしなおす。

[Core 6.2.4 から発生]

- **[レジストレーションカラーを次の値に変換]の表示位置がずれる**

FreeFlow Core 6.2.2 以降で、カラー調整プリセットの編集画面で、[レジストレーションカラーを変換]オプションを有効にすると、本来は直下に表示される[レジストレーションカラーを次の値に変換:]がダイアログ内最下部の誤った位置に表示されていたが、修正されました。

4.15.Xerox FreeFlow Core 6.2.5 で解除された注意・制限事項

[Core 6.2.0 から発生]

- **アップロードしたファイルを削除しても Spool フォルダ下に残ることがある**

以下のファイルは、アップロードした画面から削除しても、ワークフローデータフォルダの Spool フォルダ (<インストールドライブ > :¥Xerox¥FreeFlow¥Core¥00000000-0000-0000-0000-000000000000¥Platform¥Spool) 下に残っていましたが、解消されました。

- プリフライトプロファイル(.kfp/.kfp.x)
- プリフライトプロセスプラン(.kfp/.kfp.x)
- フォント置換設定ファイル(.cfg)

[Core 6.2.4 から発生]

- **コンポーネント編集画面で、[i]ボタンをクリックして表示させたツールチップが[x]ボタンで閉じないことがある**

コンポーネント編集画面で、プリセット名の横にある[i]ボタンをクリックして表示させたツールチップが、[×]ボタンをクリックしても閉じないことがありましたが、解消されました。

4.16. Xerox FreeFlow Core 6.2.3 で解除された注意・制限事項

[Core 4.0.0.2 から発生]

- **IP アドレスを変更した場合にプリンター接続できなくなることがある**

DHCP 運用などで、FreeFlow Core を起動中に FreeFlow Core システムの IP アドレスが変更された場合、Core システムを再起動するまで登録している FreeFlow PrintServer との通信が全てエラーになってしまうことがありましたが、解消されました。

[Core 4.0.1.2 から発生]

- **プリフライト結果が Acrobat と異なる**

有効インク使用量をチェックするプリフライトプロファイルの処理結果が、Acrobat での処理結果と異なることがありましたが、解消されました。

[Core 4.0.3.4 から発生]

- **フォントが埋め込まれていない PostScript ファイルの PDF 変換について**

フォントが埋め込まれていない PostScript ファイルを PDF に変換すると該当フォントが Courier に置き換わり、2 バイト文字が文字化けすることがありましたが、解消されました。

[Core 5.1.0.2 から発生]

- **PDF/mt のグループジョブの分割および連結で順序が保持されない**

PDF/mt のグループジョブを[分割]コンポーネントでレコード分割してから[連結]コンポーネントで連結すると、元の PDF/mt のグループ内ジョブ順およびレコード順が保持されずに連結されることがありましたが、解消されました。

- **白トナーの表記が正しくない**

プリンターに白トナーが搭載されている場合において、白トナーの表記が FreeFlow Core 上で正しく表示されませんでした。解消されました。

[Core 6.1.0 から発生]

- **FreeFlow Core 6.1.0 以降では ISBN バーコードを出力できない**

FreeFlow Core 6.1.0 以降では ISBN バーコードが出力できませんでしたが、解消されました。

[Core 6.2.2 から発生]

- **FreeFlow Core 6.2.2 で、オプション[幅と高さをチェック] + 単位[ミリ] + MAX 変数 の組み合わせを設定したプリフライトコンポーネントは正しく動作しない**

オプション[幅と高さをチェック]、単位[ミリ]を設定し、MAX 変数を指定したプリフライトプリセットは、正しく動作しませんでした。解消されました。

- **集約コンポーネントのジョブのプロパティのリストから削除ができない**
集約コンポーネントで[ジョブ属性に従ってジョブを並び替える]オプションが有効の時、ジョブのプロパティのリストからジョブ属性を削除することができませんでしたが、解消されました。
- **新規インストールした FreeFlow Core 6.2.2 ではカラー調整コンポーネントの一部機能が使えない**
新規にインストールした FreeFlow Core 6.2.2 では、カラー調整コンポーネントの一部の機能を利用できませんでしたが、解消されました。

4.17.Xerox FreeFlow Core 6.2.2 で解除された注意・制限事項

[Core 4.0.2.0 から発生]

- **ヘルプに記載されているジョブプロパティの変数が正しくない**
グループジョブ中のジョブ ID としてヘルプに「\$FFwfJob.documentGroupId\$」を誤って「\$FFwfJob.documentGroupID\$」と記載していましたが、解消されました。
- **ヘルプに記載されているジョブプロパティの変数が正しくない**
PDF/VT レコード数としてヘルプに「\$FFwfJob.PDFVTNumberOfRecords\$」を誤って「\$FFwfJob.PDFVTNumberOfRecord\$」と記載していましたが、解消されました。

[Core 5.0.0.4 から発生]

- **QR コードの 2 バイト文字サポートについて**
2 バイト文字を指定すると不正なバーコードが作成され、バーコードリーダーで読み取ると文字化け、またはデータが入っていない現象が発生していましたが、解消されました。

[Core 5.0.0.8 から発生]

- **FreeFlow Core 付属の外部コンポーネントである changeMediaSize プリセットでジョブ処理に失敗することがある。**
外部コンポーネントに changeMediaSize プリセットが設定されたワークフローで複数ジョブを同時処理すると、changeMediaSize プリセットのジョブ処理がエラーになることがありましたが、解消されました。

[Core 6.1.0 から発生]

- **タイムスタンプの月、時間表記を 2 ケタ表示に揃えるための値がヘルプで誤表記**
FreeFlow Core に同梱されているマニュアルおよびヘルプの「プロセス変数演算」の説明において、タイムスタンプの月・時間表記を 2 ケタ表示に揃えるための値としての「numpad」を「padnum」と誤記載していましたが、解消されました。

- **外部コンポーネントでFreeFlow Core プロセス変数を更新出来るが、印刷部数以外は更新されない**

FreeFlow Core 6.1 以降の外部コンポーネントでの FreeFlow Core プロセス変数の更新は、印刷部数以外は期待通りに動作しませんでした、解消されました。

[Core 6.2.0 から発生]

- **xml 形式の Core Report に「両面／片面」がない**
xml 形式で保存した Core Report に「両面／片面」が出力されませんでした、解消されました。
- **フィックスアップ「テキストを配置」を使用したプロファイルが動作しない**
FreeFlow Core 6.2.0 で、フィックスアップ「テキストを配置する」を設定したプリフライトコンポーネントでジョブを処理しても期待通りの結果が得られませんでした、解消されました。
- **同じプロファイルを使用しても FreeFlow Core と Acrobat、pdfToolbox で処理結果が異なることがある**
プロファイルを指定したプリフライトコンポーネントで処理した PDF は、同じプロファイルで Acrobat や pdfToolbox で処理したものと異なることがありましたが、解消されました。

4.18.Xerox FreeFlow Core 6.2.0 で解除された注意・制限事項

[Core 5.1.0.1 から発生]

- **PDF/mt をグループ面付けすると大きなサイズのファイルが作成される**
PDF/mt をグループ面付けすると、PDF/mt を分割してグループ面付けした場合より大きなサイズのファイルが作成されていましたが、解消されました。

[Core 6.1.0 から発生]

- **プリセット名の編集アイコン、編集キャンセルアイコンのツールチップが英語表記になっている**
プリセット名の編集画面で、プリセット名の隣にある名前編集アイコン、または編集キャンセルアイコンのツールチップは英語で表示されていましたが、解消されました。
- **FreeFlow Core 変数の追加を行うウィンドウのタイトルが英語表記になっている**
外部プリセットの編集画面で、[変数を追加する]オプションをチェックして表示される[追加変数]ウィンドウの右にある検索ボタン(虫眼鏡のアイコン)をクリックすると、追加する変数の選択ウィンドウが表示されますが、このウィンドウのタイトルが英語表記「Add FreeFlow Core Variables」になっていました。解消されました。
- **FreeFlow Core 6.1.0 以降、[最適化]コンポーネントで特定のオプションを指定するとジョブがエラー終了する場合があります**
FreeFlow Core 6.1.0 以降で下記のオプションを選択した[最適化]プリセットをエクスポートして

FreeFlow Core のインストールパスが異なる環境にインポートすると、この[最適化]プリセットでジョブを処理したときエラー「ソースから読み取れません。」が発生しましたが、解消されました。

- フォントをアウトライン化
- 潜在的なフォントの問題を修正
- 裁ち落としがないときミラーリングする
- 裁ち落としがないときピクセルレプリケーションを行う
- 指定のスポットカラーを指定の CMYK カラーに変換
- 指定の CMYK カラーを別の CMYK カラーに変換

- **[面付け]、[分割]、[連結]、[カラーページ分割]コンポーネントで処理するとしおりが消える**

しおり付き PDF を[最適化]、[分割]、[結合]、[カラースプリット]コンポーネントで処理するとしおりが消えることがありましたが、解消されました。

- **規定のジョブチケットでの部数指定が反映されない**

FreeFlow Core 6.1.0 から 6.1.3、6.1.5 では、規定のジョブチケットでの部数指定が反映されませんでした。解消されました。

[Core 6.1.2 から発生]

- **[ウォーターマーク]コンポーネントでテキスト縦位置にズレが発生することがある。**

ウォーターマークコンポーネントの「たて方向の位置調整」で「中央揃え」/「地」/「小口」が選択され、またベースラインを超える文字がある場合、テキスト縦位置にズレが発生していましたが、修正されました。

[Core 6.1.4 から発生]

- **グループジョブとして送信する場合、ジョブチケットで例外ページを設定しても無効**

送信ジョブをグループジョブとして送信する場合、ジョブチケットで設定した例外ページは無効でしたが、解消されました。

- **クワイエットゾーンの値により ISBN バーコードが表示しきれないことがある**

ISBN バーコードの表示領域は調整されないため、クワイエットゾーン(よこ)の値が大きすぎると ISBN バーコードが表示しきれないことがありましたが、解消されました。

4.19.FreeFlow Core 6.1.4 で解除された注意・制限事項

[Core 6.1.2 から発生]

- **ワークフローの削除ボタンをクリックしてから確認メッセージが表示されるまで 20 秒ほどかかることがある。**

FreeFlow Core インストール PC を起動し、FreeFlow Core の初めて起動した時、ワークフローの削除ボタンをクリックしてから確認メッセージが表示されるまで約 20 秒ほどかかることがありましたが、解消されました。

4.20.FreeFlow Core 6.1.3 で解除された注意・制限事項

[Core 6.1.1 から発生]

- **ISBN のクワイエットゾーン(よこ)が設定どおりに出力されない**

FreeFlow Core 6.1.1 以降でバーコード ISBN を作成する場合、[クワイエットゾーン(よこ)]の値は正確にバーコードに反映されませんでした。が、解消されました。

[Core 6.1.2 から発生]

- **FreeFlow Core 6.1.2 で「赤目除去」が動作しない。**

イメージエンハンスプリセットの「赤目除去」オプションを有効にしても、FreeFlow Core 6.1.2 では動作しませんでした。が、解消されました。

- **しおり付き PDF を「連結」コンポーネントで処理すると「Bookmark」というしおりが追加される。**

しおり付き PDF を連結コンポーネントで処理すると、結果の PDF では先頭に「Bookmark」というしおりが追加されました。が、解消されました。

- **ワークフロー設定画面にあるすべての削除ボタンがグレイアウトすることがある。**

ワークフローに編集したことのある面付けプリセットがあるとき、ワークフロー設定画面にあるすべての削除ボタンがグレイアウトすることがありましたが、解消されました。

4.21.FreeFlow Core 6.1.2 で解除された注意・制限事項

[Core 6.0.0 から発生]

- **FreeFlow Core 6.0.0 以降で作成されるバーコードで、キャプションの先頭の数字の位置が変わった**

FreeFlow Core 6.0.0 以降で作成されるバーコードで、キャプションの先頭の数字はバーコードの前には表示されなくなる現象がありましたが、解消されました。

[Core 6.1.0 から発生]

- **FreeFlow Core でジョブ名を指定してジョブを送信する場合、ジョブリスト/プリンターのジョブリスト/保存した xpf ファイルに正しいジョブ名が反映されない場合がある**

FreeFlow Core でジョブ名を指定してジョブを送信する場合、指定したジョブ名が、ジョブの処理結果として FreeFlow Core のジョブリスト/プリンターのジョブリスト/保存した xpf ファイルに正しく反映されない場合がありましたが解消されました。

- **コピーしたプリセットを同名で保存できる**

コピーしたプリセットに、既存のプリセットと同じ名前を付けることが出来ましたが、出来なくなりました。

- 外部プリセットの追加変数画面で、MAX 変数が正しく表示されないことがある**

外部プリセットの追加変数画面に表示される MAX 変数は、ブラウザの言語設定が英語でなければ正しく表示されませんでした。解消されました。
- 名前に 2 バイト文字を使用したジョブは、[LPR を使用]を設定したプリンターで送信すると、プリンター側で文字化けする**

[LPR を使用]を有効にしたプリンターで、名前に 2 バイト文字を使用したジョブを送信すると、プリンター側で名前が文字化けする現象がありましたが、解消されました。
- 面付けコンポーネントでカスタム用紙サイズを指定するときの注意事項**

面付けプリセットで用紙に「カスタムサイズ」を選択したとき、[追加]ボタンを押さずに保存できましたが、解消されました。
- Core Reports を有効にすると、パフォーマンスが悪化する**

Core Reports を有効にしていると、大量ジョブの処理に時間がかかることがありましたが、解消されました。
- ジョブ送信の権限を持たないプリンターにジョブを送信できる**

プリンターマップ情報で設定していないプリンターに対しても、ユーザーはジョブを送信できましたが、解消されました。
- 負荷のかかるジョブを処理するとパフォーマンスが低下する**

FreeFlow Core 6.1.0 では、負荷のかかるジョブ処理を行うと FreeFlow Core のパフォーマンスが低下していましたが、解消されました。
- 印刷プリセットをコピーして保存できないことがある**

印刷コンポーネントに複数のプリセットがあるとき、1 つの印刷プリセットを編集し、[このプリセットの設定を適用]で別の印刷プリセットを選択し、プリセットをコピーして保存すると、エラーメッセージ[プリセットを保存できません。]が表示されて保存できませんでした。解消されました。

4.22.FreeFlow Core 6.1.0 で解除された注意・制限事項

[Core 4.0.0.1 から発生]

- ジョブのプロパティに PDF の著者とプロパティが表示されないことがある**

ジョブのプロパティで PDF の著者とプロパティが表示されず、空白になる事象がありましたが、解消されました。

[Core 6.0.0 から発生]

- **1 ページに複数の注釈が設定されている PDF を面付け処理すると、最初の一つ以外は削除される**

1 ページに複数の注釈が設定されている PDF を面付け処理すると、最初の一つ以外は削除され、スタンプは最初の一つも見えなくなる事象がありましたが、解消されました。

- **メッセージ「ジョブの送信を停止: プリンターコントローラーのディスク空き容量が不足 このプリンターに関連する出力先プリンターは停止中です。」が異常表示されることがある**

FreeFlow Core 5.4.0 以降のバージョンで、ジョブ送信制御>プリンターコントローラーのステータス オプション が有効(デフォルト値)のとき、プリンターの編集画面上部にメッセージ「ジョブの送信を停止: プリンターコントローラーのディスク空き容量が不足 このプリンターに関連する出力先プリンターは停止中です。」が表示される事象がありましたが、解消されました。

- **パススルー設定を使用して PostScript 形式のジョブを送信するとエラーになる場合がある**

パススルー設定で PostScript 形式のジョブをプリンターに送信した場合、ジョブがエラーになることがありましたが、解消されました。

- **FreeFlow Core Print Report で、ジョブが正しく表示されないことがある**

Core Report の FreeFlow Core Print Report で、ジョブが正しく表示されないことがありましたが、解消されました。

[Core 6.0.2 から発生]

- **sFTP を使ってファイルを登録できない**

FreeFlowCore 6.0.x には、WinSCPnet.DLL の version 5.17.2.0 だけが同梱されており、関連する WinSCP.exe が同梱されていないため、MAX で sFTP を使ってファイルを送信する場合、FreeFlow Core でジョブは作成されますが、状態が失敗になる事象がありましたが、解消されました。

- **UPC A のキャプション印字位置が正しくない**

バーコード UPC A で[データ部分のみキャプションを付ける]オプションが有効の時、キャプションの末尾の数字がバーコードにかかるように表示される事象がありましたが、解消されました。

- **UPC A と EAN JAN 13 バーコードが補助バーコードと重なる**

UPC A と EAN JAN 13 バーコードに補助バーコード(2-digit または 5-digit)を選択している場合、補助バーコードがバーコードと重なり、バーコードリーダーで読み取れないことがありましたが、解消されました。

- **変更した MantisService.exe.config の値を、クローンとしてインポートしても FreeFlow Core の動作に反映されないことがある**

Core Exchange でクローンとしてエクスポートしたファイルをクローンとしてインポートすると、MantisService.exe.config ファイルは正しくインポートされますが、その内容は実際にシステムに反映されませんでした。解消されました。

4.23.FreeFlow Core 6.0.2 で解除された注意・制限事項

[Core 6.0.0 から発生]

- **EPS ファイルを変換した PDF ファイルが、Acrobat で変換したものと異なる**

FreeFlow Core 6.0.0 以降の FreeFlow Core で EPS ファイルを変換した PDF ファイルのサイズとレイアウトが、Acrobat で変換したものと一致しない事象がありましたが、解消されました。

- **ITF バーコードの表示が不完全になることがある**

ITF バーコードの「ナローワイドバー比率」を 2.3～2.4 に設定すると、バーコードリーダーで読み取れないバーコードが生成される事象がありましたが、解消されました。

- **[出力先プリンター]でプリンターグループを選択してはいけない**

ジョブ送信ダイアログの[出力先プリンター]でプリンターグループを選択すると有効になる[分配条件]は正しく動作せず、一度定義するとすべての印刷プリセットの分配条件より優先して処理される事象がありましたが、解消されました。

[Core 6.0.1 から発生]

- **「通知」の設定を変更すると、エラーが表示されることがある**

「通知」の設定画面で「メール通知受信者」に設定しているユーザーを「ユーザーアクセス」画面で削除すると、「通知」の設定を変更するたびに「メール通知設定を保存できません」エラーが表示される事象がありましたが、解消されました。

4.24.FreeFlow Core 6.0.1 で解除された注意・制限事項

[Core 6.0.0 から発生]

- **ウォーターマークのセパレーターに":"を指定すると処理エラーとなる**

ウォーターマークにタイムスタンプ変数(\$FFtimeStamp.Format(a,b,c,d,e,f,g)\$)を指定する場合、区切り文字に":"を指定するとジョブがエラー終了する事象がありましたが、解消されました。

- **MAX ジョブの入力ファイルにサポート対象外のファイルが含まれるとき、メール通知されない**

MAX ジョブにサポート対象外のファイルが含まれる場合、[管理]>[通知]>[ジョブ送信通知]>[通知タイミング]で「サポート対象外ファイルの検出」が有効でもメール通知されない事象がありましたが、解消されました。

- **MIME パッケージファイルで、ミリ秒までを含む日時が処理できない**

"JMF/@TimeStamp"にミリ秒が含まれている MIME パッケージファイルを送信しても、FreeFlow Core で処理できない事象がありましたが、解消されました。

- **zip 圧縮したファイルの送信に失敗する場合がある**

pdf 以外の FreeFlow Core サポートファイルを zip 圧縮して送信時に zip 内のファイルが一つだとジョブ

が失敗する事象や、VIPP ジョブを zip 圧縮したジョブを送信時に内部のファイル個数に関わらずジョブが失敗する事象がありましたが、解消されました。

4.25.FreeFlow Core 6.0.0 で解除された注意・制限事項

[Core 4.0.1.0 から発生]

- **Core Reports で総面数・完了部数・ストックサイズでジョブをソートできない**

Core Reports では総面数・完了部数・ストックサイズをキーとしてジョブをソートできない事象がありましたが、解消されました。

[Core 5.1.0.3 から発生]

- **バーコードのクワイエットゾーン長さが設定値と一致しない**

バーコードの[クワイエットゾーン]と[クワイエットゾーン(たて)]に指定した値がバーコードに正しく反映されない事象がありましたが、解消されました。

[Core 5.1.0.6 から発生]

- **保存された JDF ファイルの media type 名が大文字になる**

FreeFlow Core に投入したジョブチケットにユーザー定義の media type 名 (例:'abcdef')を指定し、FreeFlow Core 経由で JDF へ保存すると、先頭の文字が小文字で指定されていても、大文字になる (例:'Abcdef') 事象がありましたが、解消されました。

[Core 5.1.0.9 から発生]

- **出力先プリンターの[既定のジョブチケットを設定]で指定したジョブ名が無効になる場合がある**

出力先プリンターの[既定のジョブチケットを設定]でジョブ名を指定している場合、以下の送信ジョブでは指定したジョブ名が反映されない事象がありましたが、解消されました。

- ・MAX ジョブを送信
- ・ジョブ送信ダイアログから PDF ファイルのみ(ジョブチケットなし)を送信

- **ウォーターマークで改行異常が発生する**

ウォーターマークに特定の文字を指定すると、次のような改行異常が発生する事象がありましたが、解消されました。[5.1.0.9 から]

- 全角記号を含む文字列で、幅に達していないのに改行している
- 半角スペースを含む文字列で、改行位置がおかしい
- 半角ハイフンで改行される
- 半角スペースで改行される
- 半角スペースがカウントされない
- 全角文字列に改行コードがあると、幅に達していないのに改行している
- 全角文字列に半角スペースがあると、幅に達していないのに改行している
- 全角文字列に半角ハイフンがあると、幅に達していないのに改行している

- 全角文字列に半角バックスラッシュがあると、幅に達していないのに改行している
- 全角文字列に半角タブ記号があると、幅に達していないのに改行している
- "¥r"で改行できない

[Core 5.1.0.10 から発生]

- **送信する xpf ファイルで指定したジョブ名に拡張子が含まれる場合、保存した xpf ファイルのジョブ名では拡張子が欠落する**

FreeFlow Core で xpf ファイルをつけてジョブを送信する場合、送信する xpf ファイルで指定したジョブ名に拡張子が存在する(例:testXPF.pdf)と、FreeFlow Core のジョブリストに表示されるジョブ名には拡張子が反映されますが、保存した xpf ファイルに含まれるジョブ名では拡張子が欠落する(例:testXPF)事象がありましたが、解消されました。

- **面付けをすると注釈が消える**

1 ページに 1 つの注釈が設定されている PDF を FreeFlow Core で面付けすると、注釈が消える事象がありましたが、解消されました。

- **論理プリンター名の制限**

名前が「ipp」という論理プリンター、またはキューを使用できない事象がありましたが、解消されました。

[Core 5.4.0 から発生]

- **プリンターの機種名/アイコンが正しく表示されない**

電源がついていないプリンターの正確な機種名/アイコンが表示されない事象がありましたが、解消されました。

- **トンボのレイアウト調整の単位が、用紙設定の単位変更に関連しない**

[面付け]コンポーネントにおいて、トンボのレイアウト調整を実施した後で、用紙設定でインチ指定からミリ指定の用紙に変更すると、トンボのレイアウト調整の単位は用紙設定の単位変更に関連せず、インチ指定のままになる事象がありましたが、解消されました。

- **フォント置換設定ファイルに MAX 変数を指定できない**

最適化コンポーネントで[必要なフォントを埋め込む]オプションを選択したときに設定する[フォント置換設定ファイル]には MAX 変数を指定できない事象がありましたが、解消されました。

[Core 5.4.2 から発生]

- **セルに文字入力されていない Excel ファイルの PDF 変換に失敗する**

画像や図形等のオブジェクトだけが挿入された Excel ファイルを処理すると PDF 変換に失敗してジョブはエラー終了する事象がありましたが、解消されました。

- **Callas PDF toolbox 8.0 で作成したプリフライトプロファイルを使って、フォントの埋め込みをしようとする、フォントが期待通りに埋め込まれず、エラーとなる**

Callas PDF toolbox 8.0 で作成したプリフライトプロファイルを使って、フォントの埋め込みをしようとする、フォントが期待通りに埋め込まれず、エラーとなる事象がありましたが、解消されました。

- **面付けプリセットの[レイアウト]タブで、[行数、列数の自動選択]を指定していると、ログイン後最初の画面表示に時間がかかる**

日本語環境で Chrome ブラウザーを使用している際に、面付けプリセットの[レイアウト]タブで、[行数、列数の自動選択]を指定していると、ログイン後最初の画面表示に時間がかかり、「ページが応答しません」という警告画面が表示される事象がありましたが、解消されました。

- **ジョブチケット編集画面のフィニッシング>Z 折りで、「Z 折り_右とじ」であるべきところが「Z 折り_左とじ製本」となっている**

ジョブチケット編集画面のフィニッシング>Z 折りで、「Z 折り_右とじ」であるべきところが「Z 折り_左とじ製本」となっている事象がありましたが、解消されました。

4.26.FreeFlow Core 5.4.5 で解除された注意・制限事項

[Core 5.4.3 から発生]

- **出力先プリンターをコピーすると保存できない**

[プリンター管理/監視]タブで登録済みの出力先プリンターを選択して[出力先プリンターをコピー]ボタンで複製すると、[保存]ボタンが無効になっていて登録することができない事象がありましたが、解消されました。

- **[印刷]コンポーネントでジョブ処理条件のコピー/編集/削除ができない**

[プリンター選択]ドロップダウンリストで「ジョブ処理条件に従って出力先プリンターを選択する」を選択して任意のルーティングルールを追加後に、追加したルーティングルールを削除すると、ジョブ処理条件のコピー/編集/削除アイコンが無効となりクリックすることができない事象がありましたが、解消されました。

- **[フィニッシャー]コンポーネントで挿入紙を編集/削除できない**

出力先フィニッシャーの編集で挿入紙を追加、または編集時に、挿入紙設定用のボタンをクリックせずに出力先フィニッシャーの編集画面を閉じると、出力先フィニッシャーの編集を再表示した際に挿入紙の編集/削除アイコンが無効となりクリックすることができない事象がありましたが、解消されました。

4.27.FreeFlow Core 5.4.4 で解除された注意・制限事項

[Core 5.1.0.10 から発生]

- **MAX のカスタムフィールドを参照する変数を数式に利用できない**

MAX のカスタムフィールドを参照する変数を数式に使用すると、期待する結果が得られない事象がありましたが解消されました。

[Core 5.4.0 から発生]

- **FreeFlow Core 5.1 以前で作成したバーコードプリセットをFreeFlow Core 5.4 以降にインポートすると、テキストで設定したバーコードデータが設定画面に表示されない**

FreeFlow Core 5.1 以前で作成したバーコードプリセットをFreeFlow Core 5.4 以降にインポートすると、テキストで設定したバーコードデータが設定画面に表示されない事象がありましたが、解消されました。

[Core 5.4.1 から発生]

- **[イメージエンハンス]コンポーネントで、[コントラスト][赤目除去]などを設定しても、期待通りに補正されない**

[イメージエンハンス]コンポーネントで、[コントラスト][赤目除去]などを設定しても、期待通りに補正されない事象がありましたが、解消されました。

[Core 5.4.2 から発生]

- **面付けステージの初期値が異なる**

[面付け]プリセットで面付けステージを追加すると正しい初期値が設定されない場合がありますが、解消されました。

[Core 5.4.3 から発生]

- **ジョブ送信画面の[出力先ワークフロー]ドロップダウンリストでツールチップが表示されず、文字列の判別ができない場合がある**

ジョブ送信画面の[出力ワークフロー]ドロップダウンリストで、全角文字を含む 37 文字以内のワークフロー名の場合、すべての文字列が表示されない場合がありますが、解消されました。

- **パスワードリセット通知のメール送信が行われない**

FreeFlow Core のトップページで、パスワードを忘れてしまった場合に、「パスワードをお忘れですか？」をクリックすると FreeFlow Core に登録しているメールアドレスにパスワードリセット通知のメールを送ることができますが、この機能が動作しませんでした。この事象は本バージョンで解消されました。

- **[既定のジョブチケットを設定]チェックボックスが外せない**

[プリンター管理/監視]タブで登録済みの出力先プリンターで、[既定のジョブチケットを設定]チェックボックスが付いている場合、マウスクリック 1 回でチェックを外すことができない事象がありましたが、解消されました。

- **IP 指定せずに[ジョブチケットの編集]アイコンをクリックすると「プリンター情報を取得中...」のままとなり処理が完了しない**

[プリンター管理/監視]タブで登録済みの出力先プリンターを編集時に、IP を削除した状態で[既定のジョブチケットを設定]チェックボックスを付けて、有効になった[ジョブチケットの編集]アイコンをクリックすると、IP 指定の無いプリンターに対してプリンター情報を取得するため「プリンター情報を取得中...」のままとなり処理が完了しない事象がありましたが、解消されました。

- **出力先プリンターリストのスクロールバーが表示されない**

[プリンター管理/監視]タブで出力先プリンターを多く登録してもスクロールバーが表示されない事象がありましたが、解消されました。
- **プレスマークの[カラー]ドロップダウンリストの表示領域が狭い**

プレスマークで[タイプ]に「シーケンスマーク」を選択した場合、[カラー]ドロップダウンリストをクリックするとリストの表示領域が狭く1つのアイテムしか表示されない事象がありましたが、解消されました。
- **[印刷]コンポーネントで出力先プリンターをコピー直後に保存できない**

[コピー]アイコンをクリックして出力先プリンターの追加画面を開くと、[保存]ボタンが無効になっていて出力先プリンターを保存できない事象がありましたが、解消されました。
- **[印刷]コンポーネントで出力先プリンター追加時にキュー名が表示されない**

[追加]アイコンをクリックして出力先プリンターの追加画面を開き、プリンタードロップダウンリストで登録済みのプリンターを選択してもキュー名が表示されない事象がありましたが、解消されました。
- **[MAX 設定]タブでスクロールバーが表示されない**

ホットフォルダー追加画面の[MAX 設定]タブで、画面領域外に設定項目が存在するにも関わらずスクロールバーが表示されない事象がありましたが、解消されました。
- **面付けプリセット編集時、オプション[可能な場合 90° 回転させた行または列を追加する]の値が異なって表示されることがある**

FreeFlow Core 5.4 以降で、レイアウト>行数、列数 が「行数、列数を自動選択」である面付けプリセットを編集する際、その下のオプション[可能な場合 90° 回転させた行または列を追加する]の値が設定時と異なって表示される事象がありましたが、解消されました。
- **ウォーターマークプリセットのテキストの色が[ブラック]の場合でも、色空間が DeviceRGB になってしまう**

ウォーターマークプリセットのテキストの色が[ブラック]の場合でも、特に指定しなければ色空間が DeviceGray ではなく DeviceRGB になったり、編集画面を開いて色空間に DeviceGray を指定して登録しても、その後別のウォーターマークを追加すると登録済みのウォーターマークの色空間も DeviceRGB になってしまう事象がありましたが、解消されました。
- **Core Exchange で対象に[すべて]を指定してエクスポートすると、オプション[FreeFlow Core が使用するファイルを含めない]は反映されない**

Core Exchange で対象に[すべて]を指定してエクスポートすると、オプション[FreeFlow Core が使用するファイルを含めない]の設定は反映されない事象がありましたが、解消されました。

4.28.FreeFlow Core 5.4.3 で解除された注意・制限事項

[Core 5.4.0 から発生]

- **ホットフォルダーのスクリプト設定で指定した実行ファイル内のコマンドが正常に動作しない**
ホットフォルダーのスクリプト設定にて、指定した実行ファイル内のコマンドが正常に動作しない事象がありましたが、解消されました。

[Core 5.4.1 から発生]

- **面付プリセットでトンボタブの配置を設定する際に、[辺を基準]の値が保持されない**
面付プリセットでトンボタブの配置を設定する際に、[辺を基準]の値が設定して保存しても、再び設定画面を開くと、[辺を基準]の値が保持されない事象がありましたが、解消されました。

[Core 5.4.2 から発生]

- **面付けステージとドブ設定を併用できない**
[面付け]プリセットで面付けステージを追加すると[ドブ]タブの設定が不正値になる事象がありましたが、解消されました。
- **ジョブの一括削除を実行すると、バックグラウンドでの関連ファイル削除に時間がかかることがある**
FreeFlow Core 5.4.2 では、ジョブステータス画面で完了ジョブをまとめて削除すると、バックグラウンドでの関連ファイル削除に時間がかかる事象がありましたが、解消されました。

4.29.FreeFlow Core 5.4.2 で解除された注意・制限事項

[Core 5.4.0 から発生]

- **インポートしたワークフローに必要なライセンスが適用されていない場合、ワークフローが「破損している」と表示される場合がある**
特定のワークフローに必要なライセンスが適用されていない環境でそのワークフローをインポートして開くと、破損していない場合でも「このワークフローは破損しているか設定が正しくありません。リストから削除してください。」と表示される事象がありましたが、解消されました。

4.30.FreeFlow Core 5.4.0 で解除された注意・制限事項

[Core 4.0.0.0 から発生]

- **TIFF の JPEG 圧縮機能はサポートされない**
TIFF の JPEG 圧縮機能はサポートされていませんでしたが、解消されました。

[Core 4.0.3.0 から発生]

- **FreeFlow Core のインストールフォルダーについて**

FreeFlow Core は全角文字を含むフォルダーパス上にインストールすると起動できないことがありましたが、解消されました。

[Core 5.0.0.5 から発生]

- **データマトリックスバーコード(長方形形式)で 50 桁以上の記号文字を指定するとエラーになる**

データマトリックスバーコード(長方形形式)でバーコードデータに 50 桁以上の記号文字(! # \$ % & ' - + , . 等)を指定するとバーコードプリセットでジョブがエラー終了する事象がありましたが、解消されました。

[Core 5.1.0.0 から発生]

- **Compact Aztec Code バーコードで記号文字を含む 10 桁の文字列を指定するとエラーになる場合がある**

Compact Aztec Code バーコードでバーコードデータに記号文字(! ? = # \$ % & 等)を含む 10 桁の文字列を指定するとバーコードプリセットでジョブがエラー終了する事象がありましたが、解消されました。

- **LPR コマンドはマルチバイト文字非対応**

LPR コマンドは日本語を含むマルチバイト文字に対応していないため、コマンドのパラメーターにこれらの文字を使用すると意図しない動作になる事象がありましたが、解消されました。

- **プリンター追加時、メッセージが表示されることがある**

[プリンター管理/監視]からプリンターを追加すると、以下のメッセージが表示されることがありましたが、解消されました。

「いくつかのジョブチケットの設定は現在選択中のプリンターでは設定できません。これらの設定をクリアしました。」

- **グループジョブの子ジョブを別のプリンターへ割り当てるとワークフロー内設定が無効になる**

ジョブをプリンターで印刷するワークフローで、送信したグループジョブの子ジョブの一部を一時停止中に別のプリンターへ割り当ててジョブを再開してから、グループジョブの子ジョブの残りを「ワークフロー内」設定のまま再開した場合に、残りの子ジョブがワークフロー内のプリンターではなく直前に割り当てた別のプリンターへと送信される事象がありましたが、解消されました。[5.1.0.0 から]

[Core 5.1.0.1 から発生]

- **[縮小／拡大]コンポーネントでパーセントオフセット指定が正しく動作しない**

[縮小／拡大]コンポーネントでパーセントオフセット指定を使用すると、指定値どおりに縮小／拡大が行なわれない事象がありましたが、解消されました。

- **レイヤーパネルの表示設定が変更される。**

Acrobat のレイヤーパネルで[すべてのページのレイヤーを表示]が指定された PDF を[面付け][連結][分割][カラーページ分割]で処理するとレイヤーパネルの表示設定が[可視レイヤーのみを表示]に変更される事象がありましたが、解消されました。

[Core 5.1.0.2 から発生]

- **ユーザー追加時のパスワード設定でエラーが発生する場合がある**

[管理] > [ユーザーアクセス]メニューからユーザーを追加する際に、[パスワード]と[パスワード再入力]を入力後に[パスワード]に入力した文字列を削除するとエラーが発生する事象がありましたが、解消されました。

- **[プリフライト]コンポーネントで“サイズが範囲内”もしくは“サイズが範囲外”指定が正しく動作しない**

[プリフライト]コンポーネントで“サイズが範囲内”もしくは“サイズが範囲外”指定が正しく動作しない事象がありましたが、解消されました。

[Core 5.1.0.3 から発生]

- **大文字小文字が異なる同名 PDF を送信するとジョブが失敗、または、意図しないジョブが送信される**

ジョブ送信ダイアログで大文字小文字が異なる同名 PDF を送信するとジョブが失敗、または、意図しないジョブが送信される事象がありましたが、解消されました。

[Core 5.1.0.4 から発生]

- **グループジョブを展開せずに[ジョブを再開]ボタンをクリックするとエラーが発生する**

[印刷]プリセットの[出力先プリンターへ送信する前に停止]チェックボックスを有効にしてグループジョブを送信後、ジョブリストで該当ジョブを選択してグループジョブを展開せずにジョブリストカラムをクリックしてソート処理を実行すると[ジョブを再開]ボタンが有効になりますが、この状態で[ジョブを再開]ボタンをクリックすると NullReferenceException エラーダイアログが表示されて処理が実行されない事象がありましたが、解消されました。

また、[印刷]プリセットと同様にジョブを処理途中で停止させる機能を持つ[プリフライト]/[フィニッシャー]プリセットでも同じ問題が発生していましたが、解消されました。

[Core 5.1.0.6 から発生]

- **Core Configure のユーザー認証設定を[Active Directory グループ]から[FreeFlow Core ユーザー設定]に変更できない**

Core Configure のユーザー認証設定を[Active Directory グループ]から[FreeFlow Core ユーザー設定]に変更する際に、管理者/操作者/ジョブ状態監視者に追加しているグループ名をすべて削除していると、「Active Directory グループを使用するためには、少なくとも一つの管理者グループの作成が必要です。」という警告メッセージが表示されて設定を変更できない事象がありましたが、解消されました。

[Core 5.1.0.7 から発生]

- **LPR コマンドを使用して送信したジョブを削除してもオリジナルファイルが削除されない場合がある**

LPR コマンドを使用して FreeFlow Core にジョブを入力した場合、ジョブを削除してもジョブのオリジナル

ファイルが FreeFlow Core のデータフォルダーに残る場合がありますでしたが、解消されました。

[Core 5.1.0.9 から発生]

- **FreeFlow Core 4.0.3.3 以前の[面付け]プリセットの両面設定が保持されない**

FreeFlow Core 4.0.3.3 以前のバージョンから、FreeFlow Core 5.1.0.9 以降にアップグレードを行った場合、ワークフローの面付けプリセットに設定している両面設定が片面に変更される事象がありましたが、解消されました。

- **サーバーが高負荷な状態で、多くのサブジョブを持つグループジョブを開くと、ジョブが表示されない場合がある**

多くのワークフローや多くの保留ジョブを保持したサーバーで、多くのサブジョブ(50以上)を持つグループジョブを開くと、FreeFlow Core の表示がタイムアウトして、ジョブが表示されない事象がありましたが、解消されました。

[Core 5.1.0.10 から発生]

- **FreeFlow Core ヘルプのプロセス変数演算「サブistring」の例が正しくない**

FreeFlow Core ヘルプの ワークフロー設定:ワークフロー設定タブ:プロセス変数演算 で、サブistringの例に誤りがありましたが、解消されました。

- **Core Configure のユーザー認証設定で[Active Directory グループ]を指定すると警告メッセージが表示される**

Core Configure のユーザー認証設定で[Active Directory グループ]を指定して、管理者/操作者/ジョブ状態監視者のいずれかに任意のグループ名を追加して設定保存後に[閉じる]ボタンをクリックすると、「変更が保存されていません。変更を保存しないまま終了しますか?」という警告メッセージが表示されますが、設定は変更されているという事象がありましたが、解消されました。

FreeFlow Core 5.1.0.10 で解除された注意・制限事項

[Core 5.1.0.4 から発生]

- **フォント置換設定ファイルを直接参照パスで指定できない**

[最適化]プリセットの「フォント置換設定ファイル」をアップロード先から指定した後に、ローカルディレクトリに保存されている「フォント置換設定ファイル」を直接参照パスで指定し直しても設定が反映されない事象がありましたが解消されました。

[Core 5.1.0.7 から発生]

- **ジョブ送信直後にコマンドライン上からジョブレポートの出力指示を行った場合、完全なレポートが出力されない場合がある**

FreeFlow Core を使用し、大量にジョブを送信した直後にコマンドライン上から FreeFlow Core Reports でレポートを作成した場合、不完全なレポートが出力される場合がありますでしたが解消されました。

[Core 5.1.0.9 から発生]

- **[すべて展開]でグループジョブが正しく表示されないことがある**
一部のジョブが処理完了しているグループジョブが存在するときに、ジョブステータス画面の[完了ジョブ]タブにて[すべて展開]をクリックすると、該当するグループジョブ全体が表示されず処理完了しているジョブのみが表示され、その状態でジョブ操作(再送信・削除など)を行なうと意図しないジョブが操作されることがある事象がありましたが解消されました。

4.31.FreeFlow Core 5.1.0.6 で解除された注意・制限事項

[Core 5.1.0.3 から発生]

- **FreeFlow Core プリントレポートでジョブの取りこぼしが発生することがある**
FreeFlow Core プリントレポートにて、プリンタージョブの状態を取りこぼす事象がありましたが、解消されました。
- **バナーシートの指定可能範囲が間違っている**
バナーシートの指定可能範囲が 0-9999 になっている場合に範囲外の数値を入力すると、デフォルト値の 1 に設定されてしまう事象がありましたが解消されました。
- **再送信時にストック情報がプリンターに反映されない**
FreeFlow Core 5.1.0.0 以降のバージョンで発生していた、ジョブの再送信を行ったときにメインストックを指定しても、プリンター上では”カスタム”設定になる場合がある事象がありましたが解消されました。
- **[保存]コンポーネントで JDF ファイルを保存すると JDF 内の PDF ファイル参照が常に相対パスになってしまう**
[保存]コンポーネントでジョブチケットとして JDF ファイルを保存する場合、[JDF 内の PDF ファイルの場所の指定方法]として以下を選択することができます。JDF ファイルを保存すると常に「相対パス」で PDF 参照が指定されてしまう事象がありましたが解消されました。
 - ・相対パス
 - ・フルパス
 - ・カスタム

[Core 5.1.0.4 から発生]

- **フィニッシングに天地断裁を指定したときに、天地断裁幅を適切に設定できないことがある**
フィニッシング設定にて、天地断裁(二つ折りを含む)を指定したときに、天地断裁幅の設定可能範囲が不正な値となり適切な値を設定できないことがある事象がありましたが、解消されました。

4.32.FreeFlow Core 5.1.0.4 で解除された注意・制限事項

[Core 5.1.0.3 から発生]

- **FreeFlow Core ジョブレポートのファイル出力ができない**
MAX でのジョブ処理を行なった状態で、FreeFlow Core Reports CLI にて FreeFlow Core ジョブレポートのファイル出力を実行するとファイルが出力されずにレポート情報が削除される事象がありましたが、解消されました。
- **Windows 10 にて Excel ファイルのジョブ処理が失敗する**
Microsoft Windows 10 Fall Creators Update 以降に FreeFlow Core と Microsoft Office を設置したときに、Excel ファイルのジョブ処理に失敗することがありましたが、「4 Microsoft Office変換機能を使用する際における注意事項」に示す回避策が提示されました。
- **ホットフォルダーに入力した PDF が「受信中」のままジョブ停止する場合がある**
複数のホットフォルダーに PDF を同時に入力すると一部のジョブが「受信中」のままジョブ停止する場合がありますが、解消されました。
- **[フィニッシャー]コンポーネントでバナーシートが正しく指定されない**
[印刷コンポーネント]の[バナーページ数]でバナーシートを指定した後、[フィニッシャー]コンポーネントで JDF を出力すると、バナーシートのページ数が正しく指定されず、バナーページ数も含めたページ数がジョブのページ数として設定されてしまう事象がありましたが、解消されました。

4.33.FreeFlow Core 5.1.0.3 で解除された注意・制限事項

[Core 4.0.0.0 から発生]

- **FreeFlow Advanced Print Path の印刷設定が適用されない。**
FreeFlow Advanced Print Path で作成したジョブチケットを使用する場合、FreeFlow Core では適用されない属性がありますが、以下の属性については制限が解除され、適用されるようになりました。
 - ・表紙
 - ・うら表紙
 - ・バナーページのメッセージ

[Core 5.0.0.8 から発生]

- **Integrated Copy/Print Server プリンターが排出トレイフル状態のときに、Core でプリンターステータスが利用不可と表示される。**
Integrated Copy/Print Server プリンターと接続されている状態にて、Integrated Copy/Print Server プリンターが排出トレイフル状態のときに、FreeFlow Core でのプリンターステータスが利用不可と表示される事象がありましたが、解消されました。

[Core 5.1.0.0 から発生]

- **排出先フルのときに表示されるプリンターステータスが正しくない場合がある**

GX Print Server を使用時に、プリンター排出先がフル状態の際、FreeFlow Core ではプリンターステータスが「プリンターコントローラー電源オフ」になる事象がありましたが、解消されました。

- **[連結]処理で不正なジョブチケットが作成される**

ジョブチケットに例外ページが指定されている場合、[連結]処理で例外ページに不正なページ範囲が指定されたジョブチケットが作成される事象がありましたが、解消されました。

4.34.FreeFlow Core 5.1.0.1 で解除された注意・制限事項

[Core 4.0.1.0 から発生]

- **ジョブ名でないファイル名で保存されることがある**

グループジョブのサブジョブを保存する場合に、[保存]プリセットで[ジョブ名をファイル名に使用する]を設定していると、ファイル名が"[代表ジョブのジョブ名]_[ジョブ ID]"として保存される事象がありましたが、解消されました。

[Core 4.0.2.0 から発生]

- **例外紙の用紙サイズが変更されない**

入力ジョブチケットに用紙サイズ情報を含む例外紙設定をもつとき、[面付け]で PDF のサイズが変更されても、ジョブチケットの用紙サイズが変更されない事象がありましたが、解消されました。

- **[分割]で分割後の PDF/VT が PDF/VT-1 準拠のプリフライトでエラーになることがある**

PDF/VT のジョブをバリエーション毎に適用が有効な[分割]で分割された PDF が PDF/VT-1 準拠のプリフライトでメタデータのミスマッチによりエラーになる事象がありましたが、解消されました。

- **NChannelICC プロファイルを適用するとジョブがエラーになることがある**

[カラー調整]で[NChannel プロファイルを指定しているオブジェクト]/ [NChannel プロファイルを指定している RGB オブジェクト]/ [NChannel プロファイルを指定している CMYK オブジェクト]/ [NChannel プロファイルを指定しているグレースケールオブジェクト]を指定したとき、入力された PDF がプロファイルで適用する特色と同じ名前の特色を保持していた場合、ジョブがエラーになる事象がありましたが、解消されました。

[Core 4.0.3.0 から発生]

- **ジョブの再送信で例外紙及び挿入紙の指定を削除できない**

ジョブの再送信時にチケット編集を行う場合には、ジョブに既に設定されている例外紙・挿入紙の情報は削除できない事象がありましたが、解消されました。

[Core 5.0.0.1 から発生]

- **例外ページのページ範囲に負数を指定するとエラー終了する**
ジョブ送信ダイアログの[ジョブチケット設定を上書き]オプションを有効にして、[特殊ページ]タブの例外ページ設定で "1--1" のようにページ範囲の終了ページに負数を指定すると、「例外ページエラー: 範囲が逆順で指定されています。」が表示されてジョブはエラー終了する事象がありましたが、解消されました。
- **[カラーページ分割]コンポーネントで 2GB 以上の PDF を処理するとエラー終了する**
2GB 以上の PDF を[カラーページ分割]コンポーネントで処理すると「内部エラー:詳細はエラーログファイルを参照してください。」が表示されてジョブはエラー終了する事象がありましたが、解消されました。
- **[プリンター管理/監視]タブのプリンターステータスが更新されない場合がある**
FreeFlow Core が電源オンのプリンターに接続すると[ジョブ送信状態]に"OK"、[プリンター状態]に"通常"が表示されますが、接続中のプリンター電源をオフにしてから FreeFlow Core でプリンターステータスの更新を実行しても[ジョブ送信状態]が"実行停止"、[プリンター状態]が"プリンター未接続"に更新されない事象がありましたが、解消されました。

[Core 5.0.0.2 から発生]

- **二つ折りフィニッシングで[断裁幅]の設定値が切れて表示される**
以下の二つ折りフィニッシングで、[断裁幅]の入力欄横幅が短く、設定値全体が表示されない事象がありましたが、解消されました。
 - ・二つ折り 内側に印字
 - ・二つ折り 外側に印字
 - ・二つ折り 複数シート
 - ・二つ折り 複数シート ホチキス
- **二つ折りフィニッシングで[断裁幅]の設定値を変更できない場合がある**
以下の二つ折りフィニッシングで、[断裁幅]をサポートしていないプリンターを登録して、出力先プリンターの編集でジョブチケット編集画面を表示すると、その後、[断裁幅]をサポートしているプリンターのジョブチケット編集で[断裁幅]の変更ができなくなる事象がありましたが、解消されました。
 - ・二つ折り 内側に印字
 - ・二つ折り 外側に印字
 - ・二つ折り 複数シート
 - ・二つ折り 複数シート ホチキス
- **[保存]コンポーネントの[JDF 内の PDF ファイルの場所の指定方法]について**
[JDF 内の PDF ファイルの場所の指定方法]ではシングルバイト文字のみが使用可能です。ダブルバイト文字を使用した場合、PDF ファイルの場所が JDF に記載されない事象がありましたが、解消されました。
- **マルチページ TIFF のファイル名について**
ダブルバイト文字を含むマルチページ TIFF を FreeFlow Core に送信すると、1 ページ目のみの PDF が作成される事象がありましたが、解消されました。

[Core 5.0.0.3 から発生]

- **[連結]コンポーネントで作成された PDF のブックマークについて**

[連結]コンポーネントで作成された PDF のブックマークには、空欄のブックマークが設定される事象がありましたが、解消されました。

[Core 5.0.0.4 から発生]

- **PDF417 バーコードで 13 桁以上の数字を指定すると不正なバーコードが作成される**

PDF417 バーコードで 13 桁以上の数字をご利用になれません。13 桁以上の数字を指定すると不正なバーコードが作成されてバーコードリーダーで正しい値を読み取ることができない事象がありましたが、解消されました。

- **[イメージエンハンス]コンポーネントで一部の処理が行なわれない**

[イメージエンハンス]コンポーネントで以下のエンハンス処理が行なわれず画像が変化しない事象がありましたが、解消されました。

- ・彩度
- ・シャープネス
- ・ノイズ除去

[Core 5.0.0.5 から発生]

- **デフォルトイメージフォルダを利用しているウォーターマークプリセットはアップグレード後イメージが参照できないことがある**

サンドボックスのイメージフォルダを参照したイメージコンテンツを持つウォーターマークプリセットにおいて、Core4.0.2.2 以前のバージョンから Core 4.0.3.3/4.0.3.4 を経由して Core 5.0 にバージョンアップすると、サンドボックスのイメージコンテンツが参照できなくなる事象がありましたが、解消されました。

- **PDF/A に準拠した PDF を[カラーページ分割]コンポーネントで処理するとエラーとなる**

PDF/A に準拠した PDF を[カラーページ分割]コンポーネントで処理すると、「分割可能なモノクロページはありませんでした。」が表示されてジョブがエラー終了する事象がありましたが、解消されました。

- **未完了ジョブ数および完了時間が正しく表示されない**

出力先プリンターに未完了ジョブが存在しない場合に、[プリンター管理/監視]画面の未完了ジョブ数が 0 と表示されず、出力先プリンターで中断したジョブ数を表示し、未完了ジョブ数から計算される完了時間も正しく表示されない事象がありましたが、解消されました。

- **Core Reports でレポート作成後の完了ジョブ情報が再収集されない**

Core Reports にて、出力先プリンターで未完了のジョブ情報を収集している場合にレポートを作成すると、当該ジョブが出力先プリンターで完了しても当該ジョブ情報が再収集されない事象がありましたが、解消されました。

[Core 5.0.0.7 から発生]

- **[外部]コンポーネントでジョブが失敗することがある**

[外部]コンポーネントにて、スクリプトタイプを指定してパラメーターに返送フォルダー(\$FFout\$)を指定した場合に、ジョブ処理に失敗する事象がありましたが、解消されました。

- **GX Print Server の排出先状態が正しく表示されない**

[プリンターと消耗品の状態]タブで表示される排出先の状態について、GX Print Server のプリンターでは、排出先がフル(100%)の場合に 0%と表示される事象がありましたが、解消されました。

- **[ルーティング]コンポーネントにてジョブ開始条件が適用されないことがある**

[ルーティング]コンポーネントにて条件の属性に「ジョブ開始」を指定したときに、以下の条件値でのルーティングが正常に行なわれず、直近の[集約]コンポーネントでの処理結果にかかわらず、「その他のすべてのジョブ」へ分岐する事象がありましたが、解消されました。

- 手動
- 開始時刻
- 保持時間

- **JDF ジョブの JobID 属性と JobPartID 属性が失われる**

JobID 属性と JobPartID 属性が指定された JDF を FreeFlow Core に送信すると、入力時にそれらの情報が失われるため、FreeFlow Core では保持されず、[保存]コンポーネントで保存される JDF にそれら属性は指定されない事象がありましたが、解消されました。

- **プリンターの用紙トレイ名と FreeFlow Core で表示されるトレイ名が一致しない**

プリンターの用紙トレイ名が「Tray n」「トレイ n」(n は数字)以外するとき、FreeFlow Core でトレイ名が正しく表示されない事象がありましたが、解消されました。

(事象例)

プリンターの用紙トレイ名が「トレイ T1」のとき、FreeFlow Core でのトレイ名が「トレイ 1」と表示される。

[Core 5.1.0.0 から発生]

- **[ページ挿入]コンポーネントで「連続するページセットの前」を使用するとジョブのページ数が更新されない**

外部コンポーネントに changeMediaSize プリセットが設定されたワークフローで複数ジョブを同時処理すると、changeMediaSize プリセットのジョブ処理がエラーになる事象がありましたが、解消されました。

- **[縮小／拡大]プリセットのインポート結果が正しくない**

FreeFlow Core 5.0.0.9 以前のバージョンで[縮小・拡大]コンポーネントに以下の設定を行なっているプリセットをインポートすると、設定値が正しくインポートされない事象がありましたが、解消されました。

[コンテンツ]タブ

縮小／拡大: PDF コンテンツ

基準とする PDF 文書領域: コンテンツ

- **[ジョブ送信]ダイアログでジョブ送信中のまま操作不能になることがある**

[ジョブ送信]ダイアログで、FreeFlow Core がジョブとしてサポートするファイルとサポートしないファイルを混在で[文書]に登録してから、サポートするファイルのみを[文書]から登録解除して、[文書]に非サポートファイルのみが登録されている状態でジョブを送信した場合に、非サポートファイルが送信できないメッセージが表示され、[文書]の非サポートファイルがすべて登録解除されますが、この状態で[送信]でジョブ送信を行なうと、予期せぬブラウザのエラーが発生して画面が「ジョブ送信中」表示のまま操作不能となる事象がありましたが、解消されました。

- **日本郵政が定義している規格寸法と一致するカスタマバーコードが作成されない**

日本郵政ではカスタマバーコードの寸法比率として、ロングバー/タイミングバー/バーピッチ/バー幅/バースペースの比率を 6:2:2:1:1 と定義していますが、FreeFlow Core 5.1.0.0 で作成したカスタマバーコードはタイミングバー長さが規格寸法に一致しない事象がありましたが、解消されました。

(事象例)

- ・フォントサイズ「24」でカスタマバーコードを作成した場合、ロングバー「3.06mm」/タイミングバー「0.68mm」/バーピッチ「1.02mm」/バー幅「0.51mm」/バースペース「0.51mm」でカスタマバーコードが作成される。

- ・規格寸法より、タイミングバーの期待する長さは「1.02mm」になりますが、実際の作成結果は「0.68mm」となり、期待値と比べてタイミングバーの長さが「0.34mm」短くなる。

- ・使用するバーコードリーダーの仕様によってはカスタマバーコードを読み込めない場合がある。

- **二つ折り(外側印字)が設定できない**

FreeFlow Core から二つ折り(外側印字)を指定したジョブを GX Print Server に送信すると、GX Print Server では二つ折り(内側印字)が設定される事象がありましたが、解消されました。

- **GX Print Server for the B9 Series 使用時、ストック指定を行うとジョブ送信エラーが発生する**

GX Print Server for the B9 Series を使用時、FreeFlow Core 側で[プリンターの編集] > [ジョブチケットの確認] > [プリンターに設定されていないストック名を含むジョブをエラーにする]設定を有効にし、プリンター側のストックライブラリーで作成したストック(トレイ割り当て済み)を指定してジョブ送信を行うと、ストックを特定することができず、ジョブ送信が失敗しましたが、解消されました。

4.35.FreeFlow Core 5.0.0.9 で解除された注意・制限事項

[Core 5.0.0.8 から発生]

- **PDF/vt ファイル同士を[連結]コンポーネントにて処理させると、PDF/vt に準拠しないジョブ出力ファイルが生成される。**

複数の PDF/vt ファイルを[連結]コンポーネントにて処理させると、PDF/vt に準拠しないジョブファイルが出力される事象がありましたが、解消されました。

- PDF ファイルと PDF/vt ファイルを[連結]コンポーネントにて処理させると、不正なジョブ出力ファイルが生成される

PDF ファイルと PDF/vt ファイルを[連結]コンポーネントにて処理させると、ジョブ処理が失敗にならず不正なジョブファイルが出力される事象がありましたが、解消されました。

- ジョブチケットの上書き設定にて、挿入紙の挿入場所に[各ページの前]を選択すると正しい位置に挿入紙が追加されない。

ジョブ送信時に[ジョブチケット設定を上書き]を選択して、[特殊ページ]タブの挿入紙設定で挿入場所に[各ページの前]を選択すると、指定した挿入位置に正しく挿入紙が挿入されず、各ページの後に挿入される事象がありましたが、解消されました。

4.36.FreeFlow Core 5.0.0.7 で解除された注意・制限事項

[Core 5.0.0.2 から発生]

- 25MB 以上のデータを含む MAX ジョブを連続で送信するとエラー終了する場合がある
25MB 以上のデータを含む MAX ジョブを連続で送信するとジョブがエラー終了する事象がありましたが、解消されました。

4.37.FreeFlow Core 5.0.0.3 で解除された注意・制限事項

[Core 5.0.0.2 から発生]

- 印刷コンポーネントの出力先プリンター設定で挿入紙の挿入場所に[各ページの前]を選択すると正しい位置に挿入紙が追加されない。

印刷コンポーネントの出力先プリンターの[規定のジョブチケットを設定]オプションを有効にして、[特殊ページ]タブの挿入紙設定で挿入場所に[各ページの前]を選択すると、シート範囲に指定した挿入位置に正しく挿入紙が追加されない事象がありましたが、解消されました。

4.38.FreeFlow Core 5.0.0.2 で解除された注意・制限事項

[Core 5.0.0.1 から発生]

- 設定情報を残した環境に再インストールすると FreeFlow Core にログインできない
プリンターレイに指定されている用紙の場合、出力先プリンターのデフォルトジョブチケット設定で、[メインストック]ドロップダウンリストのストック名左横にチェックマークが付いていない事象がありましたが、解消されました。

4.39.FreeFlow Core 5.0.0.1 で解除された注意・制限事項

[Core 5.0.0.0 から発生]

- **プリンタートレイに指定されている用紙がストック一覧から判別できない**
プリンタートレイに指定されている用紙の場合、出力先プリンターのデフォルトジョブチケット設定で、[メインストック]ドロップダウンリストのストック名左横にチェックマークが付いていない事象がありましたが、解消されました。
- **[プリンターと消耗品の状態]画面で、用紙タイプの名称が文字化けすることがある**
[プリンターと消耗品の状態]画面で、用紙トレイのツールチップを表示させた場合に、用紙タイプの名称が文字化けした状態で表示される事象がありましたが、解消されました。
- **[プリンターと消耗品の状態]画面で、出力トレイの名称が文字化けする**
[プリンターと消耗品の状態]画面で、FreeFlow Print Server 7.0 プリンターの出力トレイ状態を表示した場合、出力トレイの名称が文字化けした状態で表示される事象がありましたが、解消されました。
- **ZIP 圧縮形式の TIFF ファイルが正常に変換されない**
ZIP 圧縮形式の TIFF ファイルをジョブファイルとして入力すると、正常に変換されず画像が化ける事象がありましたが、解消されました。
- **VIPP ジョブが 75 レコードまでしか処理されない**
複数レコードから構成される VIPP ジョブを PDF ファイルに変換して処理を行う際、ひとつの VIPP ジョブ中のレコード数が 75 を超える場合は、75 レコードまでしか変換処理が行われず 76 レコード目以降は無視される事象がありましたが、解消されました。

4.40.FreeFlow Core 5.0.0.0 で解除された注意・制限事項

[Core 4.0.1.1 から発生]

- **[ページ挿入]で挿入するページ数を指定できない**
[ページ挿入]で種類に[ジョブページ]を指定し、[印刷部数に応じて自動設定]を指定すると、挿入数の指定ボックスは見えなくなる事象が解消されました。

[Core 4.0.2.0 から発生]

- **ジョブが発行されていないのに MAX ステータスが成功になる**
ホットフォルダーの MAX 指定で[出力先プリンター]が指定されているとき、ジョブを発行する CSV に記載されている[出力先プリンター]が存在しない値だった場合、ジョブが発行されていないにもかかわらず MAX ステータスは成功 (Success) と記載されることがありましたが、解消されて MAX ステータスは失敗 (Failed) と記載されるようになりました。

- **IIS の設定が行われている環境ではプレインストーラーがエラー終了する**

事前に IIS の設定が行われている環境では、プレインストーラーは実行中にエラー終了することがありましたが、解消されました。

[Core 4.0.3.0 から発生]

- **ファイル名に日本語を含む cfg ファイルを指定した[最適化]プリセットでジョブがエラーになる**

[最適化]のフォント埋め込み設定を行う cfg ファイルのファイル名に全角文字を含む場合、そのファイルを使用する[最適化]プリセットでジョブがエラーになる事象がありましたが、解消されました。

- **MAX で部数に 0 を指定した場合、部数が 1 になる**

MAX の部数指定で値に 0 を入力した場合、発行したジョブの部数は 1 として処理されていましたが、解消され不正な値として処理されないようになりました。

- **[選択された出力先プリンターへジョブを分配する]を指定したジョブの送信先プリンターが変更できない**

保留されている[選択された出力先プリンターへジョブを分配する]を指定したジョブに対して、出力先プリンターを指定して保留解除しても[選択された出力先プリンターへジョブを分配する]指定が優先され、指定した出力先プリンターへ送信されない事象がありましたが、解消されました。

[Core 4.0.3.1 から発生]

- **フォントを埋め込む際に特定の記号が不明文字に変換されてしまう**

FreeFlow Core でフォントを埋め込むとき、~(半角チルダ)‘(全角左クォーテーションマーク)’(全角右クォーテーションマーク)は不明文字に変換されてしまう事象がありましたが、解消されました。

6. 本バージョンにおける注意・制限事項

5.1. Xerox FreeFlow Core8.0.7 で追加された注意・制限事項

- **内容確認プリセットの件名が入力できない**
内容確認プリセットの件名[ユーザー定義の件名を使用]チェックボックスを有効にしても入力欄がグレイアウトしたままで入力できません。
- **ホットフォルダーにマニフェストファイルを送信すると、一部の標準フィールドが変換されずにジョブ名になる。**
MAX 設定の「データフィールドからジョブ名を作成」オプションが有効なとき、「注文 ID」と「出力先プリンター」は変換されず、ジョブ名に「\$FF 注文 ID\$」、「\$FF 出力先プリンター\$」などと表示されます。
- **内容確認プリセットは[送信者]が未設定でも保存できる**
内容確認プリセットは[送信者]が未設定でも警告などは出ず、保存できてしまいます。
- **Core Exchange のインポート、エクスポートが正しく動作しないことがある**
管理 > Core Exchange メニューでのインポート、エクスポートは正しく動作しないことがあります。その場合はアプリケーションの Core Exchange をお試しください。
- **保存先フォルダー名にピリオドが使えない**
Xerox FreeFlow Core 8.0 では、前バージョンと異なり、保存先フォルダー名にピリオドが設定できません。
ピリオド付きのフォルダー名を使用したい場合は、あらかじめエクスプローラー等でフォルダーを作成し、参照ボタンをクリックして選択してください。
- **Xerox FreeFlow Core 8.0 での GUI の遅延**
Xerox FreeFlow Core 8.0 では GUI の待ち時間が前バージョン (7.0) と比較して長くなっています。

5.2. Xerox FreeFlow Core8.0.6 で追加された注意・制限事項

- **体験版ライセンスから製品版ライセンスへ移行する際の注意点**
体験版ライセンスは全オプションが有効です。製品版ライセンスへ移行時、ライセンス構成によっては使えなくなる機能が出てきますので十分ご注意ください。
- **VIPP のインストールに失敗することがある**
FreeFlow Core のインストール時、VIP のインストールに失敗したという警告が表示されることがあります。

- **プレスマークプリセットで「シーケンスマーク」を選択しても「四角」が表示される**
 プレスマークで「シーケンスマーク」を選択したのにプレビューや出力で「四角」が印字されます。
- **面付けプリセットのトンボの色設定 GUI の不具合**
 面付けプリセットのトンボの設定画面で、色の表示が消えたりフォーカスがずれたりすることがあります。
- **外部プリセット「ホットフォルダー」の不具合**
 外部プリセットでタイプ「ホットフォルダー」を設定しているとき、出力先にユーザーフォルダを指定していると処理済みジョブが開けません。
- **面付けタイプ「マニュアル」で期待通りの結果にならない**
 面付けのタイプが「マニュアル」のとき、期待する結果にならないことがあります。
- **「カット&スプリット」で処理後のページ順序が前バージョンと異なる**
 FFC 8.0 で面付け「カット&スプリット」処理を行うと、ページ順序が前バージョンと同じにならないことがあります。
- **面付けプリセットのプレビューでページ数を最大値まで入力しないでください。**
 面付けプリセットのプレビューで、ページ数を最大値まで入力するとハングすることがあります。入力しないでください。
- **連結コンポーネントで処理するとコンテンツが消える**
 連結コンポーネントで処理するとコンテンツが消えます。連結前に1UP の面付けを入れることで回避できる場合があります。
- **ページ数の多い VDP ジョブをグループジョブとして送信すると失敗することがある**
 多くのページを含む VDP ファイルをグループジョブとして送信すると、「FreeFlow Core サービスに接続できませんでした」というエラーメッセージが出て、ジョブが失敗することがあります。
- **Core で処理中の PDF のページボックスサイズは Acrobat で確認できるものと異なることがある**
 ワークフローで処理中の PDF のページボックスサイズは、Acrobat で確認できるものと一致しないことがあります。
- **Windows Server 2025 でのインストールに時間がかかる**
 FF 8.0.6 以降は Windows Server 2025 でのインストールに時間がかかります。
- **ジョブタイプ「グループジョブ」、「シート範囲上限までジョブを繰り返す」ときの不具合**
 面付けのレイアウト>ジョブタイプが「グループジョブ」で「シート範囲上限までジョブを繰り返す」とき、1ジョブを送信すると[行数、列数]が「行数、列数を自動選択」ではジョブが繰り返し面付けされるが、それ以外のときは1ジョブしか面付けされません。
- **入力文書のページ数が多い場合、または異なるページ挿入プリセットの組み合わせを使用した場合、ジョブの処理時間が遅くなる**
 Xerox FreeFlow Core 8.0 では、入力文書のページ数が多いとき、あるいはいろいろなページ挿入プリセットの組み合わせで処理するときの処理時間が長くなります。

- **LPR 接続のプリンター出力先を含むエクスポートファイルをインポートすると、プリンター出力先が正しくインポートされない**

LPR 接続のプリンター出力先を含むエクスポートファイルをインポートした場合、一部のプリンター出力先しかインポートされません。インポートされなかったプリンターは個別に再インポートしてください。

- **[面付け基準]、[よこ方向位置の調整]、[たて方向位置の調整]の値「複合」は保存されない**

面付けプリセットのプレビュー画面で様々なレイアウトモードを使用するとレイアウトタブの[面付け基準]、[よこ方向位置の調整]、[たて方向位置の調整]の値「複合」と表示されますが、保存後に再編集すると別の値になっています。

5.3. Xerox FreeFlow Core8.0.0 で追加された注意・制限事項

- **面付けの[行数、列数]が「行数、列数を自動選択」で、[面付け基準]が「合わせる」のとき、期待通りの結果が得られないことがある**

面付けの[行数、列数]が「行数、列数を自動選択」で、[面付け基準]が「合わせる」のとき、期待した結果が得られないことがあります。事前に出力を確認してください。

- **Xerox FreeFlow Core 8.0.0 以降で表示が遅いページがある**

Core Exchange やホットフォルダー、バーコードや印刷プリセットの編集画面など、前バージョンと比べて表示が遅いことがあります。

- **[ジョブ優先度]が効かない**

Xerox FreeFlow 8.0.0 以降で、ジョブ送信画面の[ジョブ優先度]で「高」を選択して送信しても、優先されません。

- **非表示レイヤーが表示されることがある**

非表示レイヤーを含む PDF を処理すると意図しない結果になることがあります。

ワークフローの先頭に[非表示レイヤーの廃棄]を有効にした最適化コンポーネントを配置して回避してください。

- **優先度「高」のジョブよりもサブジョブの処理が優先される**

Xerox FreeFlow Core 8.0.0 以降、ジョブ送信ダイアログで[ジョブ優先度]「高」でジョブ送信しても、処理中のジョブの完了が優先されます。

- **Xerox FreeFlow Core 8.0.0 以降、システムリソースの過負荷状態になると警告が表示される**

Xerox FreeFlow Core 8.0.0 以降、ディスクやデータベースの空き容量がひっ迫すると警告が表示され、対処が要求されます。

- **ウォーターマークが印字されないことがある**

Xerox FreeFlow Core 8.0.0 で追加したウォーターマークがプリンターで印字されないことがあります。

- **挿入ページの向きとウォーターマークの位置が前バージョンと異なる**

Xerox FreeFlow Core 8.0 では、挿入ページの向きとウォーターマークの位置が前バージョンと異なるこ

とがあります。

- **パラメーターにハッシュテーブルリテラルが含まれるとスクリプトが正しく動作しない**
Xerox FreeFlow Core 7.0.11と8.0.0では、外部プリセットに定義したスクリプトのパラメーターにハッシュテーブルリテラル(@{ })が含まれると期待通りに動作しません。
- **外部プリセットでスクリプトを設定して処理させても stdout.log に何も記録されない**
Xerox FreeFlow Core 8.0.0では、外部プリセットで設定したスクリプトが stdout.log に何も記録しません。
- **追加フォントをアップロードできない**
Xerox FreeFlow Core 7.0.11と8.0.0では、最適化プリセットで追加フォントをアップロードしようとしても出来ません。
「Xerox\FreeFlow\Core\00000000-0000-0000-0000-000000000000\Data\Fonts」に直接インストールしてください。
- **イメージエンハンスで処理後にイメージが消える**
Xerox FreeFlow Core 8.0.0ではイメージエンハンスで処理後にイメージが消えることがあります。
- **結合後にブックマークが失われる**
キー[IncludeDocumentNameAsBookmarkForJoin]が「false」であっても、Xerox FreeFlow Core 8.0.0では結合後に文書の名前がブックマークとなる一方で他のブックマークはすべて失われます。
- **ワークフロー設定でプリセットテキストが途切れる**
EdgeまたはFirefox上のXerox FreeFlow Core 8.0.0のワークフロー編集画面で、プリセットのテキストが切れてしまうことがあります。
- **プレスマークが正しくない**
Xerox FreeFlow Core 8.0.0でプレスマークが設定どおりに印字されません。
- **最適化プリセットの[裁ち落としがないときミラーリングする]が有効なとき、裁ち落とし幅が設定どおりにならない。**
Xerox FreeFlow Core 8.0.0以降では、最適化プリセットの[裁ち落としがないときミラーリングする]が有効なとき、裁ち落とし幅が設定どおりになりません。
- **Xerox FreeFlow Core 8.0では前バージョンよりPDFへの変換処理に時間がかかる**
Xerox FreeFlow Core 8.0では前バージョン(7.0)よりPDFへの変換処理に時間がかかります。

5.4. Xerox FreeFlow Core7.0.11 で追加された注意・制限事項

- **サービス起動アカウントとログイン中のユーザーアカウントは「FreeFlow Core Security グループ」に入っている必要がある**

Xerox FreeFlow Core 7.0.11 以降、サービス起動アカウントとログイン中のユーザーアカウントは Xerox FreeFlow Core の Windows のローカルグループに入っている必要があります。

以下の手順でユーザーをローカルグループに追加してください。

1. Windows キー + [R]を押して、「ファイル名を指定して実行」ウィンドウを開きます。
2. [名前]欄に「lusrmgr.msc」と入力して[OK]ボタンをクリックします。
3. 表示されたウィンドウの左ペインで「グループ」をクリックします。
4. 中央に表示されるリストから「FreeFlow Core Security」をダブルクリックします。
5. [所属するメンバー]のリストを確認します。
6. 追加したいアカウントがリストにない場合は、[追加]ボタンをクリックして「ユーザーの選択」ウィンドウを表示し、画面の指示に従ってユーザーを追加してください。
7. [OK]ボタンをクリックしてウィンドウを閉じます。
8. [OK]ボタンをクリックして FreeFlow Core Security のプロパティウィンドウを閉じます。
9. 変更を有効にするために、システムを再起動します。

5.5. Xerox FreeFlow Core7.0.7 で追加された注意・制限事項

- **Xerox FreeFlow Core 7.0.7 以降へバージョンアップしたとき、ウォーターマークプリセットの[イメージファイル]または[PDF ファイル]の設定値に MAX 変数を使用していると修正が必要な場合がある**

ウォーターマークプリセットで[イメージファイル]または[PDF ファイル]に以下のように MAX 変数を使用して文書を指定している場合は、Xerox FreeFlow Core 7.0.7 以降にバージョンアップまたはインポートした後に値が異常になっている可能性があるため、お手数ですが再編集をお願いします。

- ・バージョン 6.2.6 から 7.0.5 を経由してバージョンアップした環境で、拡張子なしの絶対パスを MAX のフィールド値に使用し、その変数を指定している場合
- ・バージョン 7.0.1 から 7.0.3 を経由してバージョンアップした環境で、拡張子付きの絶対パスを MAX のフィールド値に使用し、その変数を指定している場合

- **登録済みの出力先プリンターの IP アドレスを変更するとキュー名が空欄になる**

Xerox FreeFlow 6.2.3 以降で、登録済みの出力先プリンターの IP アドレスを変更すると、キュー名が空欄になることがあります。IP アドレスを変更したときは[プリンター情報を再取得]ボタンをクリックして、正しい値が設定されるようにしてください。

5.6. Xerox FreeFlow Core7.0.4 で追加された注意・制限事項

- **Xerox FreeFlow Core 7.0.4 と 7.0.5 でウォーターマーク、プリフライト、最適化、ページ挿入、保存の各プリセットで、プリセットをコピーして保存、またはプリセット名を編集して保存すると、設定値のパスが異常になる**

Xerox FreeFlow Core 7.0.4と7.0.5で、ウォーターマーク、最適化、プリフライト、ページ挿入、保存の各プリセットをコピーして保存、またはプリセット名を編集して保存すると、以下の設定値が異常になります。

- ・ウォーターマーク : タイプ:PDF > PDF ファイル
- ・ウォーターマーク : タイプ:イメージ > イメージファイル
- ・最適化 : 必要なフォントを埋め込む > フォント置換設定ファイル
- ・プリフライト : プロファイルを指定してプリフライト > プリフライトプロファイル
- ・プリフライト : プロセスプランを指定してプリフライト > プリフライトプロセスプラン
- ・ページ挿入 : 種類:文書を挿入(ページ数を指定) > ファイル
- ・保存 : 保存場所

これらのプリセットをコピー、またはプリセット名を編集して保存しないでください。

現象が発生した場合は、プリセットを編集して修正してください。

5.7. Xerox FreeFlow Core7.0.3 で追加された注意・制限事項

- **複数のアイテムをまとめて 1 ジョブとして送信する際に、同じ注文 ID、グループキーを持つ行が連続していても 1 ジョブにまとめられる**

「Manifest Automation from Xerox」の 2 MAX の設定と処理「マニフェストフィールド」の項、また 3 演習「サンプルの解説」の項で、標準フィールド「注文 ID」と「グループキー」について、「発注ファイルの連続した複数の行に同じ注文 ID、同じグループキーが割り当てられている場合、複数ファイルジョブとして 1 ジョブにまとめて Xerox FreeFlow Core に送信されます」という趣旨の記述がありますが、連続して記載していても、複数の行に同じ注文 ID、同じグループキーが割り当てられている場合、複数ファイルジョブとして 1 ジョブにまとめて送信されます。

5.8. Xerox FreeFlow Core7.0.2 で追加された注意・制限事項

- **キューに設定した後処理スクリプトはプリンターが設定されていなければ動作しない**

キューに設定した後処理スクリプトはプリントジョブが完了した後に動作するものなので、キューやワークフローにプリンターが設定されていない場合は動作しません。ご注意ください。

- **ヘルプにルーティングに設定できる条件は「5」とあるが正しくは「25」**

ヘルプ > 5 ワークフロー設定 > [ワークフロー設定]タブ > ワークフロープロセスの共通設定 > ルーティングの共通設定 の以下の記載に誤りがあります。

誤： セットには、それぞれ条件を 5 つまで含めることができます。…

正： セットには、それぞれ条件を 25 個まで含めることができます。…

含めることができる条件は「5」は誤りで、「25」が正しいです。

5.9. Xerox FreeFlow Core7.0.1 で追加された注意・制限事項

- **ジョブ名とバーコードのデータで「<」や「>」が使えない**

Xerox FreeFlow Core 7.0.1 以降では、ジョブ名やバーコードのデータに「<」や「>」が使用できません。

5.10. Xerox FreeFlow Core7.0.0 で追加された注意・制限事項

- **Windows11 に構築した Xerox FreeFlow Core に Word 2016 文書と PowerPoint 2016 文書を投入すると失敗する**

Windows11 にインストールした Xerox FreeFlow Core に Microsoft Office 2016 文書を投入すると、Excel 文書は成功しますが Word、PowerPoint 文書は失敗します。

Windows11 にインストールした Xerox FreeFlow Core に Word 2016、PowerPoint 2016 文書を送信しないでください。

- **Nuvera FFPS へ IPP または JMF でジョブチケット付きのジョブを送信しても、指定した属性は反映されないことがある**

Nuvera FFPS へ IPP または JMF でジョブチケット付きのジョブを送信しても、ジョブチケットに定義した属性がジョブに反映されないことがあります。

- **Xerox FreeFlow Core のインストール中に SQL Server の新規インストールを選択すると、インストールに失敗する場合があります**

2 バイト文字を含むユーザー名で Windows にログインし、Xerox FreeFlow Core のインストール中に SQL Server の新規インストールを行うと、インストールしたばかりの SQL Server に接続できず、Xerox FreeFlow Core のインストールを継続できなくなります。

これは、Xerox FreeFlow Core のインストール中に新規インストールできる SQL Server が英語版であり、Windows 認証を利用して SQL Server にログインする際に、2 バイト文字を含むアカウント名ではログイン処理ができないためです。

Xerox FreeFlow Core のインストール環境に 2 バイト文字を含むユーザー名でログインする必要がある場合は、インストールガイドの「SQL Server のインストール」(P.35) の手順に従って、2 バイト文字を含むユーザー名を利用可能な日本語版の SQL Server を予めインストールしておいてください。

- **カラーページ分割コンポーネントのカラーページ判定機能の精度向上により、過去バージョンと比較して挙動が変わる場合があります**

Xerox FreeFlow Core 7.0 以降では、カラーページ分割コンポーネントが利用するカラーページ判定機能の精度向上により、Xerox FreeFlow Core 6.2 以前と比較して、カラーページ判定の挙動が変わる場合

があります。

具体的には、以下のケースにおいて、過去にモノクロジョブと判定されていたページが、カラージョブと判定される場合があります。

- a) ページ内にごく少ないカラー要素が含まれている場合
- b) モノクロ系の色味の中に、カラー要素への偏りが含まれている場合

この挙動変更は、カラーページ検出の精度向上によるものです。

またカラーページ判定機能の精度向上に伴い、カラーページ分割コンポーネントの処理に以前よりも時間を要するようになりました。

Xerox FreeFlow Core 6.2 以前から、Xerox FreeFlow Core 7.0 以降にアップグレードしてご利用いただく際には、事前のテスト出力を行うなど、カラーページ分割コンポーネントのカラーページ判定の挙動を再確認してからご利用いただきますようお願いいたします。

- **Xerox FreeFlow Core 7.0 から「プリフライト、最適化、カラー調整の各コンポーネントでページ指定ができる」新機能が追加されたが、ページ指定に関係なく全体に対して実行されるものがある**

Xerox FreeFlow Core 7.0 から「プリフライト、最適化、カラー調整の各コンポーネントでページ指定ができる」新機能が追加されましたが、以下のオプションではページ指定の有無に関係なく、全体に対して実行されます。

[最適化コンポーネント]

- 標準 PDF へ変換
- 繰り返し使用されているコンテンツを除去
- Web 表示用に最適化
- 非表示レイヤーの廃棄
- 潜在的なフォントの問題を修正
- PDF のプロパティを上書き

[カラー調整コンポーネント]

- Pantone スポットカラー名を整合させる
- スポットカラー表示をノーマライズ
- レジストレーションカラーを変換 X。

5.11.Xerox FreeFlow Core6.2.4 で追加された注意・制限事項

- **[カラーページ分割]プリセットの[カラーコンテンツ面積割合]オプションが正しく動作しない**

[カラーページ割合]プリセットで[カラーコンテンツ面積割合]オプションが有効の時、[最小カラー範囲]の値を指定しても、期待通りに分割されないことがあります。[カラーコンテンツ面積割合]オプションを使用しないでください。

- **使用可能なプリフライトプロファイルバージョン**

Xerox FreeFlow Core がサポートするプリフライトプロファイルのバージョンは、内部で利用している 3rd

Party モジュールのバージョンにより異なります。

Acrobat や pdfToolbox で作成・書き出しを行ったプロファイルを利用する場合は、ご利用中の Xerox FreeFlow Core がサポートするプリフライトプロファイルのバージョンが該当バージョンと同一もしくは古いプロファイルであることを確認してください。

FreeFlow			
Core	pdfpreflight version	Callas pdfToolbox	Adobe Acrobat Pro (*)
Core 5.1.0.10	16.0	Callas pdfToolbox 10	Acrobat Pro DC (2019 Release)
Core 5.4.x	↑	↑	Acrobat Pro DC (2020 Release)
Core 6.0.x	17.0	Callas pdfToolbox 11	-
Core 6.1.x	18.0	Callas pdfToolbox 12	Acrobat Pro DC (2021.007.20099)
Core 6.2.x	19.0	Callas pdfToolbox 13	Acrobat Pro DC (2022.002.20191)
Core 7.0.x	20.0	Callas pdfToolbox 14	Acrobat Pro DC (2023.001.20143)
Core 8.0	21.0	Callas pdfToolbox 15	Acrobat (2025.001.20937)
Core 8.1	22.0	Callas pdfToolbox 16	Acrobat Pro DC (2025.001.21288)

(*) Acrobat のバージョンは本文書作成時のものです。

プリフライトプロファイルのバージョンは以下のようにして確認してください。

1. kfp または kfpX ファイルをテキストエディタで開く。
 2. タグ「<pdfpreflight version="xx.x">」の値(xx.x)を確認する。
- **面付けプリセットの第二/第三ステージのカスタムサイズ用の紙がエクスポートされない**
FreeFlow Core 6.2.4 以前のバージョンでは、面付けプリセットの第二、第三ステージで定義したカスタムサイズの用紙がエクスポートされません。
お手数ですが、インポート先で面付けプリセットを再編集し、カスタムサイズの用紙を追加してください。

5.12.Xerox FreeFlow Core6.2.3 で追加された注意・制限事項

- **「面付け」の[トンボ]で、[ページ範囲]に数字とハイフン以外を使用すると正しく動作しない**
[面付け]コンポーネントの[トンボ]タブ-[配置]の[ページ範囲]に数字とハイフン(例:「1」、「1--1」)以外を使用しても正しく動作しませんので、使用しないでください。

5.13.Xerox FreeFlow Core6.2.2 で追加された注意・制限事項

- **Xerox FreeFlow Core 6.2.2 以降のヘルプで、検索タブが正しく表示されない**
FreeFlow Core 6.2.2 またはそれ以降のバージョンを起動し、メニューから表示したヘルプでは[目次]タブが[Contents]と表示され、[検索]タブが[Search]と表示されますが、[Search]タブは正しく機能しません。
ヘルプを検索したい場合は、インストールメディアに同梱の PDF ファイルの FreeFlow Core ヘルプをご利用ください。
- **VIPP フォルダーが FreeFlow Core 6.2.1 以降で再配置される**
XGFC フォルダーの場所は、FreeFlow Core 6.1.3 以前は X:¥xgfc ('X' は xgfc のあるドライブ)でしたが、FreeFlow Core 6.2.1 以降のアップデートインストールで C:¥Program Files (x86)¥Xerox¥VIPP¥xgfc に再配置されます。

X:\xgfc にあるファイルを C:\Program Files (x86)\Xerox\VIPP\xgfc にコピー、または C:\ProgramData\Xerox\VIPP\VINIP\vinip.ini の xgfcdir の値を書き換え、インストール後の再起動で更新されます。

そのため、VIPP のワークフローはアップデート後に改めて確認する必要があります。

5.14.FreeFlow Core6.2.0 で追加された注意・制限事項

- **例外ページと合紙を上書き設定したジョブを Nuvera FFPS へ送信すると失敗することがある**
ジョブ送信ウィンドウで[ジョブチケット設定を上書き]し、例外ページと合紙を設定して Nuvera FFPS へ送信すると、ジョブはステータス詳細「プリンターに接続できないため、指定した文書を印刷できません。」で失敗する場合があります。このような場合は[ジョブチケット設定を上書き]の設定を行わず、プリンターへ送信後に例外設定をしてください。
- **Windows Server 2022 で Office ジョブが失敗する**
Windows Server 2022 にインストールした FreeFlow Core では Office ジョブが失敗します。
FreeFlow Core にて Office ジョブを使用する場合は、Windows Server 2022 以外の環境をご利用ください。
- **FreeFlow Core 6.0 以降でプリフライトや最適化コンポーネントでフォント埋め込みが行われないことがある**
システムにフォントが存在しているにもかかわらず、プリフライトや最適化コンポーネントで処理してもフォントの埋め込みが行われないことがあります。その場合はフォントを埋め込んでから FreeFlow Core で処理してください。
- **特定の複数フィニッシングを指定したジョブを GX Print Server およびバージョン 3.1.0 以前の Revoria Flow/GP Controller へ送信すると、ホチキスが正しく表示されない**
以下の複数フィニッシングを指定したジョブを GX Print Server およびバージョン 3.1.0 以前の Revoria Flow/GP Controller へ送信すると、ジョブプロパティではホチキス位置が「左上 1 ヶ所」と表示されます。
 - ・ホチキス:ホチキス 1 ヶ所左下(プリンタ上の期待値: 左下 1 ヶ所)
 - ・パンチ:2 穴左辺(プリンタ上の期待値: 上 2 穴)
 - ・Z 折り:オン(プリンタ上の期待値: Z 折り(左とじ/上とじ))印刷結果を確認し、正しくなければ GX Print Server で設定し直してください。
- **SSL は使用不可**
FreeFlow Core の画面やヘルプ、セキュリティガイドなどに「SSL」の表記が残っていますが、SSL は廃止されたため使用しないでください。

5.15.FreeFlow Core6.1.4 で追加された注意・制限事項

- **FreeFlow Core をドメイン コントローラーにインストールしない**

ドメイン コントローラーは FreeFlow Core のサポート環境ではありませんので、ドメインコントローラーに FreeFlow Core をインストールしないでください。

FreeFlow Core をインストールしたサーバー機をドメイン コントローラーに移行することもお止めください。FreeFlow Core が動作しなくなり、復旧には OS からの再インストールが必要になります。

また、Microsoft はセキュリティ上の理由から、ドメイン コントローラーには SQL Server をインストールしないことを勧めていますので、併せてご留意ください。

5.16.FreeFlow Core6.1.3 で追加された注意・制限事項

- **FreeFlow Core6.1.3 ではユーザー名は大文字・小文字を区別する**

FreeFlow Core 6.1.3 では、ユーザー名の大文字と小文字が区別されます。

5.17.FreeFlow Core6.1.2 で追加された注意・制限事項

- **両面の面付け処理でトンボを付与するとき、オフセットの値によってはトンボが切れることがある**

[面付け]コンポーネントで両面、トンボを設定しているとき、「よこオフセット」で 0 以外を設定すると、値によってはうら面のトンボが切れてしまいますのでご注意ください。

5.18.FreeFlow Core6.1.1 で追加された注意・制限事項

- **プレビュー更新プログラムはインストール非推奨**

Windows Update を実行する際、プレビュー更新プログラムはインストールしないでください。これらは FreeFlow Core サーバーの動作に影響する可能性があります。

- **特定のフィニッシングを設定したジョブは GX Print Server、Revorio Flow で出力エラーになる**

GX Print Server や Revorio Flow に下記フィニッシング設定で「A3 よこ」のジョブを送信すると、フィニッシング位置不正エラーが表示され、出力できません。

ホチキス:左辺 2ヶ所／パンチ:左片 2 穴／紙折り:Z 折り

5.19.FreeFlow Core6.1.0 で追加された注意・制限事項

- **[ルーティング]プリセットのジョブ処理条件に「出力先」を設定する場合は、プリンター構成ごとに固有の出力先名を指定する必要がある**

[ルーティング]プリセットのジョブ処理条件の属性で「出力先」を設定する場合、出力先プリンターに表示さ

れている「出力先」の名前を指定しても、意図通りに処理が行われません。ジョブ処理条件の属性で「出力先」を設定する場合は、出力先プリンターに表示されている「出力先」の名前ではなく、プリンター構成ごとに固有の出力先名を指定する必要があります。

プリンター構成ごとに固有の出力先名については、弊社担当者を通じてお問合せください。

- **ワークフロー/ホットフォルダー検索機能は 2 バイト文字の検索をサポートしない**

ワークフロー/ホットフォルダー検索機能は、1 バイト文字でのみ検索できます。

- **FreeFlow Core 6.1.0 以降、FreeFlow Core で用意されている面付けプリセットの名前は英語表記である**

FreeFlow Core 6.1.0 以降を新規インストールすると、あらかじめ用意されている面付けプリセットの名前がすべて英語表記になります。従来日本語名があったプリセットについても、新規インストールを行うと英語表記になります。

従来から用意されていたものを含めた、面付けプリセットの一覧は以下の通りです。

英語名 (FFC 6.1.0 以降)	日本語名 (FFC 6.0.2 まで)
16 Up	16 連プリント
2 Up	2 連プリント
2 Up Flip Left	反転 2 連プリント左
2 Up Flip Right	反転 2 連プリント右
2 Up Signature Book	2 連シングネチャー (ブックレット)
3 Fold Booklet	(※)
3 Up	3 連プリント
3 Up Flip Left	反転 3 連プリント左
3 Up Flip Right	反転 3 連プリント右
4 Up	4 連プリント
8 Up	8 連プリント
Cross Fold Booklet	(※)
Eighth Fold	(※)
Formal Greeting Card	(※)
Half Fold	(※)
Maximum N-Up	N 連プリント (最大)
Quater Fold	(※)
Quarto	4 面付け
Reverse Sheet Order - Duplex	(※)
Reverse Sheet Order - Simplex	(※)
Signature - Book	小冊子 (中とじ)
Signature - Calender	小冊子 (カレンダー)
Signature - Pamphlet	小冊子 (パンフレット)
Standard	面付け設定

(※) FreeFlow Core 6.1.0 の新規追加プリセットのため、日本語名無し。

- **[ウォーターマーク]コンポーネントでタイムスタンプの午前/午後表記が表示されない**

[ウォーターマーク]コンポーネントでタイムスタンプ変数\$FFtimeStamp\$を指定する場合、時間の表示形式に午前/午後表記を指定すると、OS の言語に合わせて午前/午後の文字を表示できるフォントを選択してください。午前/午後の文字を表示できるフォントが選択されていない場合は、午前/午後表記は表示されません。

- **\$FFtimeStamp.Format()\$の第 5 引数「num」が無効のときがある**

[ウォーターマーク]コンポーネントでタイムスタンプ変数\$FFtimeStamp\$を指定する場合、タイムスタンプ変数\$FFtimeStamp.Format()\$の第 5 引数で時間表記に 0 を付与しないようにする値「num」を設定しても、第 6 引数で 24 時間表記を指定する値が「false」を設定している場合は、時間は 2 ケタ表記となります。

- **サーバーなしモデルのプリンターに FreeFlow からジョブを送信するときは、必ず「FreeFlow ポートステータス」を有効にしてください**

サーバーなしモデルのプリンターに FreeFlow からジョブを送信するときは、必ず プロパティ>ネットワーク設定>プロトコル設定>FreeFlow>FreeFlow ポートステータス を「有効」にしてください。

「無効」でもジョブ送信が可能な場合がありますが、サポート対象外です。

5.20.FreeFlow Core6.0.1 で追加された注意・制限事項

- **GX Print Server および GP Controller D01、Revorio Flow に対して[フィニッシング]>[二つ折り 複数シート]設定でジョブを送信すると紙折枚数はプリンターで指定している最大値が設定される**

FreeFlow Core から[フィニッシング]>[二つ折り 複数シート]設定を指定して送信したジョブの紙折枚数はプリンターで指定している紙折枚数の最大値に設定されます。紙折枚数の設定を変更したい場合は事前にプリンターで指定してください。

- **CMYK で指定したバーコードの色が正しく出力されない**

バーコードでカスタムカラーを指定する際、カラータイプ「CMYK」でカラー値を指定しても設定どおりの結果が得られません。

バーコードでカスタムカラーを指定する場合は、カラータイプ「CMYK」以外で指定してください。

5.21.FreeFlow Core6.0.0 で追加された注意・制限事項

- **FreeFlow Core 6.0.0 より、JDF 形式のジョブチケットにおける「セットアップ>用紙出力」の値が以前とは逆の値に変更された**

これまで FreeFlow Core で保存する JDF 形式のジョブチケットでは、「セットアップ>用紙出力」の値に「1-N Face up(おもて面を上/先頭シートを一番下)」を指定すると、FreeFlow Print Manager - Advanced Print Path で読み込んだ場合に、「1-N Face up(おもて面を上/先頭シートを一番下)」が表示されるようになっていました。これは一見正しい値のように見えますが、FFPS の動作に合わせたものであり、本来の仕様とは異なる値になっていました。

FreeFlow Core 6.0.0 からは、本来の設定値の意図に合わせて、「1-N Face up(おもて面を上/先頭シートを一番下)」を指定すると、FreeFlow Print Manager - Advanced Print Path で読み込んだ場合に、「N-1 Face up(おもて面を上/先頭シートを一番上)」が表示されるようになりました。

FreeFlow Core 6.0.0 より前の FreeFlow Core で保存した JDF 形式のジョブチケットとは値が異なりますのでご注意ください。

- プリンターグループに対しては、ジョブチケットの上書きや編集はできない**

ジョブ送信ダイアログで[出力先プリンター]ドロップダウンからプリンターグループを選択する場合、出力先プリンターが決められていないため、[ジョブチケット設定を上書き]は無効になります。
- ログインの失敗回数が上限に達すると、以降は有効なドメイン資格情報を使用しても FreeFlow Core にログインできない**

Active Directory のドメインユーザーが FreeFlow Core にログインする際、パスワードを 3 回間違えると、以降はパスワードが正しくても、ログインエラーとなります。

この場合、Active Directory のセッションタイムアウト時間(標準では 30 分)が経過するのを待ってから、再度お試しください。
- コマンドラインインターフェースでプリンターグループに送信したジョブでは、処理開始の前に出力先プリンター名は表示されない**

コマンドラインインターフェースでプリンターグループに送信したジョブの状態が「オープン」「オープン・保留」「保留中」の場合、処理が開始する前に出力先プリンターが決められていないため、プリンター名は表示されません。
- ジョブ優先度が機能しない場合がある**

[保留状態でジョブを送信]が有効で、[保留期間]が同一日時に設定されて送信されたジョブ間では、[ジョブ優先度]が機能しません。
- Core CLI のコマンドに対して、メッセージは英語のみである**

CLI コマンドより、FreeFlow Core へジョブを送信する場合、返される情報は常に英語です。
- スクリプトから呼び出す外部プログラムはフルパスで定義する**

ホットフォルダーやワークフローに設定したスクリプトでは、外部プログラムはフルパスで定義してください。システム・ユーザー環境変数の path は FreeFlow Core からは参照されませんのでご注意ください。

例えば以下のようなスクリプトの場合、ジョブがエラーになることがあります。

```
powershell -File <ファイルパス> <引数>
```

この場合、以下のように外部アプリを絶対パスで定義してください。

```
C:\¥Windows¥System32¥WindowsPowerShell¥v1.0¥powershell.exe -File <ファイルパス> <引数>
```

5.22.FreeFlow Core5.4.4 で追加された注意・制限事項

- [Xerox E-mail を使用]オプションが機能しない**

メール通知設定で[Xerox E-mail を使用]オプションはご利用になれません。
- FreeFlow Core 5.1.0.10 以前でエクスポートしたバーコードプリセットを FreeFlow Core 5.4 以降にインポートすると、バーコードセグメントが空欄になる**

FreeFlow Core 5.1.0.10 以前のバージョンで、データにバーコード変数を使用したバーコードプリセットをエクスポートし、FreeFlow Core 5.4 以降のバージョンにインポートすると、バーコードプリセット編集画面

のデータタブで、バーコードセグメントが空欄になる現象が発生します。

これは、テキスト以外のバーコード変数を指定した場合に、バーコードセグメントに null 値が設定されてしまうためです。このような場合は、以下の手順でバーコードセグメントが空欄になっているデータを削除し、再度追加してください。

1. インポート先で **FreeFlow Core** を起動し、ワークフロー設定タブをクリックします。
2. 左上のコンポーネント一覧よりバーコードを選択し、左下のプリセットでインポートしたバーコードプリセットを選択して編集アイコンをクリックします。
3. バーコードプリセット編集画面の右スパンで、一覧より対象のバーコードを選択して編集アイコンをクリックします。
4. データタブをクリックし、バーコードデータ欄で、空欄になっているバーコードセグメントを削除します。
5. [追加の値を選択:]より、削除したものと同じ値を選択し、同じ設定をして追加してから保存してください。

5.23.FreeFlow Core5.4.3 で追加された注意・制限事項

- **チェックボックス「FreeFlow Core が使用するファイルを含めない」のツールチップについて**

Core Exchange のエクスポートタブで、[FreeFlow Core が使用するファイルを含めない]チェックボックスの情報アイコンにカーソルを当てると表示されるツールチップの文「以下のアイテムはインポート側システムにすでに存在する可能性があります。不要な場合は除外してください。」の「以下のアイテム」は「FreeFlow Core が使用するファイル」を指します。

- **[ウォーターマーク]コンポーネントで指定した変数の動作が異なる**

テキストで変数「`$$FFwfJob.joinedJobNames.range(1,3).join(',')$`」を指定した場合、3 つのサブジョブ (test1.pdf/test2.pdf/test3.pdf) を連結すると、FreeFlow Core 5.4.2 まではエラージョブとなっていました。FreeFlow Core 5.4.3 以降はエラージョブとならずにテキスト「test2,test3」が挿入されます。

これは仕様変更によるもので、サブジョブ数が範囲を満たしていなくてもジョブは正常終了するように動作が変更されました。

5.24.FreeFlow Core5.4.2 で追加された注意・制限事項

- **一つのワークフローに配置可能なノード数は 256 である**

一つのワークフローに配置可能なノード数は 256 個までです。FreeFlow Core 4.0.1.0 より前に作成された 256 個より多くのノードを含むワークフローについては、アップグレードおよびインポートは可能ですが、動作は保証できません。

- **FreeFlow Core のインストール環境で、Windows Server 2019 へのイン プレース アップグレードは実施しないでください**

FreeFlow Core のインストール環境で、Windows Server 2019 へのイン プレース アップグレードを実施すると、その後 FreeFlow Core のバージョンアップが実施できなくなる場合があります。Windows

Server 2019 へのアップグレードを行う場合は、あらかじめ FreeFlow Core のアンインストールを実施してください。

- **MAX 設定で"workflow"というカスタムフィールドは利用できない**

MAX 設定で"workflow"というカスタムフィールドを作成して利用することはできません。"workflow"は予約語のため、他の文字列に置き換えてください。

- **[ジョブをまとめる]オプションを有効にした集約コンポーネントでジョブを処理するとサーバーエラーが発生することがある**

[ジョブをまとめる]オプションを有効にした集約コンポーネントでジョブを処理するとサーバーエラーが発生することがあります。

この場合、Visual Studio 2012 の Visual C++再頒布可能パッケージのインストールが必要です。

Microsoft 公式ホームページの「ダウンロード センター」の「開発者ツール」から「Visual Studio 2012 更新プログラム 4 の Visual C++ 再頒布可能パッケージ」をダウンロードして、インストールしてください。

- **[集約]コンポーネントで[ジョブをまとめる]オプションを有効にしても処理順序が保持されない**

Output Management オプションが有効な環境で、[集約]コンポーネントの[ジョブをまとめる]オプションを有効にしても、グループジョブを構成するサブジョブの処理順序は保証されません。

5.25.FreeFlow Core5.4.0 で追加された注意・制限事項

- **TIFF を処理するとイメージが乱れることがある**

TIFF を処理するとイメージが乱れて PDF に変換される場合があります。

このような問題が発生した場合は、事前に Adobe Acrobat で TIFF を PDF に変換してから処理を実行してください。

- **論理プリンター名の制限**

論理プリンター名、またはキュー名は、以下の文字のみ使用できます。

- 半角数字
- 半角アルファベット
- 半角ハイフン(-)
- 半角アンダーバー(_)

FreeFlow Core の IP アドレスとワークフロー名を指定して LPR 送信する場合に指定できるワークフロー名も、この制限に準拠します。

- **B9136/B9125/B9110 Light Publisher (Integrated Copy/Print Server 1.0) でユーザー用紙を設定した用紙トレイは FreeFlow から参照できない**

B9136/B9125/B9110 Light Publisher (Integrated Copy/Print Server 1.0) では、紙種に応じた印刷条件を設定可能な「ユーザー用紙」を登録することができますが、「ユーザー用紙」を割り当てたトレイの用紙を FreeFlow から使用できません。これは「ユーザー用紙」を割り当てたトレイの情報を FreeFlow に渡さないという、プリンター側の仕様によるものです。

このため FreeFlow から送信するジョブに対しては、「ユーザー用紙」で登録できるアライメント補正・エアアシスト調整・転写出力調整等を利用することは出来ません。

これらの機能を使用したい場合はトレイに直接設定し、FreeFlow からはこのトレイに設定した用紙の属性(サイズ・色・質量等)を指定してください。

- **GX Print Server、Revoria Flow、GP Controller のスプール容量が取得できない**

[プリンターと消耗品の状態]タブにおいて、GX Print Server、Revoria Flow、GP Controller のプリンターではスプール容量が表示されません。スプール容量を確認する場合はコントローラーの画面をご参照ください。

- **ブラウザー起動後の初回操作時は表示に時間がかかることがある**

FreeFlow CoreはWebブラウザーを通じて操作するため、操作画面の表示速度はシステム設定やブラウザーのキャッシュなどの影響を受けます。このため、ブラウザー起動後の初回操作時は表示に時間がかかることがあります。

操作画面の表示速度を向上させるため、FreeFlow Core のインストール時には、インストールガイドに記載されている以下の設定を行ってください。

- [電源プランの選択またはカスタマイズ]オプションで、[高パフォーマンス]を選択する

- Core サーバーへアクセスするブラウザー設定で、プロキシ サーバーの例外に FreeFlow Core サーバーの IP アドレスを指定する

- **[集約]コンポーネントに[ジョブをまとめる]オプションを指定すると、集約条件を無視してジョブをまとめる**

集約条件を指定した[集約]コンポーネントに[ジョブをまとめる]オプションを指定すると、集約条件を無視してジョブをまとめます。[集約]コンポーネントに指定した集約条件に従ってジョブをまとめたい場合は、集約条件を指定した[集約]コンポーネントと、[ジョブをまとめる]オプションを指定した[集約]コンポーネントを、前後に続けて指定してください。

- **FreeFlow Core のバージョンアップに伴い、バーコードのサイズと位置が変わる場合がある**

FreeFlow Core 5.1 で行われたバーコードのフォントサイズ指定に対する基準値の見直しにより、FreeFlow Core 5.1 以前のバージョンからバージョンアップすると、印字されるバーコードのサイズと位置が変わる場合があります。

具体的には、ISBN/JAN/EAN を含むバーコードを指定した場合、以前のバージョンで同じフォントサイズを指定した場合と比較して、実際に印字するバーコードサイズがやや小さくなりました。また、この変更に伴い、クワイエットゾーンを含むバーコード全体のサイズが変更となり、バーコードの印字開始位置が変更となりました。

FreeFlow Core のバージョンアップを行う際には、これらの仕様変更による影響を事前検証にて確認し、バーコードのフォントサイズと位置指定の見直しを行ってください。

- **FreeFlow Core インストール PC におけるスリープ/休止に関する注意喚起**

FreeFlow Core をインストールした PC にて、スリープや休止状態に遷移すると、バックグラウンドで実行しているプリンターやジョブのステータス確認処理が停止してしまい、ジョブが処理中のままプリンターへ送信されない現象が発生する可能性があります。

FreeFlow Core は Web サーバーアプリケーションとして稼動するため、インストールしている PC (クライアント OS も含む) に対しては、電源オプションでの「コンピューターをスリープ状態にする」設定や、手動による PC スリープ/休止は実行しないようお願いいたします。

PC の停止が必要な場合は、スリープ/休止では無く、必ず「シャットダウン」で停止するようお願いいたします。

- **FreeFlow Core 設置環境における Windows Update の推奨設定**

FreeFlow Core でジョブの処理中に Windows Update が実行されると、アップデート処理に伴って意図せずファイルが更新されたり、Windows Update 後に意図せず再起動されたりすることで、FreeFlow Core のデータベースの破損などの障害が発生する恐れがあります。

このような事態を避けるため、セキュリティアップデートの実施については、自動更新と自動再起動の設定を無効とし、FreeFlow Core で処理が行われていない状態で実施するようにしてください。

- **同一の管理者ユーザーが別のブラウザから同時にログインすると、以前の編集内容は破棄される**

FreeFlow Core へ同一の管理者ユーザーが複数のブラウザから接続すると、最後にログインしたブラウザでの操作が有効となり、それ以前にログインしていたブラウザでの操作は破棄されて、ログイン画面に遷移します。

- **「FreeFlow Core クローンを作成」をチェックしてエクスポートしたワークフローをインポートすると、ワークフロー編集画面に表示されない**

FreeFlow Core アプリケーションにログインした状態で、同時に FreeFlow Core Exchange を起動した場合、「FreeFlow Core クローンを作成」をチェックしてエクスポートしたワークフローをインポートすると、FreeFlow Core のワークフロー編集画面に表示されません。

ワークフロー編集画面に表示させるためには、FreeFlow Core アプリケーションからログアウトしてから再度ログインしてください。

5.26.FreeFlow Core5.1.0.10 で追加された注意・制限事項

- **FreeFlow Core 環境において、Windows 10 のアップデートを実施後、Office 変換が失敗する**

FreeFlow Core 環境で Windows 10 のアップデートを実施すると、その後、Office 変換が失敗します。Office 変換機能を復旧するためには、FreeFlow Core の最新版へのアップグレード又は再インストールを実施してください。

- **[PostBar(Japan)]でバーコードを作成すると、郵政が定義するバーコード長さに収まらない場合がある**

[PostBar(Japan)]でバーコードを作成する際に、フォントサイズに 20-23 および 31-36 を指定すると、郵政が定義するバーコード長さ 64mm～88mm に収まりません。[PostBar(Japan)]でバーコードを作成する際には、フォントサイズ 24-30 を指定してください。

5.27.FreeFlow Core5.1.0.9 で追加された注意・制限事項

- **GX Print Server、Revoria Flow、GP Controller から取得するプリンターステータスが正確ではない場合がある**

GX Print Server、Revoria Flow、GP Controller の論理プリンターでジョブを処理する設定が有効になっていない場合、FreeFlow Core でプリンターのステータスが正しく取得できません。プリンターのステータスを正しく取得するには、論理プリンターの処理をジョブ処理するに設定してください。

5.28.FreeFlow Core5.1.0.6 で追加された注意・制限事項

- **バーコードのキャプションの端が欠けることがある**

[バーコード]プリセットにて、クワイエットゾーンを小さく設定したときにバーコードのキャプションが収まりきらず端が欠けることがあります。この場合はクワイエットゾーンを大きめに設定してください。

5.29.FreeFlow Core5.1.0.4 で追加された注意・制限事項

- **GX/PX Print Server、Revoria Flow、GP Controller への連続ジョブ出力のパフォーマンスが低下する**

FreeFlow Core から GX/PX Print Server、Revoria Flow、GP Controller へ連続ジョブ出力を行なうと、FreeFlow Core のパフォーマンスの低下が発生し、FreeFlow Core がジョブを受け付けてからジョブ処理が完了するまでに遅延が発生します。

- **印刷プリセットでラウンドロビン機能を設定するとジョブの分配に偏りが発生する**

印刷プリセットでラウンドロビン機能を以下の通りに設定すると、ジョブのほとんどが一番目に追加された出力先プリンターに送られます。

- ・プリンター選択: 出力先プリンターにジョブを均等に送信
- ・分割条件: 処理可能な送信先を順番に選択(ラウンドロビン)
- ・出力先プリンター: (任意のプリンター2 台)

5.30.FreeFlow Core5.1.0.3 で追加された注意・制限事項

- **連帳機はジョブチケットの一部をサポートしない**

FreeFlow Core から連帳機へ接続した場合に、以下のジョブプロパティについて UI から設定可能ですが、連帳機がサポートしない機能のため設定が無視されます。

- ストック
- 両面/片面
- 丁合い

- **GX Print Server の特定のバージョンで Interposer 給紙トレイ用紙残量値が正確に表示されない**

バージョン 1.6.7、2.0.1、2.1.0、2.1.3 の GX Print Server と接続されている状態にて、[プリンターと消耗品の状態]画面内で不正な Interposer 給紙トレイの用紙残量値が表示されることがあります。正確なプリンター情報が必要な場合は直接プリンターを確認してください。

- **未完了ジョブ数が正しくない**

未完了ジョブ数が実際の数と異なる場合があります。

- **未完了ジョブ数として反映されないジョブがある**

複数キューを登録している場合に、未完了ジョブ数として一部のキューからの未完了ジョブ数のみが反映されている場合があります。

- **Nuvera(FreeFlow Print Server 7.0)の消耗品状態が正確に表示されない。**

Nuvera(FreeFlow Print Server 7.0)と接続されている状態にて、[プリンターと消耗品の状態]画面内で以下の不具合が発生することがあります。正確なプリンター情報が必要な場合は直接プリンターを確認してください。

- 用紙トレイ情報が表示されない
- 不正なインクトナー情報が表示される
- 排出先名の文字化けが発生する

- **Job Submission Regulation 機能が正確に動作しない**

未完了ジョブ数で Job Submission Regulation を適応した場合、ジョブ送信が制御されるまでに閾値を大幅に上回る場合があります。

- **[バーコード]プリセットの両面/片面設定が変更される**

[バーコード]プリセットの両面/片面設定について、FreeFlow Core 5.0.0.9 以前のバージョンからアップグレードもしくはワークフローをインポートすると、旧バージョンでは両面設定で処理していたジョブを現行バージョンでは片面設定で処理します。現行バージョンでも両面設定で処理するには、アップグレードもしくはワークフローをインポートした後に、手動で[バーコード]プリセットの両面/片面設定を両面に設定してください。

5.31.FreeFlow Core5.1.0.1 で追加された注意・制限事項

- **Core Reports で大量ジョブの表示に時間がかかる**

大量ジョブ処理後に Core Reports でジョブを収集すると、ジョブのリスト表示に時間がかかることがあります。

5.32.FreeFlow Core5.1.0.0 で追加された注意・制限事項

- **Fiery Print Server プリンターでプリンターコントローラー空きディスク容量でのジョブ送信制御**

機能はできない

Fiery Print Server プリンターに接続する場合、Fiery Print Server から DFE で使用可能なスプール容量の情報が取得できないため、プリンターコントローラー空きディスク容量でのジョブ送信制御機能を利用できません。

- **Iridesse Production Press (GX Print Server for the Iridesse Production Press)、Revoria Press PC1120 / Revoria Press PC1120 S (Revoria Flow PC11)に接続時、例外ページの設定画面に[グレースケールで印刷]チェックボックスが表示されない**

Iridesse Production Press (GX Print Server for the Iridesse Production Press)、または Revoria Press PC1120 / Revoria Press PC1120 S (Revoria Flow PC11)の例外ページ設定画面に[グレースケールで印刷]チェックボックスが表示されません。[グレースケールで印刷]を指定する場合は、プリンター側で設定してください。

- **[エラージョブ]タブではグループジョブを[すべてのジョブを削除]で削除できない**

ジョブステータスの[エラージョブ]タブに表示されているグループジョブ(エラー以外のジョブステータスの子ジョブを含む)を[すべてのジョブを削除]で削除することはできません。該当するグループジョブを選択して[削除]で削除を実施してください。

5.33.FreeFlow Core5.0.0.9 で追加された注意・制限事項

- **GX Print Server、Revoria Flow、GP Controller プリンターが節電状態のときに、プリンターステータスが利用不可と表示される**

GX Print Server、Revoria Flow、GP Controller プリンターと接続されている状態にて、これらのプリンターが節電状態のときには、FreeFlow Core でのプリンターステータスが利用不可と表示されます。

5.34.FreeFlow Core5.0.0.8 で追加された注意・制限事項

- **外字エディターで登録した外字をウォーターマークプリセットのテキストに入力することができない。**

FreeFlow Core では、外字エディターで作成した外字は利用できません。

5.35.FreeFlow Core5.0.0.7 で追加された注意・制限事項

- **PDF の規格が変更される場合がある**

各コンポーネントで規格準拠した PDF を処理すると、以下のように規格準拠しない PDF が作成されます。

- ・プリフライト

PDF の規格は変更されません。

- ・最適化

PDF の規格は変更されません。

- ・面付け

PDF/X-4p, PDF/A-1a, PDF/A-1b, PDF/A-2a, PDF/A-2u, PDF/A-2b, PDF/A-3a, PDF/A-3u, PDF/A-3b, PDF/E-1 に規格準拠した PDF を処理すると、規格準拠しない PDF が作成されます。このような問題が発生した場合、最適化コンポーネントを使用して規格準拠した PDF に再変換してください。ただし、最適化コンポーネントでサポートしている PDF/A-3u, PDF/A-3b への再変換は正常に処理されますが、その他の規格は再変換することができません。

- ・カラー調整

PDF/X-4 に規格準拠した PDF を処理すると、規格準拠しない PDF が作成されます。このような問題が発生した場合、最適化コンポーネントを使用しても規格準拠した PDF に再変換することができません。

- ・イメージエンハンス

PDF の規格は変更されません。

- ・バーコード

PDF の規格は変更されません。

- ・ウォーターマーク

PDF/X-1a(2001), PDF/X-3(2002), PDF/X-4, PDF/X-4p, PDF/A-1a, PDF/A-1b, PDF/A-2a, PDF/A-2u, PDF/A-2b, PDF/A-3a, PDF/A-3u, PDF/A-3b, PDF/E-1 に規格準拠した PDF を処理すると、規格準拠しない PDF が作成されます。このような問題が発生した場合、最適化コンポーネントを使用して規格準拠した PDF に再変換してください。ただし、最適化コンポーネントでサポートしている PDF/X-1a(2001), PDF/X-3(2002), PDF/X-4, PDF/X-4p への再変換は正常に処理されますが、その他の規格は再変換することができません。

- ・プレスマーク

PDF/X-1a(2001), PDF/X-3(2002), PDF/X-4, PDF/A-1a, PDF/A-1b, PDF/A-2a, PDF/A-2u, PDF/A-2b, PDF/A-3a, PDF/A-3u, PDF/A-3b に規格準拠した PDF を処理すると、規格準拠しない PDF が作成されます。このような問題が発生した場合、最適化コンポーネントを使用して規格準拠した PDF に再変換してください。ただし、最適化コンポーネントでサポートしている PDF/X-1a(2001), PDF/X-3(2002), PDF/X-4, PDF/A-3a, PDF/A-3u, PDF/A-3b への再変換は正常に処理されますが、その他の規格は再変換することができません。

- ・ページ番号

PDF/X-1a(2001), PDF/X-3(2002), PDF/X-4, PDF/X-4p, PDF/A-1a, PDF/A-1b, PDF/A-2a, PDF/A-2u, PDF/A-2b, PDF/A-3a, PDF/A-3u, PDF/A-3b, PDF/E-1 に規格準拠した PDF を処理すると、規格準拠しない PDF が作成されます。このような問題が発生した場合、最適化コンポーネントを使用して規格準拠した PDF に再変換してください。ただし、最適化コンポーネントでサポートしている PDF/X-1a(2001), PDF/X-3(2002), PDF/X-4, PDF/X-4p への再変換は正常に処理されますが、その他の規格は再変換することができません。

- ・縮小／拡大

PDF の規格は変更されません。

- ・回転

PDF の規格は変更されません。

- ページ挿入

PDF の規格は変更されません。

- ページ削除

PDF の規格は変更されません。

- ルーティング

PDF の規格は変更されません。

- 分配

PDF の規格は変更されません。

- 集約

PDF の規格は変更されません。

- 分割

PDF/X-1a(2001) , PDF/X-3(2002), PDF/X-4, PDF/X-4p, PDF/A-1a, PDF/A-1b, PDF/A-2a, PDF/A-2u, PDF/A-2b, PDF/A-3a, PDF/A-3u, PDF/A-3b, PDF/E-1 に規格準拠した PDF を処理すると、規格準拠しない PDF が作成されます。このような問題が発生した場合、最適化コンポーネントを使用して規格準拠した PDF に再変換してください。ただし、最適化コンポーネントでサポートしている PDF/X-1a(2001) , PDF/X-3(2002), PDF/A-3u, PDF/A-3b への再変換は正常に処理されますが、その他の規格は再変換することができません。

- 連結

PDF/X-4, PDF/X-4p, PDF/A-1a, PDF/A-1b, PDF/A-2a, PDF/A-2u, PDF/A-2b, PDF/A-3a, PDF/A-3u, PDF/A-3b, PDF/E-1 に規格準拠した PDF を処理すると、規格準拠しない PDF が作成されます。このような問題が発生した場合、最適化コンポーネントを使用して規格準拠した PDF に再変換してください。ただし、最適化コンポーネントでサポートしている PDF/A-3u, PDF/A-3b への再変換は正常に処理されますが、その他の規格は再変換することができません。

- カラーページ分割

PDF/X-1a(2001) , PDF/X-3(2002), PDF/X-4, PDF/X-4p, PDF/A-1a, PDF/A-1b, PDF/A-2a, PDF/A-2u, PDF/A-2b, PDF/A-3a, PDF/A-3u, PDF/A-3b, PDF/E-1 に規格準拠した PDF を処理すると、規格準拠しない PDF が作成されます。このような問題が発生した場合、最適化コンポーネントを使用して規格準拠した PDF に再変換してください。ただし、最適化コンポーネントでサポートしている PDF/X-1a(2001) , PDF/X-3(2002), PDF/A-3u, PDF/A-3b への再変換は正常に処理されますが、その他の規格は再変換することができません。

- 外部

PDF の規格は変更されません。

- 印刷

PDF の規格は変更されません。

- フィニッシャー

PDF の規格は変更されません。

- 保存

PDF の規格は変更されません。

【補足】

最適化コンポーネントでは PDF/X-1a(2001), PDF/X-3(2002), PDF/X-4, PDF/X-4p, PDF/A-3a, PDF/A-3u, PDF/A-3b に規格準拠した PDF への変換をサポートしています。

最適化コンポーネントで対応できない規格準拠への再変換を実施する場合は、Acrobat Pro で作成したプリフライトプロファイルを使用してプリフライトコンポーネントで実施してください。

ただし、プリフライトコンポーネントでも規格準拠した PDF に再変換できない場合があります。

● PDF バージョンが変更される場合がある

各コンポーネントで PDF を処理すると、以下のように PDF バージョンが変更された PDF が作成されます。

・プリフライト

PDF バージョンは変更されません。

・最適化

PDF バージョン"1.2"が"1.3"に変更されます。

・面付け

PDF バージョンは変更されません。

・カラー調整

PDF バージョン"1.2"が"1.3"に変更されます。

・イメージエンハンス

PDF バージョン"1.2"が"1.3"に変更されます。

・バーコード

PDF バージョン"1.2"が"1.3"に変更されます。

・ウォーターマーク

PDF バージョン"1.2"が"1.3"に変更されます。

・プレスマーク

PDF バージョン"1.2"が"1.3"に変更されます。

・ページ番号

PDF バージョン"1.2"が"1.3"に変更されます。

・縮小／拡大

PDF バージョン"1.2"が"1.3"に変更されます。

・回転

PDF バージョン"1.2"が"1.3"に変更されます。

・ページ挿入

PDF バージョン"1.2"が"1.3"に変更されます。

・ページ削除

PDF バージョン"1.2"が"1.3"に変更されます。

・ルーティング

PDF バージョンは変更されません。

・分配

PDF バージョンは変更されません。

- 集約
PDF バージョンは変更されません。
- 分割
PDF バージョンは変更されません。
- 連結
PDF バージョンは変更されません。
- カラーページ分割
PDF バージョンは変更されません。
- 外部
PDF バージョンは変更されません。
- 印刷
PDF バージョンは変更されません。
- フィニッシャー
PDF バージョンは変更されません。
- 保存
PDF バージョンは変更されません。

- **[外部]コンポーネントでジョブが処理待ちのままになることがある**

[外部]コンポーネントで処理中のジョブ(外部プロセスからの入力待ちのジョブ)を FreeFlow Core で削除すると、以降の処理待ちのジョブの処理がすぐに開始されないことがあります。

処理待ちのジョブの処理が開始されない場合は、タイムアウト時間が経過するまで待つか、あるいは FreeFlow Core サーバーを再起動してください。再起動した場合は[外部]コンポーネントで処理待ちのジョブがすべて失敗で完了します。

- **JDF ジョブの CustomerInfo 属性が失われる**

CustomerInfo 属性が指定された JDF を FreeFlow Core に送信すると、入力時に以下の CustomerInfo 属性が失われてしまい、[保存]コンポーネントで保存される JDF にも指定されません。

<CustomerInfo/Contact/Company>
 <CustomerInfo/Contact/Person>
 <CustomerInfo/Contact/Person/Adress>
 <CustomerInfo/Contact/Person/ComChannel>

- **カスタムサイズ用紙の[幅]と[高さ]を MAX 変数で指定するとジョブがエラー終了する場合がある**

[面付け]コンポーネントでカスタムサイズ用紙の[幅]と[高さ]を MAX 変数で指定した際に、[幅]を[高さ]より長く設定したジョブを処理するとエラー終了します。[幅]を[高さ]より長く設定することはできませんので、縦長用紙になるように[幅]と[高さ]を MAX 変数で指定してください。

- **データベースに不要レコードが残り空き容量不足となる場合がある**

データベースの空き容量が少なくなると、以下の警告メッセージが表示されます。

- 警告:データベース空き容量が少なくなっています。空き容量は 20% 以下です。
- 警告:データベース空き容量が非常に少なくなっています。空き容量は 5% 以下です。

[注記] 空き容量の値はデータベースの空き容量に応じて変動します。

これらの警告メッセージが表示された場合は、完了ジョブ/エラージョブ/取り消しジョブ を削除してください。ジョブを削除したにも関わらず、警告メッセージが表示され続ける場合は弊社担当者までご連絡ください。警告メッセージが表示されたまま FreeFlow Core を使用し続けるとアプリケーションが正常に起動しなくなる場合があります。

5.36.FreeFlow Core5.0.0.4 で追加された注意・制限事項

- **USPS Intelligent Mail Package バーコードのキャプション全体が表示されない**
USPS Intelligent Mail Package のバーコード幅が狭いとキャプション全体が表示されません。バーコードのフォントサイズを大きく設定してバーコード幅を広げてください。
- **[キャプションを含む]を有効にしてもバーコードキャプションが表示されない**
以下のバーコードシンボルで[キャプションを含む]を有効にしてもキャプションが表示されません。[キャプション倍率]のチェックを外すとキャプションが表示されます。
 - PostNet
 - USPS Intelligent Mail
 - Australia Post 4-State
 - Royal Mail CBC
 - PostBar (Japan)
- **Code39 バーコードで[スタートキャラクター]/[ストップキャラクター]を有効にしないとバーコードリーダーで読み取れない**
Code39 バーコードを使用する場合は[スタートキャラクター]/[ストップキャラクター]を有効にしてください。これらのオプションを有効にしないとバーコードリーダーで読み取れません。
- **グループジョブ内のジョブ数表示は実際と異なる**
ジョブステータスでのグループジョブ内のジョブ数表示は実際のジョブ数と異なり、グループジョブのうちジョブステータスの 1 ページ内に表示しているジョブ数を表示しています。

5.37.FreeFlow Core5.0.0.3 で追加された注意・制限事項

- **[外部]コンポーネントで[ジョブをまとめる]オプションが機能しない**
[外部]コンポーネントで[ジョブをまとめる]オプションはご利用になれません。
- **ホスト名が同じプリンターを登録するとキューが混在する**
ホスト名が同じプリンターを登録すると、出力先プリンターリストで異なるプリンターのキューが混在して表示されます。ホスト名が同じプリンターを出力先プリンターとして登録しないでください。ネットワーク上でプリンターのホスト名は一意となる必要があります。

5.38.FreeFlow Core5.0.0.2 で追加された注意・制限事項

- **[最適化]コンポーネントで 2GB 以上の PDF を[PDF/X-1a]に変換するとエラーになる**

サポート対象外のため、2GB 以上の PDF を[PDF/X-1a]に変換することはできません。また、入力 PDF が 2GB 未満のデータであっても、最適化の内部処理によって、[PDF/X-1a]変換時にファイルサイズが 2GB を超えてジョブ処理がエラー終了する場合があります。ファイルサイズが大きい PDF を PDF/X に変換する場合は、2GB 以上のファイルサイズをサポートしている[PDF/X-4]で変換を実施してください。
- **ジョブ送信ダイアログで挿入紙のシート範囲に負数を指定するとプリンターに挿入紙属性が送信されない**

ジョブ送信ダイアログの[ジョブチケット設定を上書き]オプションを有効にして、[特殊ページ]タブの挿入紙設定で、"1--1" のようにシート範囲の終了ページに負数を指定するとジョブチケットに挿入紙属性が反映されないため、プリンターに挿入紙属性が送信されません。ジョブ送信ダイアログで挿入紙を設定する場合は、シート範囲を "1-10" のように正数を指定してください。
- **GX Print Server に 2GB 以上の PDF を送信するとエラー終了する**

2GB 以上の PDF を送信すると「プリンターに接続できないため、指定した文書を印刷できません。ジョブ送信はこのプリンター出力先に対して一時停止されました。」が表示されてジョブはエラー終了します。GX Print Server には 2GB 未満の PDF を送信してください。
- **インストールドライブを変更しても一部の設定ファイルが C ドライブにインストールされる**

[ワークフローデータのコピー先]フォルダーはデフォルトで"C:\¥Xerox¥FreeFlow¥Core"が指定されていますが、インストール先を"D:\¥Xerox¥FreeFlow¥Core"に変更した場合、ワークフローデータやプリセット情報等は D ドライブに指定したパスにインストールされますが、一部の設定ファイルは "C:\¥Xerox¥FreeFlow¥Core¥I2S¥Data"にインストールされます。

5.39.FreeFlow Core5.0.0.1 で追加された注意・制限事項

- **[プリフライト]のイメージ解像度指定について**

[プリフライト]のフライトチェックでカラー/グレースケールイメージ解像度、またはビットマップイメージ解像度を選択すると、指定値以下と指定値以上の解像度値を指定することができます。指定値以下には最小解像度、指定値以上には最大解像度を指定してください。
- **[縮小・拡大] の倍率およびサイズを正常にエクスポート&インポートできない**

FreeFlow Core 4.0.3.4 以前のバージョンにおいて、ワークフローをエクスポートした場合、[縮小・拡大]のメソッドで[サイズオフセット]または[パーセントオフセット]が選択されていると、インポート時に倍率およびサイズの設定値が変わってしまうことがあります。また、変更された設定値がサポート外の数値であった場合は、プリセットの編集画面を開くと「プリセットを読み込めません。」が表示されて設定値を手動で再設定できません。このような問題を回避するため、[サイズオフセット]または[パーセントオフセット]が選択された[縮小・拡大]プリセットを含むワークフローの場合には、各数値に"0"を設定してからエクスポートして、インポー

ト後に設定値を手動で再設定してください。

5.40.FreeFlow Core5.0.0.0 で追加された注意・制限事項

- **[プリフライト]の最小解像度のみのチェックはできない**

FreeFlow Core 4.0.3.1 以降では、[プリフライト]の解像度チェックは最小解像度および最大解像度の設定が必須となり、FreeFlow Core4.0.2.2 以前の機能である最小解像度のみのチェックは行えなくなりました。

FreeFlow Core4.0.2.2 以前のバージョンからアップグレード、もしくは FreeFlow Core4.0.2.2 以前のバージョンでエクスポートしたワークフローをインポートした場合は、[プリフライト]の最大解像度にデフォルトである 1200 が自動的に設定されます。最小解像度のみのチェックを行いたい場合には、アップグレードもしくはインポート後に最大解像度として十分大きな値(最大値:9999)を手動で設定するか、Adobe Acrobat などでも最小解像度のみをチェックするプリフライトプロファイルを作成して設定してください。

- **[プリフライト]のジョブ停止条件を正常にエクスポートできない**

FreeFlow Core 4.0.3.3 以前のバージョンにおいて、ワークフローをエクスポートした場合に[プリフライト]のジョブ停止条件の設定値が正しくエクスポートできず、インポート時に設定値が変わってしまうことがあります。FreeFlow Core4.0.3.4 もしくは Core5.0.0.0 ではこの問題は修正されているため、これらのバージョン以降にバージョンアップしてからエクスポートを実施するか、バージョンアップが不可能な場合はインポート後に設定値を手動で再設定してください。

- **ホットフォルダーの区切り文字を正常にエクスポートできない**

FreeFlow Core 4.0.3.3 以前のバージョンにおいて、ホットフォルダーをエクスポートした場合にホットフォルダーの区切り文字の設定値が正しくエクスポートできず、インポート時に設定値が変わってしまうことがあります。FreeFlow Core4.0.3.4 もしくは FreeFlow Core5.0.0.0 ではこの問題は修正されているため、これらのバージョン以降にバージョンアップしてからエクスポートを実施するか、バージョンアップが不可能な場合はインポート後に設定値を手動で再設定してください。

- **PDF データのサポート範囲について**

FreeFlow Core では、以下の条件を満たす PDF データをサポートします。サポート範囲内の PDF データを使用してください。

- ページ数が 30,000 ページ未満
- ファイルサイズが 15GB 未満
- パスワードが設定されていない

- **[バーコード]の幅を正常にエクスポートできない**

FreeFlow Core 4.0.3.3 以前のバージョンにおいて、ワークフローをエクスポートした場合に[バーコード]の幅の設定値が正しくエクスポートできず、インポート時に設定値が変わってしまうことがあります。

FreeFlow Core4.0.3.4 もしくは Core5.0.0.0 ではこの問題は修正されているため、これらのバージョン以降にバージョンアップしてからエクスポートを実施するか、バージョンアップが不可能な場合はインポート後に設定値を手動で再設定してください。

- **FreeFlow Core 4.0 SP3 以前の[分割]プリセットの分割ルール設定が保持されない**

FreeFlow Core 4.0 SP3 以前のバージョンで作成した[分割]プリセットにおいて、[ルール毎に部数を分割]とページ選択またはレコード選択を同時に設定していた場合、Core 5.0 へアップグレード、もしくは FreeFlow Core 4.0 SP3 以前のバージョンでエクスポートしたワークフローをインポートした後では、ページ選択またはレコード選択の設定が失われます。これは Core 5.0 における[分割]コンポーネントの仕様変更によるものです。

そのような組み合わせの条件にてジョブを分割する場合には、各々の分割条件による[分割]プリセットを作成し、作成した[分割]プリセットを組み合わせたワークフローを構築してください。

- **[プリンター管理/監視]の[完了時間]で表示される時間は、実際の処理時間とは異なることがある**

[完了時間]で表示される時間は、プリントコントローラ上に未処理ジョブとして残っているジョブに対して、プリンターの処理性能やジョブ属性から算出した予想時間です。従って、実際の処理時間とは異なることがありますので、目安として参照してください。

例えば、以下のようなケースでは予想時間が実際の処理時間と異なります。

- プリントコントローラ上にキャンセルやアボートされたジョブが残っている場合
- プリントコントローラからジョブ属性が取得できない場合
- プリンターの印刷処理でサイクルダウンが発生した場合

- **[プリンター管理/監視]タブでの表示情報について**

[プリンター管理/監視]タブで表示されるステータス情報関連情報は、プリンター側の能力に依存します。従ってプリンターによってはステータス情報が表示されない場合があります。次のステータス情報に関して、

(A)プリンター状態/未完了ジョブ/完了時間/プリンターステータスメッセージ

(B)給紙トレイ、インクトナー、排出先、スプールディスク

FreeFlow Core でサポートしているプリンターの内、以下のプリンターでは、(A)と(B)の情報が表示され、

- D110/D125/D136 Light Publisher (FreeFlow Print Server 9.0 / 9.0 SP3)
- D95 CPS (Integrated copy/print Server 1.0)
- D110/D125/D136 Light Puglisher (Integrated copy/print server 1.0)
- Nuvera 144/157 EA Production System (FreeFlow Print Server 7.0 SP3)
- Nuvera 288/314 EA Perfecting Production System (FreeFlow Print Server 7.0 SP3)
- Color 800/1000 Press (FreeFlow Print Server 9.0 SP1 / SP3)

以下のプリンターでは(A)のみの情報が表示されます。

- DocuColor 7171P (PX Print Server 7.2)
- Color 800/1000 Press (PX Print Server 7.1 / 7.2)
- Xerox iGen5 150 Press (FreeFlow Print Server 2x.x)

- **"サイズが範囲内"もしくは"サイズが範囲外"の指定サイズと同じサイズのときに処理が行われないことがある**

“サイズが範囲内”もしくは“サイズが範囲外”を指定したときに、PDF のサイズが指定サイズの上限、もしくは下限と一致しているとき、処理が適用されない、もしくは適用されてしまうことがあります。これは、PDF の用紙サイズが小数点以下で誤差がある場合に発生することがあります。“サイズが範囲内”もしくは“サイズが範囲外”を使用する際には、指定サイズを適用したい範囲から 2.0 mm 以上ずらしてください。

以下のコンポーネントで“サイズが範囲内”もしくは“サイズが範囲外”が指定可能です。

- プリフライト
- バーコード
- ウォーターマーク
- プレスマーク
- ページ番号
- 縮小・拡大
- 回転
- ページ挿入
- ページ削除
- 分割
- ルーティング
- 分配
- 印刷

また、プリフライトに関しては、“サイズが範囲内”もしくは“サイズが範囲外”で指定する値は、第一パラメーターセットに最小値、第二パラメーターセットに最大値となるように指定してください。

5.41.FreeFlow Core4.0.3.1 で追加された注意・制限事項

● VIPP ジョブの PDF/VT 変換について

FreeFlow Core の Variable Print オプションが有効な場合、VIPP ジョブを PDF に変更して処理を行うことができます。変換時に指定可能なオプションとして"PDF/VT として変換"を指定すると、日本語フォントの埋め込みエラーによりジョブが変換エラーとなることがあります。FreeFlow Core の VIPP オプションで日本語フォントをご使用になる場合は、PDF/VT ではなく"PDF として変換"を指定してください。

● CoreExchange でエラー画面が表示される

Microsoft Office 2016 と同居する環境において CoreExchange のエクスポート機能を使用する場合にエラーメッセージが表示されることがあります。このエラーメッセージが表示された場合にも、問題なくエクスポートをご使用いただけます。エラーメッセージを表示させないようにするためには、Visual Studio 2015 の Visual C++ 再頒布可能パッケージをダウンロードいただき、FreeFlow Core 環境にインストールしてください。

Visual Studio 2015 の Visual C++ 再頒布可能パッケージ

<https://www.microsoft.com/ja-JP/download/details.aspx?id=48145>

● ICC プロファイルは CoreExchange でインストールされない

CoreExchange から[カラー変換]プリセットをインポートする際、そのプリセットで指定される ICC プロファイルはインポートされません。FreeFlow Core で ICC プロファイルを使用するためには ICC プロファイルを Windows へインストールの上、システムを再起動してください。

- **PDF 保存先が相対パスの JDF ではジョブがエラーになる**

PDF 保存先が相対パスの JDF が FreeFlow Core に入力された場合、ジョブがエラーになります。[保存]コンポーネントで保存した JDF を FreeFlow Core へ再入力するために使用する場合は、JDF に記載する PDF の保存先には絶対パスを指定してください。

- **MAX ジョブの入力ファイルパスに¥r か¥n が含まれるときジョブが異常終了する**

MAX のジョブ入力ファイルが指定する入力ファイルのパスに¥r か¥n が含まれる場合、ジョブが異常終了します。これは¥r か¥n がファイルパスの途中に含まれる場合も同様です。例えば、以下のようなファイルパスを指定するとジョブが異常終了します。

[¥n を含むファイルパス]

C:\data\new\test.jpg

C:\data\old\number.jpg

[¥r を含むファイルパス]

C:\data\resource\test.jpg

C:\data\file\red.jpg

この場合、以下のいずれかの回避策を適用してジョブ処理を実行してください。

<回避策 1>

ジョブ入力ファイルに記載されている¥n または¥r の記述を¥N または¥R に変更してください。

回避策適用例は以下になります。

[¥n を含むファイルパス]

C:\data\New\test.jpg

C:\data\old\Number.jpg

[¥r を含むファイルパス]

C:\data\Resource\test.jpg

C:\data\file\Red.jpg

<回避策 2>

ジョブ入力ファイルに記載されている¥n または¥r のバックスラッシュ(\\$)をスラッシュ(/)に変更してください

。

回避策適用例は以下になります。

[¥n を含むファイルパス]

C:\data/new\test.jpg

C:\data\old/number.jpg

[¥r を含むファイルパス]

C:\data/resource\test.jpg

C:\data\file/red.jpg

<回避策 3>

ジョブ入力ファイルに記載されているバックスラッシュ(\)をすべてスラッシュ(/)に変更してください。

回避策適用例は以下になります。

[\n を含むファイルパス]

C:/data/new/test.jpg

C:/data/old/number.jpg

[\r を含むファイルパス]

C:/data/resource/test.jpg

C:/data/file/red.jpg

- **デフォルトジョブチケットにおける[フィニッシング向き]について**

[印刷]の[デフォルトジョブチケットを設定]で[フィニッシング向き:]に[よこ]を選択しても、プリンター側で確認する用紙の向きは[よこ]になりません。フィニッシング向き[よこ]を選択した場合、用紙の向きには影響なく、[フィニッシング:]で指定したフィニッシングの位置が左 90 度回転します。

5.42.FreeFlow Core4.0.2.2 で追加された注意・制限事項

- **大文字/小文字が異なる同名のログインユーザーについて**

ログインユーザーとして大文字/小文字が異なる同名のユーザー(“Xerox”と“xerox”)は同じユーザーとして管理するように変更されました。

5.43.FreeFlow Core4.0.2.0 で追加された注意・制限事項

- **[ジョブの送信制御]で監視するディスクを変更できない**

[ジョブの送信制御]のジョブ容量管理機能が正しく動作しない場合があります。複数のディスクを持つプリンターに対してこの機能を指定しないようにしてください。

- **FreeFlow Core が開始できない**

FreeFlow Core へ接続するとき、“サーバーへの接続が完了するのを待機しています。しばらくお待ちください”と表示され、ログイン画面が表示されないことがあります。これは FreeFlow Core サービスが起動するまでに SQLServer サービスが起動できなかった場合に発生します。“サーバーへの接続が完了するのを待機しています。しばらくお待ちください”と表示されたままログイン画面が表示されない場合は、FreeFlow Core が接続する SQL Server のインスタンスを再起動した上で、FreeFlow Core サービスを再起動してください。

- **追加される裁ち落とし幅が指定した値と異なる**

[最適化]の[ドキュメントサイズにあわせて裁ち落としを追加]機能で設定した[裁ち落とし間隔:]の値と追加された裁ち落とし幅が異なることがあり、裁ち落としサイズのページサイズのうち、短辺に追加される幅は長辺と短辺の比率によって変動します。

- **行ごとにドブ幅を変更することができない**

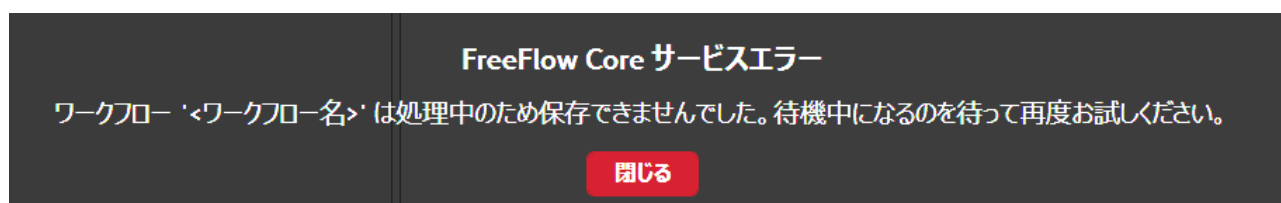
[面付け]コンポーネントのレイアウトで行数もしくは列数を自動選択に指定した場合、行・列ごとにドブ幅を指定することができません。行・列ごとにドブ幅を指定する場合には、レイアウトで行数と列数を指定してください。

- **[バーコード]の印字位置が少し変わることがある**

FreeFlow Core 4.0 SP2 で行われた [バーコード]におけるクワイエットゾーン指定に対する基準値の見直しにより、クワイエットゾーンの最小値はフォントサイズに伴い変更されるようになりました。これにより FreeFlow Core 4.0 SP1 以前の[バーコード]で設定していたクワイエットゾーンよりクワイエットゾーンの最小値が大きい場合、バーコードの印字位置が同じにならないことがあります。

- **ジョブ処理中はワークフローを変更できない**

ジョブを処理中のワークフローは、ワークフロー設定で編集を完了することができません。ワークフローでジョブを処理中の場合、以下のエラーダイアログが表示されます。



- **クリッピングパスは正しく縮小・拡大されない**

クリッピングパスを持つ PDF を[縮小・拡大]で処理するとき、クリップ 2539946 ピングパスは正しく縮小・拡大されません。クリッピングパスを持つ PDF を縮小・拡大したい場合は、一度 eps ファイルへ変換してから入力してください。

- **[集約]で時刻指定の時刻を編集するスピナーが操作できない**

[集約]で”時刻指定”を指定するときに、時刻の編集を行うスピナーがグレイアウトして操作できないことがあります。スピナーで編集したい場合は、時刻のテキストボックスを指定してください。

- **[トンボから仕上がりサイズを設定]で仕上がりサイズが設定されない**

[面付け]コンポーネントでトンボを追加した PDF を[最適化]の[トンボから仕上がりサイズ]で処理したとき、トンボのサイズで仕上がりサイズが設定されないことがあります。仕上がりサイズを設定したい場合は、Acrobatなどでトンボを追加してください。

- **MAX 設定の”タイプ”が”数値”の場合、[ジョブ処理条件]に”含む”を指定できない**

[レーティング]や[ホットフォルダー]の[出力先ワークフロー]の選択に使用される[ジョブ処理条件]において、属性に MAX 設定の”タイプ”が”数値”の場合、[ジョブ処理条件]で使用できる条件が変更されます。それに伴い、”タイプ”が”テキスト”の MAX 設定を[ジョブ処理条件]の属性に指定したのちに、”タイプ”を”数値”に変更すると、[ジョブ処理条件]の条件が”等しい”に変更されます。また、FreeFlow Core 4.0.2.0 より前のバージョンの FreeFlow Core で[ジョブ処理条件]として MAX - 部数を使用していた場合も、本バージョンでは条件が”等しい”に変更されます。

- **プリンタータイプが正しくない**

以下のプリンターに対してプリンター情報を取得する際、プリンタータイプに"Fuji Xerox 700 Digital Color Press, PX700 Print Server V4.1"と表記されます。

- DC5656P PX 560 Print Server
- Color C75 Press PX750 Print Server U 7.0

- **ジョブ送信制御が指定できない**

プリンター管理/監視の[ジョブ送信制御]は以下のプリンターでのみ使用できます。

- FreeFlow Print Server 7.0 SP3 (CP.73.C3 以上)
- FreeFlow Print Server 9.0 SP3 (CP.93E1.82 以上)

- **特色が変換されないことがある**

[カラー調整]で[特色を変換]を指定しているとき、clrtタグを含まないプロファイルで適用された特色はカラー変換対象に含まれません。

- **プレビューに表示されない**

[バーコード]/[ウォーターマーク]/[プレスマーク]/[ページ番号]において、配置で”外向き”に指定してオフセット値が正のときと”内向き”に指定してオフセット値が負のときはプレビュー画面で配置を確認することはできません。

5.44.FreeFlow Core4.0.1.3 で追加された注意・制限事項

- **巨大な PDF をプリフライトで処理する場合にプリフライトがエラー終了することがある**

ファイルサイズが 1.0GB を超えるような PDF をプリフライトする場合に、プリフライトが不正にエラーになってしまうことがあります。この場合、PDF を分割の上、分割したそれぞれの PDF をプリフライトしてください。

- **インポートしたワークフローを編集できない**

FreeFlow Core4.0.1.2 以前の Core Exchange を用いて[条件分岐]及び[分割]の分岐先を別の分岐先に接続しているワークフローをエクスポートした場合、そのワークフローをインポートすると、そのワークフローを選択する度にエラーダイアログが表示され、編集できないことがあります。FreeFlow Core4.0.1.2 以前から[条件分岐]及び[分割]を含むワークフローをエクスポートする場合、分岐先の接続を解除してからエクスポートしてください。

5.45.FreeFlow Core4.0.1.2 で追加された注意・制限事項

- **FreeFlow Core アップグレード後にエラーが発生する**

FreeFlow Core をアップグレードした後で、アップグレード前に使用していたクライアントからアクセスすると、画面操作中にエラーが表示される場合があります。この現象は、クライアントブラウザでキャッシュしたデータがアップグレード後に更新されないことが原因で発生することがあります。FreeFlow Core をアップグレードした後、ご使用の Web ブラウザーから FreeFlow Core 画面の[FreeFlow Core バージョン情報]

をクリックし、[バージョン]と[クライアント]のバージョン番号を確認してください。バージョン番号が異なるときには、Web ブラウザーのキャッシュに旧バージョンの情報が残っているので、以下の手順で Web ブラウザーのキャッシュをクリアしてください。

Chrome の場合

- (1) 右上の設定ボタンをクリックします。
- (2) [その他のツール]->[閲覧履歴データの消去]を選択します。

Edge の場合

- (1) 右上の「…」ボタンをクリックして、表示された一覧から「設定」をクリックします。
- (2) 左スパンの[プライバシーとセキュリティ]をクリックし、[閲覧データのクリア]欄から「クリアするデータの選択」をクリックします。
- (3) 「閲覧データの消去」が表示されます。「キャッシュされたデータとファイル」にチェックを入れて、「クリア」をクリックします。

Firefox の場合

- (1) オプションダイアログで、[プライバシー]→[最近の履歴を小消去]をクリックしてください。
- (2) [すべての履歴]を選択して、[キャッシュ]オプションだけチェックを入れた状態で[今すぐ消去]ボタンをクリックしてください。
- (3) FireFox を再起動してください。

Safari の場合

- (1) [環境設定]を開いて、[プライバシー]→[すべての Web サイトデータを削除]の[詳細]ボタンをクリックしてください。
- (2) Web サイトリスト画面で FreeFlow Core サーバーを選択し、[削除]ボタンをクリックしてください。
- (3) [完了]ボタンをクリックして、FreeFlow Core に再接続してください。

- **プリフライトプロファイルをエクスポートできない**

FreeFlow Core4.0.1.2 以前のバージョンで作成されたワークフローをエクスポートした場合、インポート時にプリフライトに使用するプロファイルのファイルがコピーされません。この場合、プリフライトコンポーネントの編集画面から、使用していたプロファイルをアップロードしてください。

- **PDF/X-4 のフィックスアップを適用すると PDF/VT 準拠が失われる**

PDF/VT ファイルに対して PDF/X-4 のフィックスアップを適用すると、PDF/VT に準拠していない PDF になります。PDF/VT ファイルに対して PDF/X-4 のフィックスアップを適用しないでください。

- **プリフライトプロファイルを Core Exchange でエクスポートできない**

プリフライトプロファイルのデフォルトフォルダー名が[プロファイル]から[Profiles]に変更になりました。旧バージョンの FreeFlow Core で使用していた、データフォルダーの下の[プロファイル]フォルダーのプリフライトプロファイルは、[Profiles]フォルダーに移動してください。

5.46.FreeFlow Core4.0.1.1 で追加された注意・制限事項

- **[外部]コンポーネントを含むワークフローでジョブが完了しないことがある**
[外部]コンポーネントで指定したスクリプトが終了コードを返さない場合に、ジョブが処理中のまま完了しないことがあります。[外部]コンポーネントを含むワークフローでジョブが処理中のまま完了しないときは、Windows タスクマネージャーを開き、指定したスクリプトのプロセスが処理中でないことを確認し、プロセスの終了を行ってください。なお、このときジョブはエラー終了します。
- **Fiery Color Server プリンターがバナーページをサポートしていないときにも、“バナーページを出力する”が有効になる**
Core のプリントコンポーネントで Fiery Color Server プリンターに接続したとき、プリンターがバナーページをサポートしていないときにも、“バナーページを出力する”が有効になることがあります。ご使用の Fiery Color Server プリンターがバナーページをサポートしていないときには、“バナーページを出力する”を指定しないでください。
- **グループジョブで保留中のサブジョブ数が正しく表示されない**
ジョブステータス上でグループジョブに含まれる保留中のサブジョブ数として UI に表示されているサブジョブのみをカウントしてしまっていることがあります。
正しいジョブ数を表示させるためには、一度ジョブをソートしてください。
- **サブジョブの PDF がジョブステータスからダウンロードできない**
[ジョブをまとめる]設定した[保存]プリセットを含むワークフローで、グループジョブを処理した場合、代表ジョブ以外のサブジョブの PDF がジョブステータス上からダウンロードできません。処理結果は[保存]プリセットの保存先で確認してください。

5.47.FreeFlow Core4.0.1.0 で追加された注意・制限事項

- **ジョブの完了までに多く時間がかかることがある**
多数のジョブを同時に処理している場合、ジョブの完了までに普段よりも時間がかかることがあります。これは複数同時にジョブを処理している場合、単一ジョブの処理完了よりも、全体の処理進行を優先するためであり、単一のジョブに注目した場合、完了時間が延びることになります。

5.48.FreeFlow Core4.0.0.0 で追加された注意・制限事項

- **[保存]コンポーネントで保存するファイルは上書き保存される**
[保存]コンポーネントで保存するファイルは、指定したファイル名で上書き保存されます。
- **[プリフライト]/[最適化]は PDF 内に埋め込まれているファイルに対して適用されない**
[プリフライト]や[最適化]コンポーネントによる処理は、PDF 内に埋め込まれているファイルに対しては適用されません。

- **サポートする TIFF の機能について**

TIFF の次の機能はサポートしていません。

YCbCr カラースペース。また、透過 TIFF は変換すると、透明部分が保持されません。

- **VPC ジョブを削除するときに、削除完了までに時間がかかることがある**

VPC を PDF へ変換したジョブを FreeFlow Core 上から削除完了までに時間がかかることがあります。

これは、"出力 PDF をデータセットごとに分割"を選択したワークフローで、大量のデータセットをもつ VPC を処理した場合に、内部的に大量のジョブを削除しているために発生します。"出力 PDF をデータセットごとに分割"は指定しないでください。

- **用紙設定でインチ指定の用紙を設定すると、レイアウト調整もインチ基準になる**

[面付け]コンポーネントで、用紙設定でインチ指定の用紙を選択すると、レイアウト調整の単位がインチになります。レイアウト調整をミリ単位で設定したい場合は、カスタムサイズの用紙の単位をミリに設定し、指定したいインチ指定の用紙と同じサイズに設定して使用してください。

- **Fiery System 10 上に保留されているジョブが削除された場合、印刷ステータスが更新されない**

Fiery System 10 上の Hold キューに保留されているジョブを Fiery System 10 上で削除した場合、そのジョブに紐づく FreeFlow Core 上のジョブの印刷ステータスは空白になります。

- **Versant 2100 Press GX Print Server 1.0 で排出先に存在しないトレイが選択できてしまう**

フィニッシャーオプションを接続していない Versant 2100 Press GX Print Server 1.0 に対して、排出先として"トップトレイ"を選択できることがあります。Versant 2100 Press GX Print Server 1.0 連携において、フィニッシャーオプションを接続していない場合は、排出先にトップトレイを選択しないでください。

- **1400 Inkjet Color Continuous Feed Printing System GX Print Server 1.0 に指定した印刷設定が反映されない**

1400 Inkjet Color Continuous Feed Printing System GX Print Server 1.0 に対して、[印刷]コンポーネントで設定した以下のジョブチケットは、プリンターの印刷設定に反映されません。

- メインストック
- 両面/片面
- 丁合い
- 例外紙

- **くるみ製本が指定できない**

FreeFlow Core はくるみ製本機が接続されているプリンターに対して、くるみ製本を指示することができません。

- **FreeFlow Print Manager - Advanced Print Path の印刷設定が適用されない**

FreeFlow Print Manager - Advanced Print Path で作成したジョブチケットを使用する場合、以下の設定は FreeFlow Core では適用されません。

- ・ページ範囲
- ・色調整

・イメージ編集

- **GX Print Server に対して Z 折りフィニッシングが指定できない**

FreeFlow Core は、GX Print Server に対して、Z 折りフィニッシングを指定することができません。Z 折りフィニッシングを使用したい場合は、GX Print Server 側で Z 折りフィニッシングを指定したキューを FreeFlow Core から指定してください。

- **GX Print Server、Revorio Flow、GP Controller のカスタム設定の論理プリンターへ送信したジョブがエラー終了する**

GX Print Server、Revorio Flow、GP Controller でカスタム設定の論理プリンターに対してジョブを送信した場合、ジョブがエラー終了することがあります。その場合は、必ずテンプレートを使用するキューを指定してください。

- **定期的にサービス再起動を実施してください**

FreeFlow Core におきましては、システムメンテナンスのため、FreeFlow Core サービス(MantisService.exe)または FreeFlow Core をインストールした PC の定期的な再起動を実施してください。再起動は、FreeFlow Core サービス開始時から 25,000 ジョブを目途に行ってください。また、Windows タスクマネージャで、MantisService.exe の"メモリ量(コミットサイズ)"が、2GB を超えている場合は、再起動されることをお勧めいたします。

7. 補足情報

障害発生時、お客様ご自身に取得いただきたい情報について

FreeFlow Core で障害が発生した場合に、実施いただきたい情報は、以下の通りです。

- ・現象発生時の情報

発生日時、発生条件(再現手順)もしくは直前に行った操作の詳細をご提供ください。

- ・現象発生が確認できるスクリーンキャプチャー

発生している現象、ジョブ ID、エラーメッセージ等が分かるスクリーンをキャプチャーした画像ファイルをご提供ください。

- ・現象発生時の設定が確認できるスクリーンキャプチャー

FreeFlow Core の設定画面、ホットフォルダーの設定画面などです。特定のプリンターや連携フォルダ、受信フォルダの処理がおかしいといった現象の場合はご取得ください。

- ・プリンター本体とプリントサーバーのログ(※プリンターのマニュアルに取得手順があった場合)

プリンターのログは量が多く、数日のうちに取得できなくなってしまう場合がありますので、必ず障害発生当日に取得したプリンター本体とプリントサーバーのログをご提供ください。

ログの取得方法については各プリンターの手順書をご確認ください。また、FreeFlow 設置環境とプリンターのシステム時間が一致していることをご確認ください。一致していない場合は、システム時間の差異も併せてお知らせください。

- ・ジョブファイル

現象が発生するジョブ(PDF、JDF、CSV 等)です。個人情報等でそのままの提供が難しい場合は、個人情報等を取り除いたデータの提供をご検討ください。

- ・FreeFlow ジョブ情報収集ツールの実行結果

製品に同梱されているジョブ情報収集ツール(GetFFLog)を実行すると、ツールを実行した環境の設定情報やログ情報を収集します。実行した結果、生成される Zip ファイルをご提供ください。

ブランド表記変更について

弊社は、富士ゼロックスブランドによる商品提供を 2023 年 3 月をもって終了いたしました。これに伴い、これまで富士ゼロックスブランドでご提供してきた FreeFlow 商品は、同商品の開発元である米国ゼロックスコーポレーション(ゼロックス社)の提供商品との位置付けに変更となり、商品のブランドもゼロックスへ変

更となりました。

ただし、日本およびアジアパシフィック地域においては、従前どおり、弊社が、お客様への商品販売および保守サービスを継続いたしますので、お客様への実質的な影響はございませんのでご安心ください。

富士フイルムビジネスイノベーション株式会社